

# Iizuka City Hospital

## 飯塚市立病院

### 基本理念

“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって、  
患者様本位のあたたかい医療を提供し、  
市民の皆様に愛され、親しまれ、信頼される病院をめざします

### 基本方針

- すべてのスタッフによるチームケアおよび医療安全対策をより一層推進する。
- 地元医師会および他の医療機関との緊密な連携を保ち、  
市民が安心して受診できる医療体制づくりを進める。
- 救急医療から慢性疾患のフォローアップまで幅広い診療を実践できる体制を整える。
- へき地医療支援病院として、医療過疎に悩む地域への医療支援を行う。
- 協力型臨床研修指定病院として、地域医療をめざす医師のために質の高い基礎教育を行う。





# 病院年報 ご挨拶



飯塚市立病院

管理者 **武富 章**

2022（令和4）年版の年報をお届けいたします。

飯塚市立病院は2023年4月に地域医療支援病院の承認を得ることができました。飯塚医師会からのご推薦、飯塚市企業局のご協力の賜物と存じます。厚く御礼申し上げます。病状安定期は地元のクリニックへ通院し、検査・手術等で入院が必要な場合には病院に入院するという、地域医療連携としてきわめて当たり前の役割分担をさらに進めてまいりたいと存じます。

また、2023年9月には敷地内にヘリポートを設置し、緊急かつ重症な患者を高次医療機関へ迅速に輸送する手段を手に入れることができました。今後は災害拠点病院の指定要件を満たすべく、施設整備、医療人材の招聘および育成に注力します。

なお、当院では品質マネジメントシステムとしてISO9001の認証を取得しており、医療の質の向上、患者満足度の向上を目的として、院内の各部門がPDCAサイクルを回すという活動を行っています。「発展途上病院」の途中経過報告書としてご笑納ください。

# 目次

## 病院理念 管理者挨拶

## 病院概要

沿革	2
施設概要	2
職員数	3
施設基準	5
学会認定施設	5

## 診療部門

内科	8
脳神経内科	13
小児科	16
外科	19
整形外科	32
脳神経外科	41
呼吸器外科	44
泌尿器科	47
眼科	50
耳鼻咽喉科	54
皮膚科	57
リハビリテーション科	61
放射線科	64
救急科	67
麻酔科	76
肝臓・消化器	78

## 看護部門

看護部（看護部長室）	82
看護部（4階病棟）	86
看護部（5階病棟）	90
看護部（6階病棟）	92
看護部（7階病棟）	97

看護部（8階病棟）	97
看護部（外来）	99
看護部（手術室・中央材料室）	102
看護部（感染管理室）	105
看護部（医療安全管理室）	110

## 医療技術部門

医療技術部（薬剤室）	116
医療技術部（放射線室）	120
医療技術部（臨床検査室）	123
医療技術部（リハビリテーション室）	130
医療技術部（栄養管理室）	132
医療技術部（臨床工学室）	135

## 事務部門

事務部（総務課・会計課・医事課）	140
地域医療連携室	142
診療情報管理室	144
情報システム管理室	146

## 診療統計

入院患者統計	150
外来患者統計	155
紹介・逆紹介統計	163
救急統計	164
放射線統計	164
手術統計	165
リハビリ統計	165
検査統計	166
薬剤統計	166
保険予防活動統計	166
死亡及び解剖統計	166





# 病院概要

## 沿革

年 月	沿革内容
平成20年4月	独立行政法人労働者健康福祉機構筑豊労災病院の経営移譲に伴い、飯塚市立病院として開院し、公益社団法人地域医療振興協会に指定管理を委託
平成21年3月	救急指定病院の取得
平成21年4月	電子カルテ導入
平成22年4月	へき地医療拠点病院の指定
平成22年12月	財団法人医療機能評価機構病院機能評価認定取得
平成25年4月	呼吸器外科、乳腺外科を標榜
平成26年10月	新診療棟竣工
平成27年2月	回復期リハビリテーション病棟新設（50床）
平成28年1月	地域包括ケア病棟新設（50床）
平成29年3月	管理棟改修工事竣工
令和4年4月	救急部発足
令和4年7月	救急科を標榜
令和5年3月	ISO9001の認証を取得
令和5年4月	地域医療支援病院の承認
令和5年5月	ヘリポート整備完了

## 施設概要

【名称】 飯塚市立病院

【所在地】 〒820-0088福岡県飯塚市弁分633-1

【開設者】 飯塚市

【開設年月日】 2008年4月1日

【管理者】 武富章

【管理運営】 公益社団法人地域医療振興協会

【診療科目】 内科・脳神経内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・乳腺外科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科・リハビリテーション科・放射線科・救急科・麻酔科

【病床数】 一般250（内 急性期一般150床/回復期リハビリテーション病棟50床/地域包括ケア病棟50床）

【代表電話番号】 0948-22-2980

【FAX番号】 0948-24-3812

## 職員数

		令和5年3月1日								
		正規職員	臨時職員	非常勤職員	(非常勤職員)常勤換算	実人数合計	常勤換算人数合計	男(実人数)	女(実人数)	
診療部	医師	内科	6		12	2.24	18	8.24	17	1
		脳神経内科	1				1	1.00	1	
		小児科	2				2	2.00	2	
		外科	6		2	0.40	8	6.40	8	
		整形外科	7		8	2.00	15	9.00	14	1
		脳神経外科			1	0.10	1	0.10	1	
		胸部疾患センター(呼吸器外科)			1	0.10	1	0.10	1	
		胸部疾患センター(乳腺外科)					0			
		泌尿器科			4	0.36	4	0.36	4	
		眼科	1		1	0.10	2	1.10	1	1
		耳鼻いんこう科			6	0.60	6	0.60	3	3
		リハビリテーション科	2				2	2.00	2	
		救急部	1		2	0.40	3	1.40	3	
		放射線科	1		1	0.08	2	1.08	2	
		麻酔科	1		5	1.41	6	2.41	4	2
皮膚科	2				2	2.00	1	1		
研修医					0	0.00				
診療部 計		30	0	43	7.79	73	37.79	64	9	
医療技術部	医療技術師(士)	薬剤師	8				8	8.00	3	5
		診療放射線技師	10				10	10.00	7	3
		臨床検査技師	9				9	9.00	2	7
		理学療法士	23				23	23.00	18	5
		作業療法士	17				17	17.00	3	14
		言語聴覚士	5				5	5.00	1	4
		視能訓練士	2	1		0.53	3	2.53	1	2
		管理栄養士	3				3	3.00		3
		臨床工学技士	2				2	2.00	1	1
		医療技術師(士) 計	79	1	0	0.53	80	79.53	36	44
	支援事務	事務	1				1	1.00		1
		事務(支援) 計	1	0	0	0.00	1	1.00	0	1
	医療技術助手	薬剤室助手		1		1.00	1	1.00		1
放射線室助手			0.5		0.59	0.5	0.59		0.5	
臨床検査室助手						0	0.00			
リハビリ室助手			2		1.76	2	1.76		2	
医療技術助手 計	0	3.5		3.35	3.5	3.35	0	3.5		
医療技術 計		80	4.5	0	3.87	84.5	83.87	36	48.5	
看護部	看護師 准看護師	看護師	139	22		16.03	161	155.03	11	150
		准看護師		0		0.00	0	0.00		0
		看護師・准看護師 計	139	22	0	16.03	161	155.03	11	150
	介護福祉士 看護助手 クラーク	介護福祉士	13				13	13.00	6	7
		看護助手	7	8.5		6.99	15.5	13.99	1	14.5
		クラーク		12		12.00	12	12.00		12
	助手・クラーク 計	20	20.5	0	18.99	40.5	38.99	7	33.5	
救急救命士	救急救命士	1				1	1.00	1	0	
	救急救命士 計	1	0	0	0.00	1	1.00	1	0	
看護部 計		160	42.5	0	35.03	202.5	195.03	19	183.5	

事務部他	事務部	事務部長	1				1	1.00	1	
		総務課	7	2		2.00	9	9.00	6	3
		会計課	4	0		0.00	4	4.00	1	3
		医事課	8	2		1.97	10	9.97	6	4
		<b>事務部 計</b>	<b>20</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>3.97</b>	<b>24</b>	<b>23.97</b>	<b>14</b>	<b>10</b>
	その他	地域医療連携室	6	1		1.00	7	7.00	1	6
		情報システム管理室	1				1	1.00		1
		診療情報管理室	3				3	3.00	1	2
		医師事務作業補助者	0	10		10.00	10	10.00		10
		<b>その他 計</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>0</b>	<b>11.00</b>	<b>21</b>	<b>21.00</b>	<b>2</b>	<b>19</b>
<b>事務部他 計</b>		<b>30</b>	<b>15</b>	<b>0</b>	<b>14.97</b>	<b>45</b>	<b>44.97</b>	<b>16</b>	<b>29</b>	
<b>合 計</b>		<b>300</b>	<b>62</b>	<b>43</b>	<b>61.66</b>	<b>405</b>	<b>361.66</b>	<b>135</b>	<b>270</b>	

## 看護部配置数

	正規職員			臨時職員						実人数 合 計	常勤換算 人数合計	常勤換算と 定数の差
	正看護師	介護福祉	救急救命士	正看護師	准看護師	クラーク	介護福祉	看護助手	常勤換算			
看護部長室	2					1			1	<b>3</b>	3.0	0.0
病 棟	99	13	0	4	0	1	0	5	8.5	<b>128</b>	126.5	-11.50
4階病棟	24	1				1		1	2	<b>27</b>	27.0	-1.00
5階病棟	17	3		1	0			1	1.5	<b>24</b>	23.5	-3.5
6階病棟	21	2		1				1	1.2	<b>26</b>	25.2	-2.8
7階病棟	20	2		0				1	1	<b>24</b>	24.0	-3
8階病棟	17	5		2	0			1	2.8	<b>27</b>	26.8	-1.2
外 来	15		1	15		10			20.33	<b>41</b>	36.33	-0.63
手術室	13			2				3.5	4.19	<b>19.5</b>	18.2	0.53
地域医療連携室	2									<b>2</b>	2.0	0
医療安全管理室	1									<b>1</b>	1.0	0
感染管理室	1									<b>1</b>	1.0	0
産休・育休・休職中	6			1					1.00	<b>7</b>	7.0	4
<b>計</b>	<b>139</b>	<b>13</b>	<b>1</b>	<b>22</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>8.5</b>	<b>35.03</b>	<b>202.5</b>	<b>195.03</b>	<b>-7.60</b>

※ ( ) は兼務者とする。

※産休・育休・休職中の職員は在籍人数に含むものとする。

## 施設基準

一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）	認知症ケア加算2
救急医療管理加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
診療録管理体制加算1	回復期リハビリテーション病棟入院料
医師事務作業補助体制加算2（25対1）	1強化体制加算1
地域医療体制確保加算	地域包括ケア病棟入院料2
急性期看護補助体制加算（25対1）看護補助者5割以上	看護補助者配置加算・看護職員配置加算
療養環境加算	看護職員処遇改善評価料（41）
重症者等療養環境特別加算 個室：8	入院時食事療養/生活療養（I）
医療安全対策加算1	外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準
感染対策向上加算1 指導強化加算	糖尿病合併症管理料
後発医薬品使用体制加算1	がん性疼痛緩和指導管理料
データ提出加算2	がん患者指導管理料イ
入退院支援加算1	がん患者指導管理料2
二次性骨折予防継続管理料1	画像診断管理加算2
二次性骨折予防継続管理料2	CT撮影及びMRI撮影
二次性骨折予防継続管理料3	冠動脈CT撮影加算
夜間休日救急搬送医学管理料注3 救急搬送看護体制加算1	心臓MRI撮影加算
外来腫瘍化学療法診療料1	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
連携充実加算	外来化学療法加算1（専用病床数7床）
がん治療連携指導料	無菌製剤処理料
薬剤管理指導料	脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
医療機器安全管理料1	運動器リハビリテーション料（I）
在宅療養後方支援病院	呼吸器リハビリテーション料（I）
BRCA 1/2 遺伝子検査	がん患者リハビリテーション料
検体検査管理加算（I）	乳がんセンチネルリンパ節加算1（併用）
検体検査管理加算（II）	乳がんセンチネルリンパ節加算2（単独）
神経学的検査	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
コンタクトレンズ検査料1	胃瘻造設術
小児食物アレルギー負荷検査	輸血管管理料II
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
	麻酔管理料（I）
	酸素単価

## 学会認定施設

日本外科学会 専門医制度修練施設
日本消化器外科学会 専門医修練施設
日本消化器内視鏡学会 指導連携施設
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本消化器病学会 認定施設
日本整形外科学会 専門医研修施設
日本皮膚科学会 専門医研修施設
日本眼科学会 研修施設

日本病理学会 研修登録施設

日本腹部救急医学会 認定施設

日本医学放射線学会 画像診断管理認定施設

下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会実施施設

日本超音波医学会 超音波専門医研修施設



# 診療部門

# 内科



## 概要

診療科人員：管理者 1 名、部長 2 名、科長 2 名、常勤医師 2 名、非常勤医師 9 名  
 部長：出口 智弘・部長：古賀 康秀

## 1. 診療体制

内科は常勤医師 7 名、非常勤医師 9 名の体制で診療をおこなっています。特色としては自治医科大学卒の医師が主の病院となっています。

医師数について、常勤医が十分とはいえない体制であり、大学医局より派遣いただいている非常勤医師や循環器内科については協会内の病院より毎週月曜から水曜に派遣の協力をいただき、診療体制を確保しています。派遣を頂いている各大学医局、協会内の施設には感謝申し上げます。

月曜から金曜までの午前中に外来診療および内視鏡検査をおこなっています。発熱外来も平日の午後に予約制で対応を継続しています。

自治医科大学卒の後期研修医師の教育施設となっていることから、毎年 2 名の医師が当院で研鑽を積んでいます。

## 2. 診療科の特色

内科診療は、塵肺、呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、代謝疾患、消化器疾患、肝疾患、血液疾患、自己免疫性疾患など多岐に渡りますが、全医師が専門医を中心にチーム医療の連携の下診療に当たっています。

「幅の広い診療」を心がけながら、今後も地域医療の担い手として施設、設備、そして人材の充実を図り、そして地域の開業医の先生方とも協力しながら地域住民の保健、健康維持増進に努めていきたいと考えています。

## 3. 今後の課題と目標

常勤医師が不足していることから、まずは常勤医師の確保が急務であると考えています。マンパワーを確保し、通常診療の他にも後期研修医の教育にも力を入れていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症の対応については 7 階病棟で病床を確保し診療を行ってきましたが、将来的

にはコロナ確保病床がなくなることから、緩徐に通常診療の中で対応していく体制を検討していく必要があると考えています。

働き方改革の対応についても、やはり常勤医師の増員が必要であることから、医師の確保を当面の課題としています。

## 4. 業務実績

### ■ 入院患者統計

#### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	1,956	1,842	1,802	1,952	2,204	1,816	1,486	1,533	2,128	2,385	1,585	1,585	22,274	1,856.2

#### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	65.2	59.4	60.1	63.0	71.1	60.5	47.9	51.1	68.6	76.9	56.6	51.1		61.0

#### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	15.5	15.7	14.5	13.0	13.3	13.2	12.7	14.7	16.0	16.8	13.1	13.4		14.4

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

### ■ 外来部門（他科診患者除く）

#### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	1,741	1,657	1,770	1,790	1,816	1,701	1,628	1,680	1,771	1,674	1,539	1,619	20,386	1,698.8
(内科入院中外来)	27	29	19	16	26	30	27	19	22	16	183	161	575	47.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

#### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	87.0	87.2	80.5	87.7	82.5	85.1	81.4	84.0	88.6	88.1	81.0	73.6		83.9

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

#### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

#### 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	286	286	273	281	332	250	200	262	277	284	203	226	3,160	263.3

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	1,768	1,686	1,789	1,806	1,842	1,731	1,655	1,699	1,793	1,690	1,722	1,780	20,961	1,746.8
（内科入院中外来）	27	29	19	16	26	30	27	19	22	16	183	161	575	47.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	88.4	88.7	81.3	90.3	83.7	86.6	82.8	85.0	89.7	88.9	90.6	80.9		86.3

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	286	290	273	281	334	252	201	262	277	286	206	226	3,174	264.5

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## ■ 紹介患者数

### 紹介患者数

年度	R04												合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	132	123	122	142	85	145	153	139	168	152	125	159	1645	137

## ■ 手術部門

### 手術件数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科						1							1	0.1

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

## 内視鏡件数

検査区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
上部	検査	60	50	60	55	38	48	40	49	58	54	45	58	615	51.3
	手術	15	14	18	10	17	18	10	3	12	13	5	5	140	11.7
	処置		1						1					2	1.0
下部	検査	35	29	38	31	25	39	41	38	41	35	40	34	426	35.5
	手術	26	12	9	5	1	1		1	13	11	7	7	93	8.5
	処置	1		1	1	1				1		1		6	1.0
気管支鏡			1							1				2	1.0
ERCP (検査のみ)		1	3	1	2	1						1		9	1.5

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内視鏡的乳頭切開術 (乳頭括約筋切開のみのもの)		1	1								1			3	1.0
(入院)		1	1								1			3	1.0
(外来)															
内視鏡的大腸ポリープ・粘 膜切除術 (直径 2 cm未満)		7	9	8	4					9	9	6	4	56	7.0
(入院)		7	9	8	4					9	9	6	4	56	7.0
(外来)															
内視鏡的膵管ステント留置術		1	1		1	1					1			5	1.0
(入院)		1	1		1	1					1			5	1.0
(外来)															
胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術・ 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)				1	2	1	1	2	1		1	1	1	11	1.2
(入院)				1	2	1	1	2	1		1	1	1	11	1.2
(外来)															
小腸結腸内視鏡的止血術			1		1						1	1		4	1.0
(入院)			1		1						1	1		4	1.0
(外来)															
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ・ 粘膜切除術 (早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術)				1										1	1.0
(入院)				1										1	1.0
(外来)															
内視鏡的消化管止血術			2	1	1		1			1		2		8	1.3
(入院)			2	1	1		1			1		1		7	1.2
(外来)												1		1	1.0
内視鏡的大腸ポリープ・粘 膜切除術 (直径 2 cm以上)				2	1						3	1		9	1.8
(入院)				2	1						3	1		9	1.8
(外来)															
内視鏡的乳頭切開術 (胆道碎石術を伴うもの)				1										1	1.0
(入院)				1										1	1.0
(外来)															
経皮的肝膿瘍ドレナージ術					1			1						3	1.0
(入院)					1			1						3	1.0
(外来)															
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ・ 粘膜切除術 (その他のポリープ・粘膜切除術)					1									1	1.0
(入院)					1									1	1.0

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
(外来)														
内視鏡的胆道結石除去術 (胆道碎石術を伴うもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
膵結石手術 (経十二指腸乳頭によるもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
経皮的胆管ドレナージ術				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
内視鏡的胃・ 十二指腸ステント留置術				1							1		2	1.0
(入院)				1							1		2	1.0
(外来)														
下部消化管ステント留置術					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
内視鏡的胆道ステント留置術					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
ペースメーカー交換術					1		1						2	1.0
(入院)					1		1						2	1.0
(外来)														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注 入用植込型カテーテル設置 (頭頸部その他)						1							1	1.0
(入院)						1							1	1.0
(外来)														
経尿道的尿管ステント留置術								1					1	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)														
胸水・腹水濾過濃縮再静注法								1					1	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)														
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術												1	1	1.0
(入院)												1	1	1.0
(外来)												1	1	1.0

# 脳神経内科



## 概要

診療科人員  
部長：高嶋 伸幹

## 1. 診療体制

脳神経内科は月曜午前午後、火曜日午前、木曜日午前に外来診療を行っている。新患は月曜日午前午後完全予約制、再診は火曜日午前、木曜日午前に行い、診察までの待ち時間短縮を心掛けている。また、救急患者緊急対応（主に脳梗塞など）や他科依頼に随時対応している。半側顔面けいれんや眼瞼痙攣などに対するボトックス治療・車椅子使用の重症患者・脳波や神経伝導検査が必要な患者は、火曜日・木曜日の午後に再診予約を入れている。さらに回復期リハ病棟専従医と協力して、回復期リハ病棟の主に脳卒中の入院患者を診察している。

## 2. 診療科の特色

外来患者の内訳は、神経変性疾患（パーキンソン病、レヴィ小体型認知症、進行性核上性麻痺、脊髄小脳変性症など）、脳血管障害、てんかん、頭痛、末梢神経疾患、半側顔面けいれん、眼瞼痙攣、レストレッグス症候群、REM睡眠行動異常症など多岐にわたる。特にパーキンソン病は治療経験豊富であるため、他院からの紹介および治療に携わることが多い。脳血管障害の予防もエビデンスに基づいた最適な診療を心掛けている。

一般病棟は脳梗塞治療（超急性期を除く）に携わることが多かった。SCU（Stroke Care Unit）勤務経験を活かし、適切な治療を行った。またパーキンソン病などの変性疾患の急性増悪などに対応した。COVID-19感染後のギランバレー症候群に対してγグロブリン大量療法なども行った。耳性めまい、中枢性めまいの入院も多く受け持った。

回復期リハ病棟は脳血栓、脳塞栓、脳出血などの脳血管障害の重急性期などを対象とし、飯塚病院の脳神経内科・脳神経外科からの紹介患者が多かった。

### 3. 今後の課題と目標

今後も病病連携、病診連携を推進して理想の地域連携ネットワークを構築し、患者さんへのよりよい医療提供を目指していく。特に神経変性疾患の外来患者や、回復期リハビリ病棟の脳卒中患者を広く受け入れ、地域医療に貢献していく所存である。また入院患者のせん妄対策を看護師、薬剤師、栄養士、事務と連携・知識共有しながら認知症カンファレンスを行い、診療・看護のスキルアップにつなげていく。また、急性期の脳梗塞治療について、救急医・内科医と連携を密に図り、機能予後・アウトカムを向上していくことを計画する。

### 4. 業務実績

#### ■ 入院患者統計

##### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経内科	109	115	89	124	174	134	177	118	279	302	207	212	2,040	170.0

##### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経内科	3.6	3.7	3.0	4.0	5.6	4.5	5.7	3.9	9.0	9.7	7.4	6.8		5.6

##### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経内科	19.4	11.8	2.7	8.7	8.0	37.0	14.3	5.0	17.6	20.8	24.8	36.4		16.2

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

#### ■ 外来部門（他科診患者除く）

##### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経内科	125	110	136	143	114	126	144	123	123	131	113	143	1,531	127.6
(脳神経内科入院中外来)	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	0	0	5	0.4

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

##### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経内科	10.4	9.2	10.5	13.0	8.8	10.5	12.0	10.3	10.3	11.9	10.3	11.9		10.7

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

##### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経内科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	4	1	7	8	4	4	6	2	6	5	7	5	59	4.9

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## 外来部門（他科診患者を含む）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	125	110	137	143	115	127	144	123	123	133	113	143	1,536	128.0
(脳神経内科入院中外来)	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	0	0	5	0.4

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	10.4	9.2	10.5	13.0	8.8	10.6	12.0	10.3	10.3	12.1	10.3	11.9		0.6

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	4	1	7	8	4	4	6	2	6	5	7	5	59	4.9

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## 紹介患者数

## 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経内科	9	2	6	8	4	4	10	9	11	5	7	7	82	7

## 5. 論文・学会発表・講演等

R3, 4年度 特になし

# 小児科



## 概要

診療科人員：常勤医師 2 名  
部長：穂吉 秀隆

## 1. 診療体制

小児科は常勤医師 2 名の体制で診療をおこなっています。

月曜から金曜までの午前、午後に来来診療をおこなっています。小児科ではこどものあらゆる病気に対応しています。外来診療の他、予防接種（予約制）や健診も行っています。

## 2. 診療科の特色

当院の特徴として、眼科、耳鼻科、皮膚科などの診療科があり、必要な場合には連携して診療にあたっています。また血液検査やレントゲンなどの画像検査もすぐに対応できます。

小児科部長はへき地診療支援や飯塚市の健診および予防接種の外務も行っています。もう 1 名の沖小児科医師は感染症専門医の資格も有しており、小児科業務の他、ICDとして院内の感染管理体制強化の役割も担っています。

## 3. 今後の課題と目標

現状は、小児科は医師 2 名体制であり、小児科診療の他にも多くの業務を担っていることから、基本的には入院患者の対応は行っていない状況です。

2 次医療を行うには常勤医師の確保が課題となっています。

## 4. 業務実績

### ■ 入院患者統計

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	4	2	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	14	1.2

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

#### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.8

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

### ■ 外来部門（他科診患者除く）

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	104	138	120	152	161	132	133	129	141	83	132	73	1,498	124.8
(小児科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	5.2	7.3	5.5	6.6	7.3	6.6	6.7	6.5	7.1	4.4	8.3	4.3		6.3

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

#### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	16	17	235	19.6

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

#### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
小児科	59	73	61	65	98	66	50	53	65	28	56	26	700	58.3

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小児科	104	138	120	152	161	132	133	129	141	83	132	73	1,498	124.8
(小児科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小児科	5.2	7.3	5.5	7.6	7.3	6.6	6.7	6.5	7.1	4.4	8.3	4.3		6.4

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小児科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	16	17	235	19.6

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小児科	59	73	61	65	98	66	50	53	65	28	56	26	700	58.3

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## ■ 紹介患者数

### 紹介患者数

年度	R04												合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小児科	1	1	1	3	4	1	2	3		1	2	1	20	2

# 外科



## 概要

診療科人員：部長 1 名、常勤医師 4 名、非常勤医師 3 名  
 名誉院長：岡部 正之・部長：吉田 純

## 1. 診療体制

外科は常勤医師5名、非常勤医師3名の体制で診療をおこなっています。久留米大学医学部外科学講座より医師を派遣いただいています。外来の診療体制は平日の外科外来の他、週1回肛門外来、乳腺外来も行っています。消化管疾患を中心に幅広く診療、手術を行い、主に4階病棟で外科症例の入院を受け入れています。

## 2. 診療科の特色

外科の対象疾患は、胃、十二指腸、結腸、直腸等の消化管疾患、肝臓、胆道（胆のう、胆管）、膵臓等の肝胆膵疾患を中心に、一般外科、乳腺、血管外科等幅広く診療、手術を行っています。悪性疾患に対しては、個々の症例に応じた質の高い手術法、治療法を選択しガイドラインに沿って手術や鏡視下手術を行っています。また術前、術後の化学療法を行い、また再発や手術不能例には化学療法を行い、延命効果を認めています。胆管結石や胆道癌による胆管炎、胆道狭窄や胆道閉塞が多いのが特徴で内視鏡的乳頭的治療、処置を多く行っています。血管外科では、主に下肢静脈瘤治療（レーザー治療、塞栓療法など）を行っています。症例によっては血管外科専門医の応援で、腹部大動脈瘤手術も行っています。

患者さんの心の声が理解出来る様に、又患者さん中心の全人的治療が出来る様に努めています。

## 3. 今後の課題と目標

課題としては、常勤医師の不足があげられます。医師数が増えれば乳腺外科の診療機能強化や夜間救急対応の強化等を図りたいと考えています。

今後の目標としては、低侵襲の腹腔鏡下手術の症例数をより一層増やしていきたいと考えています。費用面を考えるとすぐに導入とはいきませんが、将来構想としては、ロボット手術についても中長期的計画として考えているところです。

## 4. 業務実績（外科）

### ■ 入院患者統計

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	618	554	596	563	517	584	520	482	539	466	462	466	6,367	530.6

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	20.6	17.9	19.9	18.2	16.7	19.5	16.8	16.1	17.4	15.0	16.5	15.0		17.4

#### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	9.2	8.8	7.2	11.2	8.7	7.1	9.1	11.1	11.1	9.6	8.0	7.5		8.9

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

### ■ 外来部門（他科診患者除く）

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	468	475	491	480	545	551	489	495	438	511	577	491	6,011	500.9
(外科入院中外来)	0	6	2	1	3	0	0	3	0	1	1	3	20	1.7

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	23.5	25.0	22.3	24.0	24.8	27.6	24.5	24.8	21.9	26.9	30.4	22.3		24.8

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

#### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

#### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外科	46	55	60	60	71	69	41	69	49	73	65	55	713	59.4

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

## 外来部門（他科診患者を含む）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
外科	468	481	493	481	548	551	489	498	438	512	578	494	6,031	502.6
(外科入院中外来)	0	6	2	1	3	0	0	3	0	1	1	3	20	1.7

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
外科	23.4	25.3	22.4	24.1	24.9	27.6	24.5	24.9	21.9	26.9	30.4	22.5		24.8

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
外科	46	55	60	60	71	69	41	70	49	73	65	56	715	59.6

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## 紹介患者数

### 紹介患者数

年度	R04												合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
外科	29	22	24	23	18	47	30	36	25	32	23	33	342	29

## 手術部門

### 手術件数

年度	R04												合計	月平均
外科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
外科	43	35	41	24	25	37	33	27	24	26	29	31	375	31.3

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
ヘルニア手術（鼠経ヘルニア）	3	1	3		3	1	3	2		2	5	2	25	2.5
（入院）	3	1	3		3	1	3	2		2	5	2	25	2.5
（外来）														
下肢静脈瘤血管内焼灼術	5	6	3	3	1	1	3	2	3	5	4	4	40	3.3
（入院）	5	6	3	3	1	1	3	2	3	5	4	4	40	3.3
（外来）														
下大静脈フィルター留置術	2	2											4	2.0
（入院）	1	1											2	1.0
（外来）	1	1											2	1.0
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1								2				3	1.5
（入院）	1								2				3	1.5
（外来）														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	4	3	2	1	3	3	1	4	1	1	2	1	26	2.2
（入院）	2		1	1	2	2	1	2	1				12	1.5
（外来）	2	3	1		1	1		2		1	2	1	14	1.6
痔核手術（脱肛を含む）（結紮術）	1												1	1.0
（入院）	1												1	1.0
（外来）														
痔核手術（脱肛を含む）（硬化療法（四段階注射法によるもの））	2												2	2.0
（入院）	2												2	2.0
（外来）														
痔核手術（脱肛を含む）（根治手術（硬化療法（四段階注射法によるもの）を伴うもの））	1				1	1						4	7	1.8
（入院）	1				1	1						4	7	1.8
（外来）														
小腸切除術（その他のもの）	1						1						2	1.0
（入院）	1						1						2	1.0
（外来）														
胆嚢外瘻造設術	2				1	2	4			1		2	12	2.0
（入院）	2				1	2	4			1		2	12	2.0
（外来）														
直腸切除・切断術（切断術）	1												1	1.0
（入院）	1												1	1.0
（外来）														
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	2		2	1	1	2							8	1.6
（入院）	2		2	1	1	2							8	1.6
（外来）														
内視鏡的消化管止血術	1							1		1	1		4	1.0
（入院）	1							1		1	1		4	1.0
（外来）														
内視鏡的胆道ステント留置術	5	2	2		7	4	2	1	2	1	1	1	28	2.5
（入院）	5	2	2		7	4	2	1	2	1	1	1	28	2.5
（外来）														
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	1			1	1	1	1	1					6	1.0
（入院）	1			1	1	1	1	1					6	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内視鏡的乳頭切開術 (胆道碎石術を伴うもの)	4	3	4	2	2	2	2	1	2	5	1	1	29	2.4
(入院)	4	3	4	2	2	2	2	1	2	5	1	1	29	2.4
(外来)														
内視鏡的乳頭切開術 (乳頭括約筋切開のみのもの)	1	1	2	1	1	4	2		3			1	16	1.8
(入院)	1	1	2	1	1	4	2		3			1	16	1.8
(外来)														
内視鏡的膵管ステント留置術	1			1					1				3	1.0
(入院)	1			1					1				3	1.0
(外来)														
腹腔鏡下胃・ 十二指腸潰瘍穿孔縫合術	1			1									2	1.0
(入院)	1			1									2	1.0
(外来)														
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	3	4		4	2	1	2	1	3	1			21	2.3
(入院)	3	4		4	2	1	2	1	3	1			21	2.3
(外来)														
腹腔鏡下結腸切除術 (小範囲切除・結腸半側切除)	1	1	4	1		2	1			1		2	13	1.6
(入院)	1	1	4	1		2	1			1		2	13	1.6
(外来)														
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	3	8	5	3	3	6	4	5	3		2	3	45	4.1
(入院)	3	8	5	3	3	6	4	5	3		2	3	45	4.1
(外来)														
腹腔鏡下胆嚢摘出術	13	5	11	5	4	8	8	4	4	7	8	8	85	7.1
(入院)	13	5	11	5	4	8	8	4	4	7	8	8	85	7.1
(外来)														
腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	1		2			1	1		1	1		2	9	1.3
(入院)	1		2			1	1		1	1		2	9	1.3
(外来)														
腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切断術)	1											1	2	1.0
(入院)	1											1	2	1.0
(外来)														
腹腔鏡下直腸切除・切断術 (低位前方切除術)	2					2		1	1	1	1		8	1.3
(入院)	2					2		1	1	1	1		8	1.3
(外来)														
肛門周囲膿瘍切開術	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
膵頭部腫瘍切除術 (膵頭十二指腸切除術の場合)	1							1					2	1.0
(入院)	1							1					2	1.0
(外来)														
下肢静脈瘤手術(高位結紮術)		1			2		1						4	1.3
(入院)		1			2		1						4	1.3
(外来)														
関節脱臼非観血的整復術(指)		1					1						2	1.0
(入院)		1					1						2	1.0
(外来)								1					2	1.0

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
結腸切除術 (全切除・亜全切除又は悪性腫瘍手術)		1		1		1			1				4	1.0
(入院)		1		1		1			1				4	1.0
(外来)														
腸閉塞症手術 (腸管癒着症手術)		1		1			1						3	1.0
(入院)		1		1			1						3	1.0
(外来)														
腹腔鏡下ヘルニア手術 (腹壁癒着ヘルニア)		2					1		1		1		5	1.3
(入院)		2					1		1		1		5	1.3
(外来)														
腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術)		1		1								1	3	1.0
(入院)		1		1								1	3	1.0
(外来)														
膵嚢胞外瘻造設術 (開腹によるもの)		1											1	1.0
(入院)		1											1	1.0
(外来)														
ヘルニア手術 (腹壁癒着ヘルニア)			1								1		2	1.0
(入院)			1								1		2	1.0
(外来)														
リンパ節膿瘍切開術			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
結腸切除術(小範囲切除)			1				1	1			1		4	1.0
(入院)			1				1	1			1		4	1.0
(外来)														
抗悪性腫瘍剤動脈内持続注 入用植込型カテーテル設置 (頭頸部その他)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
人工肛門閉鎖術 (腸管切除を伴わないもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
胆嚢悪性腫瘍手術 (肝切除(葉以上)を伴うもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
腸閉塞症手術(結腸切除術) (小範囲切除)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
動脈血栓内膜摘出術 (その他のもの)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
内視鏡的乳頭切開術 (胆道鏡下結石破碎術を伴うもの)			1		1								2	1.0
(入院)			1		1								2	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
皮膚・皮下腫瘍摘出術 (露出部) (直径4cm以上)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
腹腔鏡下胃腸吻合術			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
腹腔鏡下試験開腹術			1						1				2	1.0
(入院)			1						1				2	1.0
(外来)														
ヘルニア手術 (大腿ヘルニア)				1								1	2	1.0
(入院)				1								1	2	1.0
(外来)														
胃全摘術 (悪性腫瘍手術)				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
胃縫合術 (大網充填術又は 被覆術を含む)				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術・ 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)				1							1		2	1.0
(入院)				1							1		2	1.0
(外来)														
胸腔鏡下肺切除術 (肺嚢胞手術 (楔状部分切 除によるもの))				1									1	1.0
(入院)				1									1	1.0
(外来)														
四肢の血管拡張術・ 血栓除去術				2		1	1						4	1.3
(入院)				2		1	1						4	1.3
(外来)														
胆嚢摘出術				1					1				2	1.0
(入院)				1					1				2	1.0
(外来)														
肝切除術 (部分切除) (単回の切除によるもの)					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術					1				1				2	1.0
(入院)					1				1				2	1.0
(外来)														
静脈血栓摘出術 (その他のもの (観血的なもの))					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
直腸異物除去術 (経肛門 (内視鏡によるもの))					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内視鏡的胃・ 十二指腸狭窄拡張術					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
皮膚・皮下腫瘍摘出術 (露出部)(直径2cm未満)					1								1	1.0
(入院)					1									
(外来)					1								1	1.0
皮膚切開術(直径10cm未満)					1			1	1				3	1.0
(入院)					1			1	1				3	1.0
(外来)					1			1	1				3	1.0
腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)					1	1				1			3	1.0
(入院)					1	1				1			3	1.0
(外来)														
腹腔鏡下人工肛門造設術					1				3	1			5	1.7
(入院)					1				3	1			5	1.7
(外来)														
腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂 周囲膿瘍を伴うもの)					2	1	2				1		6	1.5
(入院)					2	1	2				1		6	1.5
(外来)														
ヘルニア手術(臍ヘルニア)						2	1		1	1			5	1.3
(入院)						2	1		1	1			5	1.3
(外来)														
結腸切除術(結腸半側切除)							1						1	1.0
(入院)							1						1	1.0
(外来)														
血管塞栓術(頭部・胸腔・ 腹腔内血管等) (選択的動脈化学塞栓術)							1						1	1.0
(入院)							1						1	1.0
(外来)														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注 入用植込型カテーテル設置 (四肢)							1						1	1.0
(入院)							1							
(外来)							1						1	1.0
高位直腸瘻手術							1						1	1.0
(入院)							1						1	1.0
(外来)														
骨折非観血的整復術 (肩甲骨)								1					1	1.0
(入院)								1						
(外来)								1					1	1.0
大伏在静脈抜去術								1					1	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)														
内視鏡的胃・十二指腸ポ リーブ・粘膜切除術 (早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術)								1			1		2	1.0
(入院)								1			1		2	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内視鏡的大腸ポリープ・ 粘膜切除術（直径2cm未満）						1						1	2	1.0
（入院）						1						1	2	1.0
（外来）														
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術						1				1			2	1.0
（入院）						1				1			2	1.0
（外来）														
肝切除術（外側区域切除）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
痔核手術（脱肛を含む） （根治手術）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
皮膚・皮下腫瘍摘出術 （露出部以外）（直径3cm以 上6cm未満）							1						1	1.0
（入院）														
（外来）							1						1	1.0
痔核手術（脱肛を含む） （血栓摘出術）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
腸閉塞症手術（小腸切除術） （その他のもの）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
腹腔鏡下ヘルニア手術 （大腿ヘルニア）								2		1			3	1.5
（入院）								2		1			3	1.5
（外来）														
裂肛根治手術								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
腓頭部腫瘍切除術 （血行再建を伴う腫瘍切除術の場合）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
食道狭窄拡張術 （拡張用バルーンによるもの）									1				1	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）														
内視鏡的胆道結石除去術 （胆道碎石術を伴うもの）			1			1	1		1	1		1	6	1.0
（入院）			1			1	1		1	1		1	6	1.0
（外来）														
皮膚悪性腫瘍切除術 （単純切除）									1				1	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）														
腹腔鏡下胃切除術 （悪性腫瘍手術）									1				1	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
直腸腫瘍摘出術 (ポリープ摘出を含む)(経肛門)										1			1	1.0
(入院)										1			1	1.0
(外来)														
腹腔鏡下試験切除術										1	1		2	1.0
(入院)										1	1		2	1.0
(外来)														
下肢静脈瘤手術 (硬化療法(一連として))											1		1	1.0
(入院)														
(外来)											1		1	1.0
経皮的肝膿瘍ドレナージ術											1		1	1.0
(入院)											1		1	1.0
(外来)														
腸吻合術											1		1	1.0
(入院)											1		1	1.0
(外来)														
内視鏡的結腸異物摘出術											1		1	1.0
(入院)											1		1	1.0
(外来)														
急性汎発性腹膜炎手術												1	1	1.0
(入院)												1	1	1.0
(外来)														
腸管癒着症手術												1	1	1.0
(入院)												1	1	1.0
(外来)														

## 業務報告 (乳腺外科)

### ■ 入院患者統計

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	53	50	23	10	9	15	7	10	11	31	37	48	304	25.3

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	1.8	1.6	0.8	0.3	0.3	0.5	0.2	0.3	0.4	1.0	1.3	1.5		0.8

#### 科別平均在院日数 (単月) (一般病棟)

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	7.3	7.5	8.0	0.0	4.5	2.7	2.0	5.5	2.2	5.2	5.7	4.3		4.9

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

## ■ 外来部門（他科診患者除く）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
乳腺外科	115	98	99	112	92	117	112	109	115	142	121	154	1,386	115.5
(乳腺外科入院中外来)	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。(入院他科診患者は下記に再掲)

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
乳腺外科	28.8	32.7	19.8	28.0	30.7	29.3	28.0	36.3	28.8	35.5	40.3	30.8		30.7

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
乳腺外科	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	3	5	46	3.8

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

### 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
乳腺外科	22	10	19	26	25	23	9	10	27	33	19	30	253	21.1

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
乳腺外科	115	98	100	112	92	119	112	109	115	142	121	155	1,390	115.8
(乳腺外科入院中外来)	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4	0.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が**含まれています**。(入院他科診患者は下記に再掲)

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
乳腺外科	28.8	32.7	20.0	28.0	30.7	29.8	28.0	36.3	28.8	35.5	40.3	31.0		30.2

※外来患者数に入院中他科診患者数が**含まれています**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
乳腺外科	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	3	5	46	1.5

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	22	10	19	26	25	23	9	10	27	33	19	30	253	21.1

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

### 紹介患者数

#### 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	13	6	10	16	7	16	5	6	15	19	11	13	137	11

### 手術部門

#### 手術件数

年度 R04

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
乳腺外科	11	9	3	4	4	10	11	5	10	11	13	11	102	8.5

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの） 胸筋切除を併施しないもの）	2	1		1	1			1					6	1.2
（入院）	2	1		1	1			1					6	1.2
（外来）														
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））	2	1	1						1	4	5	3	17	2.4
（入院）	2	1	1						1	4	5	3	17	2.4
（外来）														
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）		1				1	1	1		1			5	1.0
（入院）									1				1	1.0
（外来）		1			1	1	1						4	1.0
皮膚切開術（直径10cm以上20cm未満）			1										1	1.0
（入院）			1										1	1.0
（外来）														
リンパ節摘出術（直径3cm以上）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
乳腺腫瘍摘出術（直径5cm以上）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
乳腺膿瘍切開術							2	1		2			5	1.7
（入院）							2	1		2			5	1.7
（外来）														
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））								1					1	2
（入院）								1					1	2
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
皮膚切開術 (直径10cm未満)												1	1	1.0
(入院)														
(外来)												1	1	1.0

# 整形外科



## 概要

診療科人員：整形外科部長 1 名、常勤医師 6 名、非常勤医師 9 名  
部長：亀川 史武

## 1. 診療体制

整形外科は常勤医師 7 名、非常勤医師 9 名の体制で診療をおこなっています。福岡大学医学部整形外科学教室より 6 名の医師を派遣いただいています。外来の診療体制は平日の整形外来の他、「脊椎・脊髄」、「足」、「手」、「肩」の専門外来も特定の日に行っています。主に外傷による骨折や人工股関節等の手術を行い、6 階病棟を中心に整形外科症例の入院を受け入れています。状況に応じ、重点的にリハビリテーションが必要な場合には 5 階病棟の回復期リハビリテーション病棟へ転棟し、低下した機能の回復を図り、社会復帰を目指しています。

## 2. 診療科の特色

患者が日常の生活活動に支障がないように、そして痛みのない生活や趣味やスポーツなど充実した人生が送れるよう運動器の治療や外傷の治療を行うことをクレドとし、私たち整形外科医は診療を行っています。

まずは日常生活の指導をはじめ、薬や注射、理学療法（温熱治療や体操療法）を併用しながら保存治療を行っています。保存的治療によって改善のない場合や、外傷による骨折では手術治療を行っています。手術には骨折や脱臼をはじめとする外傷や人工関節などの関節手術、椎間板ヘルニアなどの脊椎手術、そのほか神経や靭帯の手術、腫瘍（できもの）の手術をお行っています。高齢者の骨粗しょう症による骨折では「寝たきり」にならないために積極的に手術治療をおこなっています。

福岡大学医学部整形外科学教室より定期的に派遣医師を交替する人事をしていただき、次世代を担う若手医師の研修施設として当院で研鑽を積んでもらっています。今後も整形外科医の後進の育成に力を入れていきます。

### 3. 今後の課題と目標

医師の働き方改革を間近となった現在、整形外科医師の時間外労働の削減、宿直明けの休養の確保等を行いながら現状の診療体制を大きく縮小することなく診療を継続していくことが課題のひとつとしてあげられます。また大学より派遣いただいている宿直、宿日直の応援が継続されるのか否かについても今後の時間外の診療体制維持を考える際に大きなポイントとなってきます。

病院全体の動きとして救急体制も強化しているところであり、整形外科としても病院の変化に出来得るかぎり対応し、他の診療科や看護部、医療技術部とも協同しながら診療を行い、より一層安全で質の高い医療を提供することに努めて参ります。

### 4. 業務実績

#### ■ 入院患者統計

##### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	2,237	2,474	2,389	2,315	2,315	2,514	2,477	2,565	2,716	2,438	2,468	2,730	29,638	2,469.8

##### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	74.6	79.8	79.6	74.7	74.7	83.8	79.9	85.5	87.6	78.6	88.1	88.1		81.2

##### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	16.8	16.8	16.3	19.0	17.7	16.1	13.7	21.4	17.3	16.0	17.3	15.0		16.8

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

#### ■ 外来部門（他科診患者除く）

##### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	1,939	2,056	2,140	2,033	2,045	2,080	1,956	1,933	1,893	1,918	1,925	2,201	24,119	2,009.9
（整形外科入院中外来）	5	6	7	5	11	10	8	1	9	17	5	7	91	7.6

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

##### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	96.9	108.2	97.3	101.2	93.0	104.0	97.8	96.7	94.7	100.9	101.3	100.0		99.3

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

##### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	214	236	208	178	231	174	184	190	159	183	202	217	2,376	198.0

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	1,944	2,062	2,147	2,038	2,056	2,090	1,964	1,934	1,902	1,935	1,930	2,208	24,210	2,017.5
(整形外科入院中外来)	5	6	7	5	11	10	8	1	9	17	5	7	91	7.6

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	97.2	108.5	97.6	101.9	93.5	104.5	98.2	96.7	95.1	101.8	101.6	100.4		99.6

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	214	236	208	178	232	175	184	190	159	185	202	217	2,380	198.3

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## ■ 紹介患者数

## 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	99	93	66	73	39	83	95	97	97	80	83	112	1017	85

## ■ 手術部門

## 手術件数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
整形外科	50	54	56	37	60	60	57	53	60	57	63	66	673	56.1

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
アキレス腱断裂手術	1									1			2	1.0
(入院)	1									1			2	1.0
(外来)														
一時的創外固定骨折治療術	2	1				1	1						5	1.3
(入院)	2	1				1	1						5	1.3
(外来)														
化膿性又は結核性関節炎掻爬術(股)	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
関節滑膜切除術(肘)	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
関節鏡下手根管開放手術	4		4	3	4	1	2	2		3	1	5	29	2.9
(入院)	4		4	2	4	1	2	2		3		5	27	3.0
(外来)				1							1		2	1.0
関節鏡下半月板切除術	1	1	1	2		3		1	2	1		2	14	1.6
(入院)	1	1	1	2		3		1	2	1		2	14	1.6
(外来)														
関節脱臼非観血の整復術(肩)	1	2	1		2	3	1		1		1	1	13	1.4
(入院)							1						1	1.0
(外来)	1	2	1		2	3			1		1	1	12	1.5
関節脱臼非観血の整復術(膝)	1												1	1.0
(入院)														
(外来)	1												1	1.0
関節内骨折観血の手術(足)	1					2							3	1.5
(入院)	1					2							3	1.5
(外来)														
骨折観血の手術(下腿)	2	1		4	6	3		2	2	1	4	4	29	2.9
(入院)	2	1		4	6	3		2	2	1	4	4	29	2.9
(外来)														
骨折観血の手術(鎖骨)	1	1	1			1	1		1	1	1		8	1.0
(入院)	1	1	1			1	1		1	1	1		8	1.0
(外来)														
骨折観血の手術(手舟状骨)	1									1		1	3	1.0
(入院)	1									1		1	3	1.0
(外来)														
骨折観血の手術(上腕)	3	1	3	2	1	6	2	2	3	2	2	1	28	2.3
(入院)	3	1	3	2	1	6	2	2	3	2	2	1	28	2.3
(外来)														
骨折観血の手術(前腕)	2	3	4	1	6	2	4	8	1	4	8	7	50	4.2
(入院)	2	3	4	1	6	2	4	8	1	4	8	7	50	4.2
(外来)														
骨折観血の手術(大腿)	9	12	4	2	5	4	7	1	9	3	6	6	68	5.7
(入院)	9	12	4	2	5	4	7	1	9	3	6	6	68	5.7
(外来)														
骨折観血の手術(膝蓋骨)	1	2		3	3	1		1	1	1	4	1	18	1.8
(入院)	1	2		3	3	1		1	1	1	4	1	18	1.8
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
骨折経皮的鋼線刺入固定術 (前腕)	1				1								2	1.0
(入院)	1				1								2	1.0
(外来)														
骨折非観血的整復術(手)	2	2			1	1	2			1			9	1.5
(入院)														
(外来)	2	2			1	1	2			1			9	1.5
骨折非観血的整復術(前腕)	1		1	2	2			1		2	2	3	14	1.8
(入院)										1		1	2	1.0
(外来)	1		1	2	2			1		1	2	2	12	1.5
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(下腿)	2	2	1	3	5	1	7	2	8	3	7	3	44	3.7
(入院)	2	2	1	3	5	1	7	2	8	3	7	3	44	3.7
(外来)														
人工関節再置換術(膝)	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
人工関節置換術(膝)	6	6	10	2	5	7	12	8	6	11	7	10	90	7.5
(入院)	6	6	10	2	5	7	12	8	6	11	7	10	90	7.5
(外来)														
人工骨頭挿入術(股)	5	2	6	2	5	2	5	6	4	3	3	6	49	4.1
(入院)	5	2	6	2	5	2	5	6	4	3	3	6	49	4.1
(外来)														
超音波骨折治療法 (一連につき)	3	1	2	2	1	3	1	1		3	2	1	20	1.8
(入院)	3	1	2	2	1	3	1	1		3	2	1	20	1.8
(外来)														
難治性骨折超音波治療法 (一連につき)	1						1					1	3	1.0
(入院)												1	1	1.0
(外来)	1						1						2	1.0
脛骨近位骨切り術	3		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	15	1.4
(入院)	3		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	15	1.4
(外来)														
腱縫合術	1												1	1.0
(入院)	1												1	1.0
(外来)														
関節鏡下半月板縫合術		1	1	2	3	1		3	2	2			15	1.9
(入院)		1	1	2	3	1		3	2	2			15	1.9
(外来)														
関節脱臼非観血的整復術 (小児肘内障)		1											1	1.0
(入院)														
(外来)		1											1	1.0
関節脱臼非観血的整復術 (肘)		2									1		3	1.5
(入院)											1		1	1.0
(外来)		2											2	2.0
関節内異物(挿入物を含む) 除去術(肘)		1											1	1.0
(入院)														
(外来)		1											1	1.0

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
関節内骨折観血の手術（手）		1			1								2	1.0
（入院）		1			1								2	1.0
（外来）														
関節内骨折観血の手術（膝）		1					1			1			3	1.0
（入院）		1					1			1			3	1.0
（外来）														
関節内骨折観血の手術（肘）		1			2	1		1			1		6	1.2
（入院）		1			2	1		1			1		6	1.2
（外来）														
筋膜切開術		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
骨折観血の手術（指）		2		1	1	2	2				2		10	1.7
（入院）		2			1	2	2				2		9	1.8
（外来）				1									1	1.0
骨折観血の手術（足）		1				2	1	1	1				6	1.2
（入院）		1				2	1	1	1				6	1.2
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術 （下腿）		1						1					2	1.0
（入院）		1						1					2	1.0
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術 （指）		1				1	1				1		4	1.0
（入院）						1					1		2	1.0
（外来）		1					1						2	1.0
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（前腕）		5	6	1	2	5	2	3	3	1	8	8	44	4.0
（入院）		4	6	1	2	5	2	3	3	1	8	8	43	3.9
（外来）		1											1	1.0
骨盤内異物（挿入物）除去術		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
神経移行術		1				2		1		1	1		6	1.2
（入院）		1				2		1		1	1		6	1.2
（外来）														
人工関節置換術（股）		3	5	2	3	3	2	1	1	2	2		24	2.4
（入院）		3	5	2	3	3	2	1	1	2	2		24	2.4
（外来）														
断端形成術（軟部形成のもの） （指）（手）		1											1	1.0
（入院）														
（外来）		1											1	1.0
腱鞘切開術 （関節鏡下によるものを含む）		1	4	5	3		1	2	4	7	3	1	31	3.1
（入院）			1		2				1	2		1	7	1.4
（外来）		1	3	5	1		1	2	3	5	3		24	2.7
靭帯断裂縫合術 （その他の靭帯）		1											1	1.0
（入院）		1											1	1.0
（外来）														
偽関節手術（大腿）			1										1	1.0
（入院）			1										1	1.0
（外来）														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
骨折観血の手術 (手(舟状骨を除く))			1	1	1			1					4	1.0
(入院)			1	1	1								3	1.0
(外来)								1					1	1.0
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(上腕)			1				1			2		1	5	1.3
(入院)			1				1			2		1	5	1.3
(外来)														
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(足)			3	1	2	1	1		2	1	1	1	13	1.4
(入院)			3	1	2	1	1		2	1	1	1	13	1.4
(外来)														
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 (手)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
手根管開放手術			1	2	1	1				1	1	3	10	1.4
(入院)			1			1				1	1	3	7	1.4
(外来)				2	1								3	1.5
断端形成術 (骨形成を要するもの)(指)(足)			1										1	1.0
(入院)			1										1	1.0
(外来)														
皮膚切開術(直径10cm未満)			1					1					2	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)			1										1	1.0
化膿性又は結核性関節炎掻 爬術(指(手・足))				1									1	1.0
(入院)														
(外来)				1									1	1.0
関節内骨折観血の手術(足)				1	1								2	1.0
(入院)				1	1								2	1.0
(外来)														
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(大腿)				1				1	1	2			5	1.3
(入院)				1				1	1	2			5	1.3
(外来)														
観血の整復固定術 (インプラント周囲骨折に 対するもの)(大腿)					2				1	1			4	1.3
(入院)					2				1	1			4	1.3
(外来)														
関節鏡下関節滑膜切除術 (肘)					1								1	1.0
(入院)					1								1	1.0
(外来)														
関節脱臼非観血の整復術 (指)(手)					1	1							2	1.0
(入院)														
(外来)					1	1							2	1.0
偽関節手術(下腿)					1				1				2	1.0
(入院)					1				1				2	1.0
(外来)														

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
骨移植術（軟骨移植術を含む） （自家骨移植）					1				1				2	1.0
（入院）					1				1				2	1.0
（外来）														
骨切り術（大腿）					1								1	1.0
（入院）					1								1	1.0
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術 （足）					1								1	1.0
（入院）					1								1	1.0
（外来）														
関節鏡下関節鼠摘出手術 （膝）						1	1				1		3	1.0
（入院）						1	1				1		3	1.0
（外来）														
関節形成術（手）						1					1		2	1.0
（入院）						1					1		2	1.0
（外来）														
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）						1	1	1	1		1		5	1.0
（入院）						1	1	1	1				4	1.0
（外来）											1		1	1.0
骨折経皮的鋼線刺入固定術 （上腕）						1							1	1.0
（入院）						1							1	1.0
（外来）														
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（鎖骨）						1		1	1				3	1.0
（入院）						1		1	1				3	1.0
（外来）														
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（膝蓋骨）						1						1	2	1.0
（入院）						1						1	2	1.0
（外来）														
四肢切断術（大腿）						1			1	1			3	1.0
（入院）						1			1	1			3	1.0
（外来）														
第一足指外反症矯正手術						1						1	2	1.0
（入院）						1						1	2	1.0
（外来）														
デブリードマン（100cm <sup>2</sup> 未満）							1						1	1.0
（入院）							1							
（外来）													1	1.0
観血的関節固定術（足）							1						1	1.0
（入院）							1						1	1.0
（外来）														
関節脱臼観血的整復術（肩鎖）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0
（外来）														
関節脱臼非観血的整復術（足）								1	1				2	1.0
（入院）								1	1				2	1.0
（外来）														
骨内異物（挿入物を含む） 除去術（肩甲骨）								1					1	1.0
（入院）								1					1	1.0

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
(外来)														
四肢関節離断術(指(手・足))							1						1	1.0
(入院)														
(外来)							1						1	1.0
皮膚・皮下腫瘍摘出術 (露出部)(直径2cm未満)							1						1	1.0
(入院)														
(外来)							1						1	1.0
ガングリオン摘出術(その他) (ヒグローム摘出術を含む)								2					2	2.0
(入院)								2					2	2.0
(外来)														
四肢切断術(下腿)								1					1	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)														
ガングリオン摘出術(指)(手)									1				1	1.0
(入院)														
(外来)									1				1	1.0
関節鏡下関節内骨折観血的手術(膝)									1				1	1.0
(入院)									1				1	1.0
(外来)														
関節脱臼非観血の整復術(股)									1				1	1.0
(入院)									1				1	1.0
(外来)														
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(手)									2	2			4	2.0
(入院)									1	2			3	1.5
(外来)									1				1	1.0
骨内異物(挿入物を含む) 除去術(指)											1		1	1.0
(入院)											1		1	1.0
(外来)														
断端形成術 (骨形成を要するもの)(指)(手)												1	1	1.0
(入院)												1	1	1.0
(外来)														

# 脳神経外科



## 概要

診療科人員：非常勤医師 2 名

## 1. 診療体制

脳神経外科は非常勤医師 2 名の体制で診療をおこなっています。産業医科大学脳神経外科学教室より脳神経外科の医師を派遣していただいています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週月曜午後に行っています。

## 2. 診療科の特色

脳神経外科領域においては、脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷・機能的疾患・脊髄疾患・先天性疾患など多岐にわたります。脳神経外科外来においては診断や非外科的治療を行っており、その他院内コンサルの対応も派遣医師に対応いただいています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

## 3. 今後の課題と目標

救急機能を強化していくにあたり、院内外において専門性の高い脳神経外科の期待が高まっています。常勤医師が不足していることから、まずは常勤医師の確保が急務であると考えています。

## 4. 業務実績

### 入院患者統計

#### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 科別 1 日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
脳神経外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

## ■ 外来部門（他科診患者除く）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	32	49	36	30	42	37	40	43	32	29	32	29	431	35.9
(脳神経外科入院中外来)	0	1	0	0	1	0	2	3	0	1	1	1	10	0.8

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	8.0	9.8	9.0	7.5	8.4	12.3	10.0	10.8	8.0	9.7	8.0	7.3		9.1

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	4	5	4	4	5	3	4	4	4	3	4	4	48	4.0

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	2	7	6	3	5	7	5	10	5	4	3	6	63	5.3

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	32	50	36	30	43	37	42	46	32	30	33	30	441	36.8
(脳神経外科入院中外来)	0	1	0	0	1	0	2	3	0	1	1	1	10	0.8

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	8.0	10.0	9.0	7.5	8.6	12.3	10.5	11.5	8.0	10.0	8.3	7.5		9.2

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	4	5	4	4	5	3	4	4	4	3	4	4	48	4.0

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科	2	7	6	3	5	7	5	10	5	4	3	6	63	5.3

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

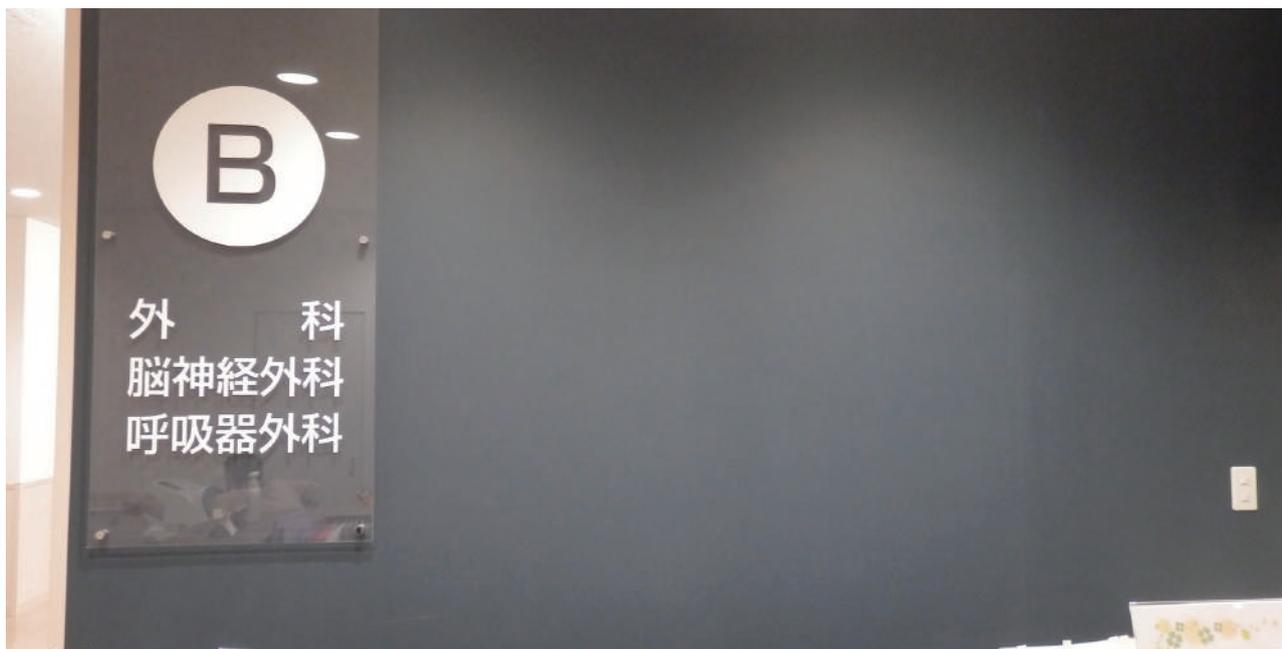
## 紹介患者数

## 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳神経外科		4	1	1		5	1	2	2	3	2	1	22	2

# 呼吸器外科



**概要** 診療科人員：非常勤医師 1 名

## 1. 診療体制

呼吸器外科は非常勤医師 1 名の体制で診療をおこなっています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週金曜の午前に行っています。

## 2. 診療科の特色

呼吸器外科は、過去に常勤として在籍されていた先生が現在は非常勤として勤務していただいています。呼吸器外科の守備範囲としては肺腫瘍（癌、良性腫瘍）、気胸、膿胸、胸壁・縦隔腫瘍等多岐にわたります。外来診療の他、院内コンサルの対応も行っています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

## 3. 今後の課題と目標

常勤医師が不足していることから、まずは呼吸器外科常勤医師の確保を目指しています。

## 4. 業務実績

### 入院患者統計

#### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均	
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

#### 科別 1 日平均患者数

年度	R04												合計	月平均	
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
呼吸器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
呼吸器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※防災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

## ■ 外来部門（他科診患者除く）

## 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
呼吸器外科	20	27	24	25	18	25	21	15	22	11	17	31	256	21.3
(呼吸器外科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.2

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
呼吸器外科	5.0	6.8	6.0	5.0	4.5	8.3	5.3	3.8	5.5	2.8	4.3	6.2		5.3

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
呼吸器外科	4	4	4	5	4	3	4	4	4	4	4	5	49	4.1

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
呼吸器外科		1	3	1	3	2	1						11	1.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

## 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
呼吸器外科	20	27	24	25	18	25	21	17	22	11	17	31	258	21.5
(呼吸器外科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.2

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
呼吸器外科	5.0	6.8	6.0	5.0	4.5	8.3	5.3	4.3	5.5	2.8	4.3	6.2		5.3

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	4	4	4	5	4	3	4	4	4	4	4	5	49	4.1

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科		1	3	1	3	2	1						11	1.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## 紹介患者数

## 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科	2			2	1	1	1					1	8	1

## 手術部門

## 手術件数

年度 R04

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
呼吸器外科														

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

# 泌尿器科



概要 診療科人員：非常勤医師 6 名

## 1. 診療体制

泌尿器科は非常勤医師 6 名の体制で診療をおこなっています。九州大学泌尿器科学教室より泌尿器科の医師を 5 名派遣していただいています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週月曜と火曜の午後、毎週木曜の午前、第 4 週を除く木曜の午後に行っています。

## 2. 診療科の特色

泌尿器科は、過去に常勤として在籍されていた先生が現在は非常勤として勤務いただいている他、九州大学泌尿器科学教室より泌尿器科の医師を派遣いただき外来診療を対応頂いているます。その他、院内コンサルの対応もしていただいています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

## 3. 今後の課題と目標

常勤医師が不足していることから、泌尿器科科常勤医師の確保を目指しています。

## 4. 業務実績

### ■ 入院患者統計

#### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

#### 科別 1 日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※防災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

### 外来部門（他科診患者除く）

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	82	78	89	96	115	115	106	106	95	102	102	121	1,207	100.6
(泌尿器科入院中外来)	10	10	9	6	14	16	15	15	18	11	4	11	139	11.6

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	6.8	6.5	6.8	8.6	8.8	9.6	8.8	8.8	7.9	9.3	9.3	10.1		8.5

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

#### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

#### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	11	9	10	12	20	14	12	18	15	13	17	19	170	14.2

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

### 外来部門（他科診患者を含む）

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	92	88	98	102	129	131	121	121	113	113	106	132	1,346	112.2
(泌尿器科入院中外来)	10	10	9	6	14	16	15	15	18	11	4	11	139	11.6

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	7.7	7.3	7.5	9.3	9.9	10.9	10.1	10.1	9.4	10.3	9.6	11.0		9.4

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	11	10	10	12	20	14	15	18	15	16	17	19	177	14.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

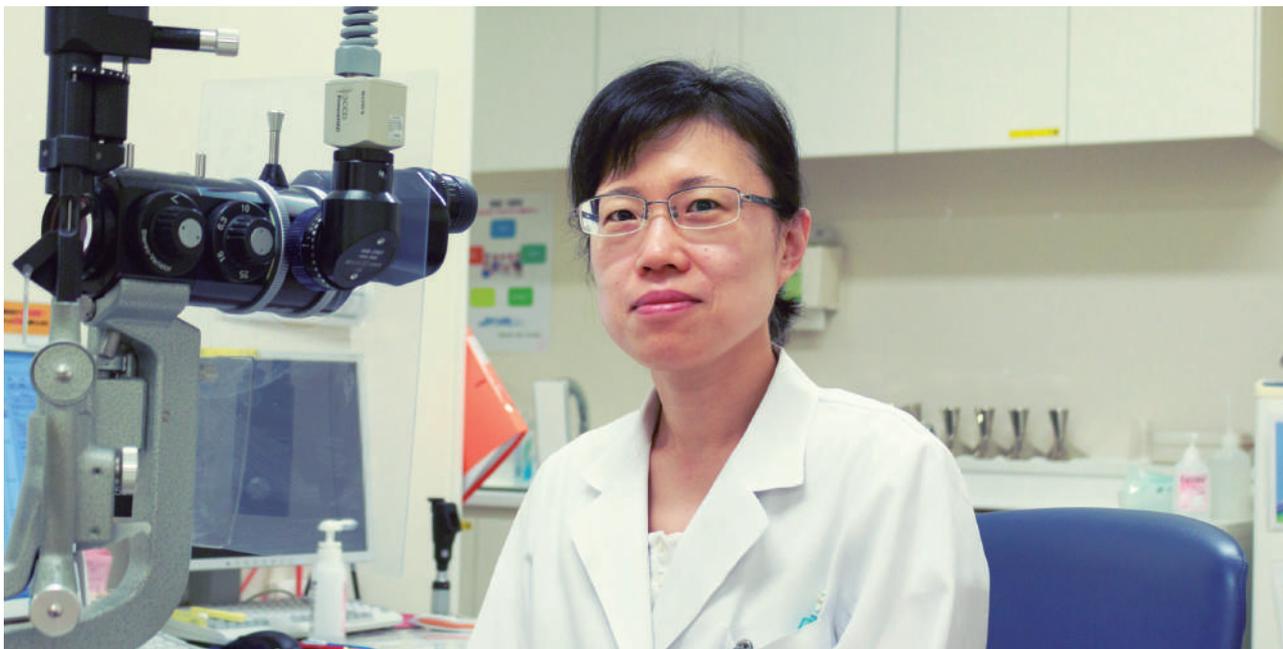
## 紹介患者数

## 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
泌尿器科	4	3		1	4	4	4	6	3	6	5	7	47	4

# 眼科



## 概要

診療科人員  
 部長：山下 美恵  
 常勤医師：1名 非常勤医師：2名

## 1. 診療体制

眼科の診療体制は、医師は常勤1人、非常勤2人です。視能訓練士は常勤2人、非常勤1人です。そのほか看護師、医師事務補助、クラークで外来診療を行っています。

外来診療は、月～金曜日午前中に通常診療をしています。午後からは隔週月曜、火曜、水曜は手術を中心に、月、木、金曜は特殊検査や硝子体注射、レーザー治療などを行っています。

## 2. 診療科の特色

白内障、緑内障をはじめ眼瞼、結膜などの外眼部疾患、糖尿病の合併症、網膜硝子体疾患など各種眼疾患の診療を行っています。加齢黄斑変性症や糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症に硝子体注射の治療もしています。

また、小児の眼科検査も可能で乳幼児の眼疾患、斜視、弱視の検査・治療を行います。3歳児検診の視覚検査の2次検査もしています。小児の診療は、初診時より午後の特殊再来で時間を設け、熟練した視能訓練士とともに診察にあたっています。

## 3. 今後の課題と目標

眼科は糖尿病や高血圧、リウマチなど全身疾患との関連が多く、また高齢の方の受診も多いですので、内科をはじめ他科との連携を密にとって診療にあたります。

白内障や眼瞼などの手術は入院、日帰りのどちらでも対応しております。全身状態により入院をお勧めする場合もあります。

周辺地域の眼科クリニックと連携し、診察、治療、手術がスムーズに行えるようにしたいと思っています。

## 4. 業務実績

### ■ 入院患者統計

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	54	49	62	58	42	36	46	44	34	35	52	60	572	47.7

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	1.8	1.6	2.1	1.9	1.4	1.2	1.5	1.5	1.1	1.1	1.9	1.9		1.6

#### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	0.0	1.0	1.0	1.3	1.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9		1.1

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

### ■ 外来部門（他科診患者除く）

#### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	1,482	1,336	1,541	1,463	1,405	1,494	1,551	1,396	1,440	1,394	1,396	1,591	17,489	1,457.4
（眼科入院中外来）	9	9	4	5	13	6	4	6	14	11	9	6	96	8.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

#### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	74.1	70.3	70.0	72.7	63.9	74.7	77.6	69.8	72.0	73.4	73.5	72.3		72.0

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

#### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

#### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	71	78	98	83	70	79	100	77	57	67	79	86	945	78.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
眼科	1,491	1,345	1,545	1,468	1,418	1,500	1,555	1,402	1,454	1,405	1,405	1,597	17,585	1,465.4
（眼科入院中外来）	9	9	4	5	13	6	4	6	14	11	9	6	96	8.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
眼科	74.6	70.8	70.2	73.4	64.5	75.0	77.8	70.1	72.7	73.9	73.9	72.6		72.4

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
眼科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
眼科	71	78	99	83	71	79	101	77	57	67	79	86	948	79.0

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## ■ 紹介患者数

### 紹介患者数

年度	R04												合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
眼科	28	33	49	36	11	38	50	43	26	32	39	40	425	35

## ■ 手術部門

### 手術件数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
眼科	79	66	83	79	65	79	83	74	62	69	82	92	913	76.1

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
翼状片手術 (弁の移植を要するもの)	2	2	2		1				1		1	1	10	1.4
(入院)		2	2		1				1		1	1	8	1.3
(外来)	2												2	2.0
虹彩光凝固術	1		3		3		5	1	4			2	19	2.7
(入院)														
(外来)	1		3		3		5	1	4			2	19	2.7
網膜光凝固術 (通常のもの(一連につき))	4	2		2	1	2	5	7	3		2	3	31	3.1
(入院)	1					1							2	1.0
(外来)	3	2		2	1	1	5	7	3		2	3	29	2.9
後発白内障手術	17	12	21	12	12	23	35	13	19	20	21	21	226	18.8
(入院)														
(外来)	17	12	21	12	12	23	35	13	19	20	21	21	226	18.8
結膜結石除去術 (多数のもの(1眼瞼ごと))	1												1	1.0
(入院)														
(外来)	1												1	1.0
角膜・強膜異物除去術	1	1		1	1			1	2	2			9	1.3
(入院)														
(外来)	1	1		1	1			1	2	2			9	1.3
水晶体再建術 (眼内レンズを挿入する場合) (その他のもの)	70	60	76	67	58	68	65	65	45	56	70	76	776	64.7
(入院)	54	47	61	58	41	36	46	44	31	35	51	59	563	46.9
(外来)	16	13	15	9	17	32	19	21	14	21	19	17	213	17.8
結膜結石除去術 (少数のもの(1眼瞼ごと))		1											1	1.0
(入院)														
(外来)		1											1	1.0
水晶体再建術 (眼内レンズを挿入しない場合)		1											1	1.0
(入院)		1											1	1.0
(外来)														
マイボーム腺梗塞摘出術			1										1	1.0
(入院)														
(外来)			1										1	1.0
網膜光凝固術 (その他特殊なもの (一連につき))			1	2	1	4	4	1		3	3		19	2.4
(入院)														
(外来)			1	2	1	4	4	1		3	3		19	2.4
眼瞼結膜腫瘍手術						1							1	1.0
(入院)														
(外来)						1							1	1.0
眼瞼下垂症手術 (その他のもの)									2				2	2.0
(入院)									2				2	2.0
(外来)														
霰粒腫摘出術										1			1	1.0
(入院)														
(外来)										1			1	1.0

# 耳鼻咽喉科



**概要** 診療科人員：非常勤医師14名

## 1. 診療体制

耳鼻いんこう科は非常勤医師14名（ローテーションで勤務）の体制で診療をおこなっています。産業医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室より耳鼻いんこう科の医師を派遣していただいています。

現在は常勤医師不在のため、外来診療のみの体制となっています。外来は毎週火曜、木曜、金曜の午前午後に行っています。

## 2. 診療科の特色

耳鼻いんこう科領域においては、眼窩内・歯およびその周囲・（皮膚）を除く顔面、頸椎周囲を除く頸部の疾患の対応を行なっています。耳鼻咽喉科の領域には顔面麻痺、顔面痛、耳性めまい、顔面・頸部の腫瘍、舌の異常も含まれます。外来診療の他、院内コンサルの対応も派遣医師に対応いただいています。手術が必要な場合には高次の医療機関へ紹介を行っています。

## 3. 今後の課題と目標

常勤医師が不足していることから、耳鼻いんこう科常勤医師の確保を目指しています。

## 4. 業務実績

### ■ 入院患者統計

#### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

## 科別 1 日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

## 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

## ■ 外来部門（他科診患者除く）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	155	166	170	210	194	239	202	224	206	194	227	272	2,459	204.9
(耳鼻咽喉科入院中外来)	4	4	0	3	5	3	2	7	4	12	6	6	56	4.7

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を **除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別 1 日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
眼科	74.1	70.3	70.0	72.7	63.9	74.7	77.6	69.8	72.0	73.4	73.5	72.3		72.0

※外来患者数に入院中他科診患者数は **含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	12	10	13	13	12	13	12	11	12	12	11	13	144	12.0

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	19	32	37	51	46	43	41	52	44	40	57	63	525	43.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は **含まれていません**。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	159	170	170	213	199	242	204	231	210	206	233	278	2,515	209.6
(耳鼻咽喉科入院中外来)	4	4	0	3	5	3	2	7	4	12	6	6	56	4.7

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が **含まれています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別 1 日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	13.3	17.0	13.1	16.4	16.6	18.6	17.0	21.0	17.5	17.2	21.2	21.4		17.5

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	12	10	13	13	12	13	12	11	12	12	11	13	144	12.0

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	19	32	37	51	46	44	41	52	44	40	58	63	527	43.9

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## 紹介患者数

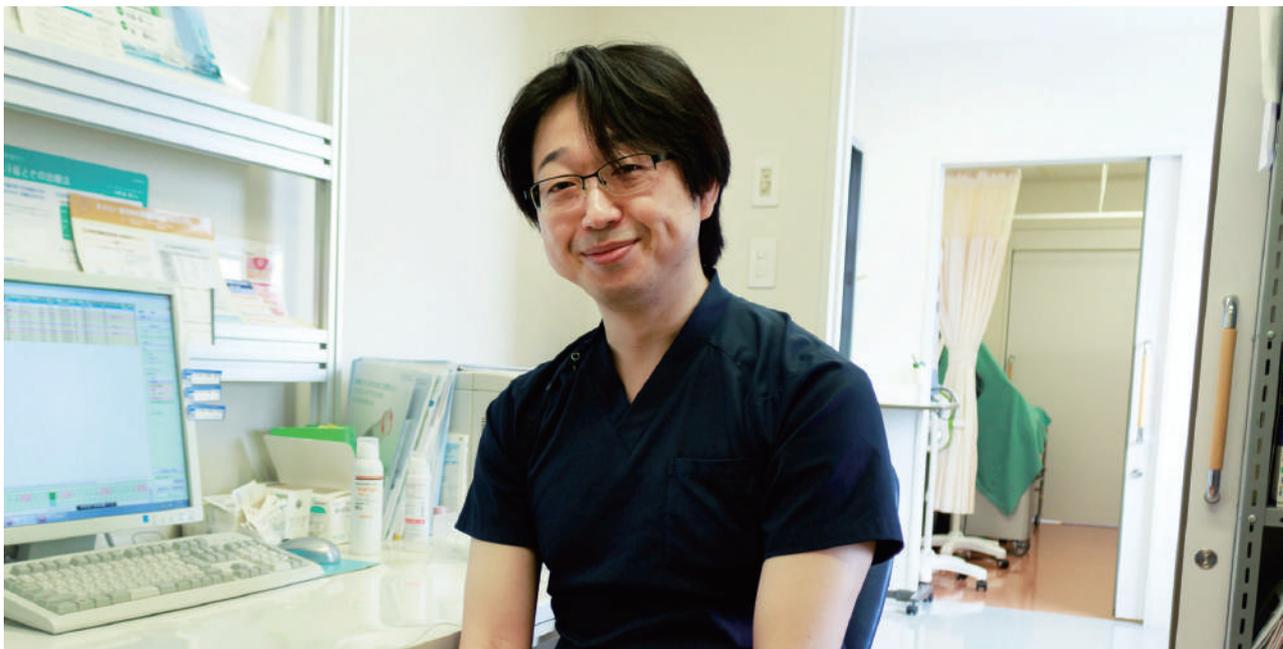
### 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
耳鼻咽喉科	6	2	3	4		7	5	2	4	2	6	9	50	4

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
鼓膜切開術	1		1	1		1			1		1		6	1.0
(入院)														
(外来)	1		1	1		1			1		1		6	1.0
外耳道異物除去術 (単純なもの)		1											1	2 1.0
(入院)														
(外来)		1											1	2 1.0
鼻腔粘膜焼灼術					1	1			1				3	1.0
(入院)														
(外来)					1	1			1				3	1.0
鼓膜(排液・換気) チューブ挿入術						1		1	1		1		4	1.0
(入院)														
(外来)						1		1	1		1		4	1.0

# 皮膚科



## 概要

診療科人員  
部長：江崎 仁一  
常勤医師：2名

## 1. 診療体制

皮膚科常勤医2名（内皮膚科専門医1名、アレルギー専門医1名）で診療に当たっている。

受付時間は月曜から金曜の午前11:00（初診は10:30）までであり、午後は完全予約制で手術（水曜・金曜）や美容外来（月曜・火曜・木曜）を行っている。

午前の外来は予約制ではなく、皮膚科の窓口へ来院された順番での診察となる。

手術希望の患者は、午前中の外来受診時に予約日時を決定する。ただし、サイズや整容面などから当院での手術が困難と予想される症例については、基幹病院への紹介を行う。美容外来の受診希望の患者は電話での予約となる。詳細についてはホームページを参照されたい。

## 2. 診療科の特色

診療の対象となる疾患は皮膚の病気全般であり、それぞれの疾患に対して正確な診断に基づく治療を行うことができるよう努めている。また、患者への病気や治療についての説明は可能な限りわかりやすい平易な言葉を用いて、それぞれの疾患ガイドラインなどに基づいた最新の情報や治療を提供できるように、かつお互いが同じゴールを目指した上で診療ができるよう心がけている。

また、当科は日本皮膚科学会認定の専門医研修関連施設であることに加え、日本アレルギー学会認定専門医が常勤しており、エビデンスに基づいた適切なアレルギー診療（薬疹の血液アレルギー検査（DLST）、金属アレルギーや接触皮膚炎の原因検索としてのパッチテストなど）を提供できると考えている。

近年、複数の分子標的治療薬が皮膚疾患に対して上市されており、これまで難治であった疾患の治療が可能となってきている。抗体製剤として、アトピー性皮膚炎に対するIL-4阻害薬や乾癬に対するTNF/IL-17A/IL-23p19阻害薬、慢性蕁麻疹に対するIgE阻害薬、また低分子阻害剤としてJAK阻害薬やTyk2阻害薬、PDE4阻害薬などが挙げられる。これらの分子標的治療薬の多数は日本皮膚科学会が認定する分子標的薬承認施設でのみ導入することが可能であり、当科でも多くの症例に導入し良好な結果を得ている。

### 3. 今後の課題と目標

当院が地域医療支援病院として2023年4月に認定されたため、これまで以上により多くの紹介患者を受け入れ、またそれに伴うかかりつけ医への逆紹介の推進が課題であると考えている。

その中で、人的・物的資源の問題から当院では治療が困難な症例を受け入れていただいている基幹病院、ならびに当院で急性期治療が終わった患者を受け入れていただいている地域の病院との連携を密にする必要がある。

さらに、皮膚疾患の特質上、現在は予約制を敷いておらず、予約の有無に関わらず時間内に来院された患者すべてを診察する体制で地域医療に貢献しているが、地域医療支援病院としての機能を存分に発揮するため予約制に移行することを含め検討が必要であると思われる。

### 4. 業務実績

#### ■ 入院患者統計

##### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	4	1	8	0	1	22	9	0	0	0	2	0	47	3.9

##### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		0.1

##### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	1.0	1.0	8.0	0.0	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0		3.5

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

#### ■ 外来部門（他科診患者除く）

##### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	685	657	699	690	760	743	684	721	669	674	707	806	8,495	707.9
（皮膚科入院中外来）	17	17	23	22	29	34	19	26	23	23	19	16	268	22.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

##### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	34.2	34.6	31.8	34.3	34.5	37.2	34.2	36.1	33.5	35.5	37.2	36.6		35.0

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	113	123	114	136	176	120	109	103	99	91	105	128	1,417	118.1

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	702	674	722	712	789	777	703	747	692	697	726	822	8,763	730.3
(皮膚科入院中外来)	17	17	23	22	29	34	19	26	23	23	19	16	268	22.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	35.1	35.5	32.8	35.6	35.9	38.9	35.2	37.4	34.6	36.7	38.2	37.4		36.1

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	113	124	115	136	177	121	110	104	99	92	106	128	1,425	118.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## ■ 紹介患者数

## 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	12	10	23	13	9	28	27	14	17	15	16	18	202	17

■ 手術部門

■ 手術件数

年度 R04

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
皮膚科	1	2					1				1	1	6	0.5

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
皮膚切開術(直径10cm未満)	2	3	1	1	4	2	2	1	1	1	1	4	23	1.9
(入院)														
(外来)	2	3	1	1	4	2	2	1	1	1	1	4	23	1.9
皮下・皮下腫瘍摘出術 (露出部)(直径2cm未満)	3	3	5	6	5	6	6	4	7	4	6	6	61	5.1
(入院)							1				1		2	1.0
(外来)	3	3	5	6	5	6	5	4	7	4	5	6	59	4.9
皮下・皮下腫瘍摘出術 (露出部) (直径2cm以上4cm未満)	1	2		1		1	1	1			1		8	1.1
(入院)							1						1	1.0
(外来)	1	2		1		1	1	1			1		7	1.2
皮下・皮下腫瘍摘出術 (露出部以外)(直径3cm未満)	3	1	4	1	5	5	2	9	3	2	6	2	43	3.6
(入院)														
(外来)	3	1	4	1	5	5	2	9	3	2	6	2	43	3.6
皮膚悪性腫瘍切除術 (単純切除)	1	1				1	1			1	1		6	1.0
(入院)	1										1		2	1.0
(外来)		1				1	1			1			4	1.0
爪甲除去術	2	1	1	1				1					6	1.2
(入院)														
(外来)	2	1	1	1				1					6	1.2
皮下・皮下腫瘍摘出術 (露出部以外) (直径3cm以上6cm未満)			1	2	1		2					1	7	1.4
(入院)			1				1						2	1.0
(外来)				2	1		1					1	5	1.3
皮弁作成術・移動術・ 切断術・遷延皮弁術 (25cm <sup>2</sup> 未満)								1					1	1.0
(入院)														
(外来)							1						1	1.0

# リハビリテーション科



## 概要

診療科人員  
常勤：2名

## 1. 診療体制

当科のリハビリテーション診療は、入院、外来を医師2名、PT、OT、STなどのリハスタッフ約50名の体制で行っています。急性期に搬送されてくる患者様や、手術などの予定入院患者様の多くがリハビリテーション治療の対象になります。急性期治療が終えたのち、当院が有する回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟に移動していただき、患者様のよりよい退院後の生活を目指して、リハビリテーション治療を継続する場合も少なくありません。リハビリテーションを行っている患者様の一人一人に対して、医師、病棟スタッフ、リハスタッフ等多職種によるカンファレンスを定期的で開催し、退院後のADLや生活環境の整備、サービス利用などに関して協議し、患者様のよりよい退院に向けての手厚い準備を、入院早期から開始できるように心がけています。

## 2. 診療科の特色

当院は、近年特に急性期治療に力を入れており、リハビリテーションも急性期治療に対応できるよう努めています。多くの救急患者の場合、入院当日にリハ診察を行ってリハビリテーションの方針を決定、可能な限り入院当日からリハビリテーション治療を開始しています。新型コロナ感染で患者様を病棟隔離した場合でも、リハ介入にあたって2次感染の可能性が低下したと判断されるぎりぎりの早期から隔離病棟内でのリハ介入を開始しています。入院リハビリテーションが長期化しそうな整形外科術後の患者様に対して、他院に転院することなく、当院の回復期リハビリテーション病棟に移動していただき、安心して退院できるまでリハビリテーションを継続できることも当院の入院体制のメリットといえます。事情によって早めに退院する患者様に対しては、外来通院でリハビリテーションを継続することも可能です。当院に入院した脳血管障害患者様の多くは、急性期の治療後、回復期リハビリテーション病棟へ移動していただき、当院常勤の脳神経内科専門医やリハ専門医の関与のもと、365日間無休の充実したリハビリテーション治療を提供しています。当院回復期リハ病棟は、他院で急性期治療が行われた脳血管障害の患者様の受け入れも行っています。

### 3. 今後の課題と目標

地域の皆様への貢献として、限られた時間枠ではありますが、リハ専門医としてリハビリテーション外来で診察を行っています。例えば、患者様の歩行やADL、言語や高次脳機能に生じた諸問題に対する診察やアドバイス、身体障害者手帳意見書等の専門的書類の作成、脳卒中患者様の補装具の検討や作製など、リハビリテーション領域での専門的な知識が必要な問題などに対処できるよう、努めていきたいと考えています。

### 4. 業務実績

#### ■ 入院患者統計

##### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	50	62	52	28	16	31	62	60	53	31	7	0	452	37.7

##### 科別 1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	1.7	2.0	1.7	0.9	0.5	1.0	2.0	2.0	1.2	1.0	0.3	0.0		1.2

##### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

#### ■ 外来部門（他科診患者除く）

##### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	356	359	379	378	380	345	384	218	261	313	337	389	4,099	341.6
(リハビリ科入院中外来)	1,861	1,998	1,991	1,828	1,827	1,944	1,643	1,361	2,221	2,102	1,641	1,931	22,348	1,862.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

##### 科別 1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	17.8	18.9	17.2	18.7	17.3	17.3	19.2	10.9	13.1	16.5	17.7	17.7		16.8

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

##### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科		1	2		2	4	1	1	1	2		1	15	1.7

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	2,217	2,357	2,370	2,206	2,207	2,289	2,027	1,579	2,482	2,415	1,978	2,320	26,447	2,203.9
(リハビリ科入院中外来)	1,861	1,998	1,991	1,828	1,827	1,944	1,643	1,361	2,221	2,102	1,641	1,931	22,348	1,862.3

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	110.9	124.1	107.7	110.3	100.3	114.5	101.4	79.0	124.1	127.1	104.1	105.5		108.8

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科	73	86	71	70	46	80	60	72	84	73	77	77	869	72.4

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## ■ 紹介患者数

## 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
リハビリ科		2	1	1	2	5	3		3	1		3	21	2

# 放射線科



## 概要

診療科人員

常勤：1名 非常勤：1名

## 診療体制

放射線科は常勤医1名、非常勤医1名の体制で、臨床放射線技師や臨床各科の協力を得ながら、各種画像診断に従事している。CT、MRI検査の読影を主な業務としているが、ほかに上部・下部消化管造影検査、核医学検査、血管造影検査などを行っている。CT、MRI、核医学、骨塩定量などの検査については、院外からの依頼に対応しており、画像データに読影結果を添付して返している。当日の緊急検査にも極力対応しており、速やかに読影した上で、なるべく早く結果を返すように努めている。

## 特色

当院の放射線室は80列MDCT、1.5テスラMRI、フルデジタルのX線撮影装置、X線テレビ、血管撮影装置、トモシンセシス機能搭載のマンモグラフィ撮影装置、骨塩定量装置、ガンマカメラなどの充実した機器を備えている。これらで得られた画像データはPACSで一元管理されており、読影端末や電子カルテで参照することができる。CT、MRI、核医学検査については、全例、放射線診断専門医が読影を行い、報告書を作成している。放射線室の処理能力には比較的余裕があり、予約外の緊急検査にも対応できている。画像診断に関して必要な検査をすぐに行うことができる体制は当院の強みとなっており、放射線科医としても、その強みを一層活かせるように、確実な読影を目指している。

## 課題と目標

月曜日の午前以外、一週間の大部分は常勤医1名で読影業務を行っているが、機器の進歩により発生する画像データの量が年々増加しており、読影が追い付かない時間帯が増えている。病院として救急医療の充実が図られる中、今後さらに検査件数や1件あたりのデータ量が増えることが予想され、将来的には常勤医の増員が必要と思われる。当面は、非常勤医の派遣元である大学との協力を得ながら、可能な範囲で体制の充実を図っていきたい。

## 業務実績

## ■ 入院患者統計

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

## 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

## ■ 外来部門（他科診患者除く）

## 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	67	65	65	56	61	75	75	63	64	54	72	66	783	65.3
（内科入院中外来）	27	29	19	16	26	30	27	19	22	16	183	161	575	47.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を**除いています**。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	3.4	3.4	3.0	2.7	2.8	3.8	3.8	3.2	3.2	2.8	3.8	3.0		3.2

※外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれない**。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
放射線科	65	56	57	44	59	70	71	62	59	49	64	61	717	59.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は**含まれていません**。

## ■ 外来部門（他科診患者を含む）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
放射線科	67	65	65	56	61	75	75	63	65	54	72	66	784	65.3
(放射線科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
放射線科	3.4	3.4	3.0	2.8	2.8	3.8	3.8	3.2	3.3	2.8	3.8	3.0		3.2

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
放射線科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
放射線科	65	56	57	44	59	70	71	62	59	49	64	61	717	59.8

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## ■ 紹介患者数

### 紹介患者数

年度	R04												合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
放射線科	69	66	67	56	32	75	75	63	64	55	72	67	761	63

# 救急科



## 概要

救急部：部長 中村 篤雄  
常勤：1名 非常勤：1名

## 部門目標

2022年4月に救急部が新設され、同年8月より救急科を標榜科として設立しました。筑豊地域の救急を支える急性期病院としての自覚を持ち、近隣の医療機関や地域住民の皆さまに信頼される救急医療を提供することを目標としています。救急医療体制は、救急科専門医・救急科指導医1名と久留米大学医学部救急医学講座から3名の救急医の応援があり、専従看護師、病院救命士、専属医療クラークを加えた救急部として運営しています。

救急部は、救急搬送患者に対する初期診療のみならず、入院患者さんに対する治療も行っており、1次・2次救急医療を中心に、様々な救急疾患に対応しています。今後も、筑豊地域の救急医療の充実に貢献できるよう努めて参ります。

## 業務報告

### <救急外来診療>

①救急科専門医が常駐	②専門診療科と連携 迅速な入院バックアップ体制	③若手医師・救急医 の直接指導
④救急科専門医研修 連携施設	⑤<病院敷地内ヘリポート> ドクターヘリ基幹病院と連携	⑥筑豊地域消防 救急救命士再教育施設

- ①救急部では、平日日勤帯は救急科専門医が常駐して救急搬送患者の診療を担当します。
- ②各診療科と連携して診断から入院まで迅速に対応しています。
- ③救急搬送患者や入院患者の診療の指導、サポートを行っています。
- ④当院は救急科専門医研修プログラムにおける連携施設として専攻医の教育・指導を行っています。

- ⑤敷地内ヘリポートを利用して迅速な治療を要する重篤患者のドクターヘリによる搬送を行います。
- ⑥筑豊地域の各消防本部から生涯教育として救急救命士の再教育病院実習を受け入れています。

<入院治療>

最重症患者は3次救急医療機関へお願いすることになりますが、人工呼吸器管理や各種ショック管理を積極的に行っています。

<教育・研修活動>

①院内BLS講習会	②AED操作講習会	③院内急変対応シミュレーション
④近隣病院との合同研修会（年2回）		

- ・救急部を中心として院内BLS講習会、AED操作研修会、院内急変対応シミュレーションを企画し開催しています。
- ・病院救急救命士が病院内でより重要な役割を果たすべく、近隣病院と連携して合同研修会を開催しています。

<病院救命士>

①救急救命処置	②ホットライン応需	③職員教育
---------	-----------	-------

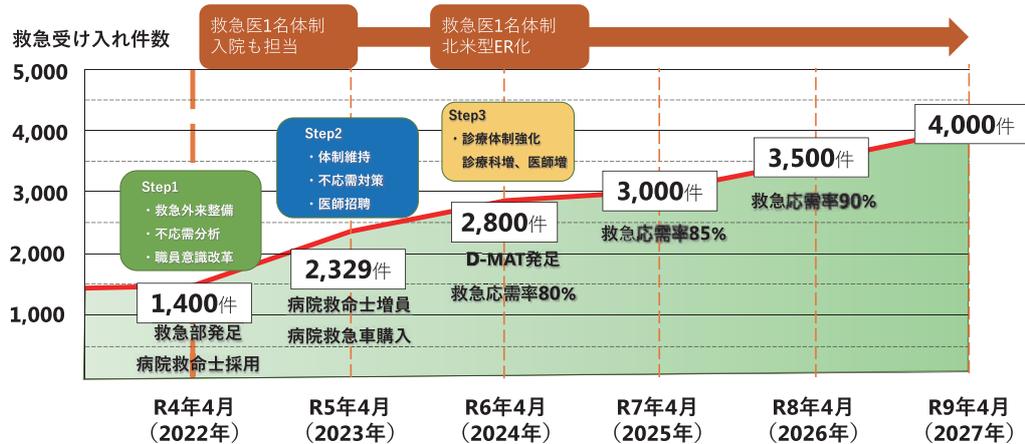
- ・当院は、病院救急救命士が救急部で重要な役割を担っています。救急救命処置のうち、包括的指示で行う処置のほか、具体的指示で行う処置（心停止前の静脈路確保と輸液、低血糖患者へのブドウ糖溶液の経静脈投与、心肺停止の傷病者に対するアドレナリン投与など）を積極的に行っています。
- ・ホットライン応需、院内BLS講習会やAED操作講習会を開催して職員教育にも努めています。

今後の課題と目標

<救急外来診療>

2022年度の救急車受入件数（応需）は2329件と過去3年間の平均1474件と比較して、855件の増加（1.6倍）となりました。一方で救急車搬送のお断り（不応需）は1181件あり、救急隊の搬送依頼に対する受け入れの割合（応需率）は66%でした。平日日勤帯の応需率は95%ですが、休日の応需率が52%と低いことを今後改善していく必要があります。2023年度の救急車応需率は80%を目標としています。

## 飯塚市立病院 救急医療強化 5か年計画



## &lt;救急部スタッフ&gt;

## ・救急部看護師

2022年4月救急部発足時より、救急部専従看護師1名、専任2名、ほか外来応援体制にて救急対応を行っています。複数の救急車が同時に搬送されてくるケースも珍しくなく、しばしば一般外来看護師の応援を要請して救急対応を行っています。今後、さらに救急車搬入の増加が予想され、体制強化として救急部師長、主任看護師の配置や、専従看護師の増員を検討していきます。救急部では、救急認定看護師の育成や看護師主導での定期勉強会を行い、救急に関する知識のアップデートやスキルアップに繋げていくことを目標としています。

## ・救急部病院救急救命士

2022年1名体制でしたが、2023年5月から2名体制へ増員となりました。2023年度から、病院救急車を利用した施設間搬送（当院から他院、高齢者施設から当院）を開始する予定です。病院救急救命士が在籍する地域の病院と年度内に2回の勉強会を行っています。飯塚地区や筑豊地域での病院救急救命士のネットワーク設立を目指しています。

## &lt;入院治療&gt;

設備について：当院では、高流量鼻カニューラ酸素療法や気管挿管下人工呼吸器管理に対応が可能です。敗血症や急性腎障害に対する急性期の腎代替療法（急性血液浄化療法）を行うための透析装置に加え、個人用透析装置（TR-3300S）を用いて乏尿や無尿、尿毒症といった高度の腎不全に対応可能な設備を備えています。

体制について：当院にHCU（ハイケアユニット）は設置がなく、集中治療専門医は救急外来での診療を兼ねています。今後、業務範囲を拡大していく予定ですが、現状は1次・2次救急医療に重点を置いた地域医療への貢献を最重要課題として取り組んでいます。

<プレホスピタルケア>ヘリポート

①病院救急車の活用	②DMAT	③筑豊地域メディカルコントロール協議会 委員
④<病院敷地内ヘリポート>ドクターヘリ基幹病院と連携		

- ①2023年度は、病院救急車を活用した病院間搬送（当院から他医療機関）やお迎え搬送（高齢者施設や病院から当院）を病院救急救命士が中心となった医療搬送チームで行う予定です。
- ②当院は2023年度に災害派遣医療チーム（DMAT）が組織されました。D-MATして医療機関になることを期待しています。
- ③筑豊地域メディカルコントロール協議会の委員として、副院長の大堂雅晴、救急部の中村篤雄が所属しています。筑豊地域の救急医療の発展に寄与すべく、近隣医療機関や消防など行政機関と連携を強化していきます。
- ④2023年8月より、病院敷地内ヘリポートの運用を開始しました。消防機関の協力を得ながら福岡県ドクターヘリの基地病院である久留米大学病院高度救命救急センターと診療連携を行っていきます。災害時や、近年増加傾向にある飯塚地域の医療機関でやむを得ず治療を完結できない重篤な傷病者に対して、当院救急医とドクターヘリスタッフが連携して診療にあたります。

業務実績

救急患者取扱状況

年度	R04													合計	月平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	
救急車搬入件数	174	165	167	210	242	214	186	194	246	196	156	179	2,329	194.1	
（一日平均）	5.8	5.3	5.6	6.8	7.8	7.1	6.0	6.5	7.9	6.3	5.6	5.8	—	6.4	
時間外等自主来院患者数	60	112	70	104	123	105	79	57	88	107	106	83	1,094	91.2	
（一日平均）	2.0	3.6	2.3	3.4	4.0	3.5	2.5	1.9	2.8	3.5	3.8	2.7	—	3.0	
救急車からの入院患者数	79	74	74	103	112	92	97	74	108	86	64	86	1,049	87.4	
（一日平均）	2.6	2.4	2.5	3.3	3.6	3.1	3.1	2.5	3.5	2.8	2.3	2.8	—	0.5	
時間外等自主来院からの入院患者数	12	17	10	8	17	16	13	11	14	10	9	5	142	12	
（一日平均）	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	

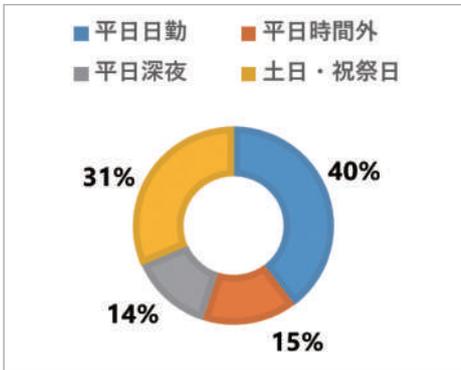
※時間外等自主来院患者とは、救急車搬入を除く時間外・休日来院者。

※救急車からの入院患者とは、時間内、時間外等を問わず救急車搬入からの入院患者数。

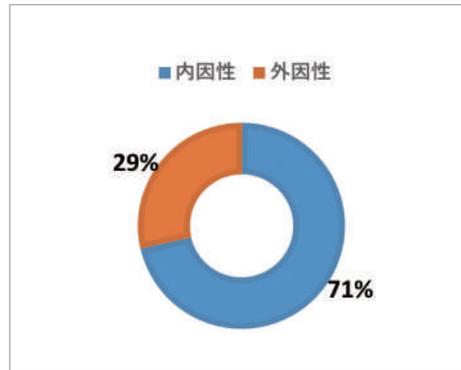
※時間外等自主来院からの入院患者とは、時間外等に自主来院後入院した数。

## < 当院への救急車搬送の詳細 >

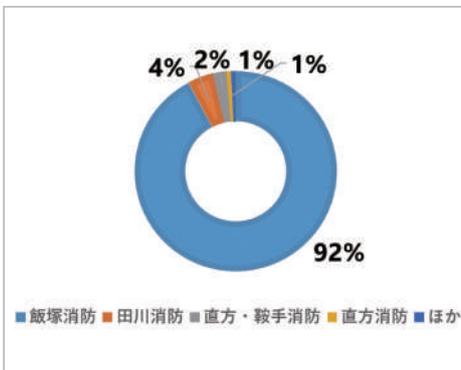
### 「搬送時間帯」



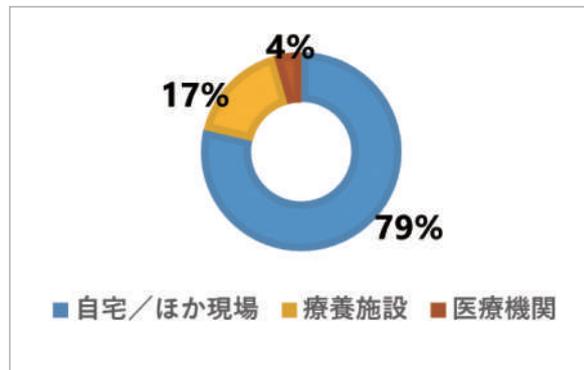
### 「疾患分類」



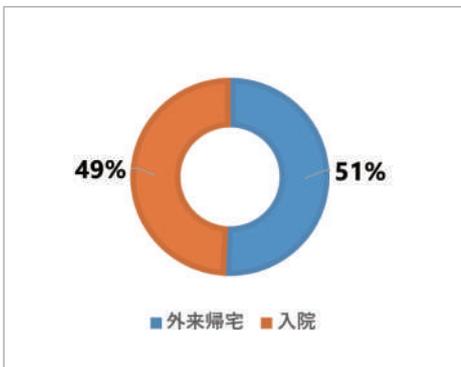
### 「搬送消防」



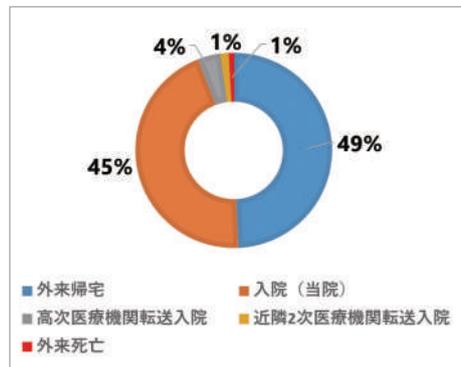
### 「搬送元」



### 「受診後属性①」



### 「受診後属性②」



< 当院へ救急搬送となった疾患の内訳 >

疾患内訳

疾患内訳	症例数	疾患内訳	症例数
敗血症・敗血症性ショック（消化器、泌尿器、呼吸器など）	26	ほか	
出血性ショック	5	末梢性めまい	123
急性腎障害（KDIGO Stage3）	14	失神	124
来院時心肺停止	17	脊椎変性疾患	42
脳卒中		熱中症	34
脳梗塞	40	低栄養・老衰	27
脳出血	15	脱水症	26
くも膜下出血	5	癌終末期	24
外傷		過換気症候群	17
四肢骨折・脱臼	175	胸痛症候群	16
四肢・体幹打撲	131	けいれん	15
頭部打撲・切創	56	動悸	13
脊椎圧迫骨折	49	蜂窩織炎	13
顔面打撲・切創	32	片頭痛	12
肋骨骨折	26	病性ケトアシドーシス/高血糖高浸透圧症候群	11
四肢手指切創	23	偽痛風	11
重症頭部外傷	14	低血糖発作	8
骨盤骨折	9	鼻出血	8
慢性硬膜下血腫	8	高血圧緊急症	6
外傷性頸部症候群	7	褥瘡	6
鎖骨骨折	7	窒息	6
挫滅症候群	6	蕁麻疹	5
頸椎骨折	4	アナフィラキシーショック	4
多発外傷	3	アレルギー	4
眼窩底骨折	3	月経痛	4
四肢筋・腱損傷	3	コロナワクチン副反応	3
脊髄振盪	3	多発関節炎	2
顔面骨骨折	2	性感染症	2
眼球損傷	2	壊死性筋膜炎	1
頸髄損傷	2	アルコール性ケトアシドーシス	1
四肢開放骨折	2	上腸間膜動脈塞栓症	1
気管損傷	1	四肢動脈閉塞	1
胸骨骨折	1	急性骨髄炎	1
緊張性気胸	1	急性骨髄性白血病	1
腹部刺創	1	感染性心内膜炎	1
肛門内異物（花瓶）	1	肺動脈血拴塞栓症	1
マムシ咬傷	1	その他	78
尿道損傷	1	<b>泌尿器系</b>	
溺水	1	尿路感染症	81
熱傷	5	尿管結石	39
<b>呼吸器系</b>		尿閉	11
呼吸器感染症	201	<b>中毒</b>	
COVID-19	178	アルコール	15
気管支喘息	8	医薬品	10
COPD急性増悪	6	洗剤	1
自然気胸	3	有機リン	1
インフルエンザウイルス感染症	5	水中毒	2
<b>循環器系</b>		<b>精神科疾患</b>	17
うっ血性心不全	67		
急性冠症候群	14		
不整脈	10		
急性大動脈解離	2		

消化器系	
消化管出血	13
消化管穿孔・絞扼性腸閉塞	11
非代償性肝硬変	19
肝膿瘍	2
ほか、消化器疾患	259

### <入院治療>

高流量鼻カニューラ酸素療法：25例

気管挿管下人工呼吸器管理：12例

急性血液浄化療法：4例

## 入院患者統計

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
救急科	0	0	0	0	202	333	370	230	72	104	99	170	1,580	131.7

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
救急科	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	11.1	11.9	7.7	2.3	3.4	3.5	5.5		4.3

### 科別平均在院日数（単月）（一般病棟）

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
救急科					9.6	11.0	16.6	22.2	17.3	7.1	9.0	14.2		12.5

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

## 外来部門（他科診患者除く）

### 科別患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
救急科	0	0	0	0	86	66	39	49	60	33	39	43	415	34.6
（救急科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別1日平均患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
救急科					3.9	3.3	2.0	2.5	3.0	1.7	2.1	2.0		2.6

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
診療科														
救急科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
診療科														
救急科					77	50	35	41	44	28	31	36	342	

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## 外来部門（他科診患者を含む）

### 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
診療科														
救急科	0	0	0	0	86	66	39	49	60	33	39	43	415	34.6
(救急科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

### 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
診療科														
救急科	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	3.3	2.0	2.5	3.0	1.7	2.1	2.0		1.7

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

### 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
診療科														
救急科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

### 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
診療科														
救急科					77	50	35	41	44	28	31	36	342	

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## 紹介患者数

### 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
救急科					19	18	21	11	12	13	7	9	110	9

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
肩関節脱臼非観血的整復術 (肩)					1								1	1.0
(入院)														
(外来)					1								1	1.0
小腸結腸内視鏡的止血術								1					1	1.0
(入院)								1					1	1.0
(外来)														
骨折非観血的整復術(前腕)										1			1	1.0
(入院)														
(外来)										1			1	1.0

## 論文・学会発表・講演等

### 論文

Rina Tokuda, Kensuke Nakamura, Yudai Takatani, Chie Tanaka, Yutaka Kondo, Hiroyuki Ohbe, Hiroshi Kamijo, Kosuke Otake, **Atsuo Nakamura**, Hiroyasu Ishikura, Yu Kawazoe, **J-Stat Japan Sepsis Treatment And Diagnosis Study Group**. Sepsis-Associated Delirium : A Narrative Review. J Clin Med. 2023 Feb 6 ; 12 (4) : 1273.

### 学会発表

- 2023年 5月13日 第27回 救急医学会九州地方会 一般演題  
飯塚地区における高齢者施設からの救急搬送の現状と課題
- 2023年 7月28日 第26回 日本臨床救急医学会総会 一般演題

# 麻酔科



## 概要

診療科人員

常勤医師：1名、非常勤医師：6名

## 1. 診療体制

麻酔科は、常勤医師1名（日本専門医機構認定麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定医、日本ペインクリニック学会専門医）、非常勤医師6名が在籍し、1日当たり1～3名の麻酔科医で手術麻酔業務に従事している。

術前診察は、医師が直接患者病室あるいは外来に出向いて行い、超重症症例と診断した場合には、近隣病院での麻酔、手術を依頼することも稀にある。

過去、常勤医師非在籍時には、いわゆる並列麻酔が常態化していた時があったが、現在並列麻酔は禁止とし、患者安全を最優先に業務にあたっている。

特別な場合を除き、常勤医師1名が24時間オンコール体制で緊急手術に備えている。

## 2. 診療科の特色

当院は旧筑豊労災病院を前身としており、整形外科および外科症例に主に対応している。

従来ならば、全身麻酔単独、あるいは同麻酔に硬膜外、または脊髄くも膜下麻酔を併用して麻酔管理を行っていたが、治療手段として一般化している超音波ガイド下神経ブロックを当院でも麻酔管理に新たに加え、適応症例には積極的に同ブロックを行っている。

特に上肢手術においては、神経ブロック併用により全身麻酔単独での麻酔管理はほぼ皆無になっており、麻酔内容が大きく変化した。また術後、可及的速やかに抗血栓療法を開始しなくてはならない症例においても、神経ブロック療法を積極的に行って術後痛を極力軽減させることを心掛けており、安易に全身麻酔単独での管理とならないよう尽力している。

麻酔時に使用される薬剤についても、(従前と比し)即効性が高くかつ短時間作用性のものが既に上市されており、それらの薬剤を用いることで周術期のオピオイド鎮痛薬および吸入麻酔薬使用量が減る傾向にあり、術後の意識およびADLの早期回復に、微力とは思われるが、貢献できるよう努めている。

### 3. 今後の課題と目標

当科運営に当たり、手術室スタッフ、および常勤麻酔科医の複数名の確保が喫緊の課題である。下記手術件数に対応するにはスタッフおよび常勤麻酔科医が少なく、業務が過負荷となっており、患者安全を高いレベルで維持するためには増員が早急に望まれる。

常勤麻酔科医が増えた場合には、ペインクリニック科（痛みの専門外来）の新規開設も見込め、当院立地地域の医療の現状を踏まえると、入院施設を備えた同科診療の需要は、そう低くはないと想像される。

### 4. 業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	全手術症例	184	166	183	145	156	187	186	159	156	162	190	201	2075
	麻酔科管理	92	85	93	53	80	95	88	73	78	79	88	95	999
2023年度	全手術症例	187	166	183	145	156	187	186	159	156	162	190	201	2078
	麻酔科管理	90	85	93	53	80	95	88	73	78	79	88	95	997

### 5. 論文・学会発表・講演等

なし。

# 肝臓・消化器



## 概要

### 人員

病院長：大堂 雅晴

## 1. 診療体制

肝臓学会専門医、超音波専門医・指導医 1名

## 2. 診療科の特色

現在内科外来における肝臓・消化器外来は肝臓専門医1名で担当しています。診療の中心は肝炎治療ですが2021年に肝臓・消化器外来発足以来院内で肝疾患コーディネーター資格取得者が14名（看護師9名、診療情報管理室2名、薬剤師1名、管理栄養士1名、臨床検査技師1名）となり、肝炎の予防・受検・受療の推進に一役買っています。多職種の参加によりC型肝炎に対する直接作用型抗ウイルス薬の治療は患者さん拾い上げ活動を開始後2020年には治療数はゼロでしたが、2021年6名、2022年10名とわずかながら治療症例が増加しています。

また、肝炎治療の患者さんにおいて重要となる画像診断を超音波センターと連携し、超音波専門医、超音波検査士による肝臓、肝腫瘍チェックを行い綿密な経過観察を行っています。

その他に肝疾患治療に関しては経皮的・腹腔鏡による肝嚢胞治療、経皮的・腹腔鏡での肝癌のラジオ波治療を行っています。

## 3. 今後の課題と目標

内科、外科では肝機能障害のある患者さんのみならず手術前の血液検査にてB型肝炎、C型肝炎ウイルス検査を行っていますが、現在、患者さんに対する結果説明を陽性、陰性を問わず医師より患者さんへ書面で説明を行う取り組みを行っており、患者さんへ結果を周知するシステムの充実化をさらに進めていく予定です。

## 5. 論文・学会発表・講演等

### ◆講演会

演 者：大堂 雅晴

演題名：へき地病院でのマイクロエリミネーションーゼロからの取り組み

講演会：世界肝炎Day West Japan Count Down Event2022 (2022.7.20)

演 者：大堂 雅晴

演題名：C型肝炎現状と上天草市立病院でのマイクロエリミネーション

～医師主導からコーディネーター主導へ

講演会：天草地区臨床検査技師向け講演会 (2022.8.4)

演 者：大堂 雅晴

演題名：海辺の小規模病院での肝炎マイクロエリミネーション

～上天草市立病院での取り組み～

講演会：ELIMINATION LEADERS CONFERENCE in Kyusyu (2022.11.22)

演 者：大堂 雅晴

演題名：C型肝炎の最新治療と肝炎患者拾い上げの現状

講演会：社外講師勉強会





# 看護部門

# 看護部長室



※現在は写真の友倉三千代が看護部長を務めております。

## 概要

看護部：202名  
 看護部長：鍋倉多恵  
 副看護部長：麻生智恵子（医療安全管理者兼務） 松尾由美  
 師長：8名 主任：12名

看護職員数推移      平均年齢      看護師：42.6歳      看護補助者：53.5歳      令和5年3月1日現在

	看護師	准看護師	救急救命士	介護福祉士	看護助手	クラーク
令和2年度	154	1	0	6	19	14
令和3年度	158	2	0	9	14	12
令和4年度	161	0	1	13	15	12

（臨時職員を含む）（人）

## 派遣要請一覧

派遣期間	派遣人数	派遣元施設
令和3年6月1日～令和3年8月31日	看護師1人	公立久米島病院
令和3年7月1日～令和3年9月26日	看護師1人	地域医療振興協会本部
令和3年9月27日～令和3年11月30日	看護師1人	東京ベイ市川浦安医療センター
令和4年3月1日～令和5年1月31日	看護師1人	東京ベイ市川浦安医療センター
令和5年2月2日～令和5年4月28日	看護師1人	地域医療振興協会本部

## 資格取得・研修修了者数

令和5年3月現在

資格・研修	修了者数
糖尿病看護認定看護師	1
特定認定看護師（皮膚・排泄ケア）研修修了	1
感染管理認定看護師	1
がん化学療法看護認定看護師	1
特定ケア看護師研修修了	1

肝炎医療コーディネーター	2
心不全療養指導士	2
糖尿病療養指導士	2
九州ストーマリハビリ研修会	1
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター	1
周手術期管理チーム認定看護師	1
看護管理 ファーストレベル	11
看護管理 セカンドレベル	5
看護管理 サードレベル	1
	(人)

## 1. 看護部目標

多職種連携を図りながら地域のニーズに応える病院機能を果たす

キャッチコピー：信頼される看護をめざそう！

- 目標1 救急部が効果的に運用できる体制を整備する
- ・24時間体制で入院治療を必要とする重症患者の受け入れができる体制を整備する
  - ・感染予防対策を遵守して外来から入院まで適切に対応できる
  - ・重症救急患者に必要な医療が提供できるためのスキルアップに努める
  - ・地域の医療従事者と連携を促進する
- 目標2 看護実践力を高め看護の質が向上する
- ・キャリア開発支援を行う
  - ・新人看護師の育成と既卒看護師の定着を図る
  - ・部署間の連携を図りスムーズな応援体制の実践と個々の成長につなぐ
- 目標3 看護部として病院経営に参画する
- ・地域医療支援病院およびISO9001の要件を理解し承認取得に向け取り組む
  - ・急性期一般入院料1の取得、回復期リハビリテーション入院料1および地域包括ケア病棟入院料2の施設基準の維持に努める
  - ・診療報酬改定に関する知識を習得する
- 目標4 ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方を目指す
- ・自律した時間管理と正しい申請により勤怠管理の適正化を図る
  - ・タスクシフトしながら業務を調整する
  - ・メンタルサポートを実践する

## 2. 実施

### 【一年の経過】

- 4月 救急部発足 外来看護師4名増員、うち2名専従看護師を配置し救急医療の体制を整備  
新型コロナ対策は福岡県フェーズ4以上で、新型コロナ陽性者の入院を7階(内科)病棟に10床準備し病棟の夜勤を4人体制に変更
- 7月 救急外来の初療をより迅速に行うため救急救命士1名採用 (救急外来へ配置)
- 8月 5階(回復期リハビリ)病棟に看護補助者の準夜勤務体制を導入
- 9月 業務負担軽減目的で各病棟の配茶を廃止し、ウォータースタンド設置  
新型コロナレッドゾーンの清掃活動を強化するため、院内の他部署から看護補助者の応援体制を整備
- 10月 外来2交替制導入、救急外来に夜勤看護師1名配置  
夜間救急外来は管理夜勤(師長・主任)1名の2名体制

## 【目標 1】

救急体制強化のため、救急外来に専従看護師 2 名、専任 2 名の配置を計画した。10月から夜間救急外来に外来看護師 1 名を配置し、管理夜勤（師長・主任）1 名の 2 名体制にした。救急救命士も 1 名採用し、よりスムーズな受け入れになるよう業務手順を作成し運用している。既存の発熱外来に加えて救急室内に 1 床と旧棟に 2 床の発熱患者用診察室を増設し、かつ、家族待合のためプレハブを 2 基設置した。県のフェーズに応じて 7 階病棟をゾーニングし、新型コロナ陽性患者の入院が 10 名以上になると当該部署外の看護師や看護助手も応援体制を組み、入院が必要な患者を迅速かつ柔軟に受け入れる配置と調整を行った。

## 【目標 2】

今年度は特定行為研修修了者 2 名（全領域 1 名、在宅領域 1 名）を輩出することができた。新人看護師研修や外部講師による看護過程、看護研究、倫理研修などは感染面に留意しながら開催した。令和 2 年より地域医療振興協会統一のクリニカルラダーを活用して個々のラダーレベルに応じた実践を評価、認定（表 1）した。今年度より主任以上の看護職にマネジメントラダーを用いて、職位に応じた目標管理に活用している。看護学生と特定行為看護師研修生の臨地実習（表 2）を合計 52 名受け入れた。

## 【目標 3】

新型コロナ感染症の影響を受け、勤務を調整しながら患者の看護に取り組んだ。看護師の夜勤時間においては患者数が増加し、急性期一般病棟入院基本料 1 を取得した。入退院調整と地域連携室の活動強化で、回復期リハビリ病棟 1、地域包括ケア病棟 2 を維持することができた。採用活動は院外の就職説明会（表 3）に例年通り参加することができたが、院内見学会が難しく個別の対応になり 3 件にとどまった（表 4）。

## 【目標 4】

令和元年 5 月より出退勤打刻システムを導入し、打刻管理と超過勤務の適正化を目指した。超過勤務時間削減のため、業務繁忙期の勤務体制や業務内容を検討し、個々の健康管理に配慮した。特に長期休職からの復職支援やメンタルサポートが必要な職員に安心して働けるよう、心身の変調があれば所属長が面談しなるべく早い段階での介入に努めている。

クリニカルラダー認定結果（令和 4 年度／総数）

表 1

ラダーレベル	認定者数	ラダーレベル	認定者数
レベル I	4 人 / 7 人	レベル IV	5 人 / 18 人
レベル II	6 人 / 32 人	レベル V	1 人 / 14 人
レベル III	7 人 / 32 人		

看護学校の臨床実習受け入数

表 2

実習科目	教育機関	受入人数
基礎・成人（急性期・慢性期）・統合	福岡県立大学	32 人 × 約 10 日
基礎・成人・老年・統合	近畿大学付属高等学校看護専攻科	17 人 × 11 週
特定行為（慢性期・在宅領域）	福岡県立大学実践教育センター	1 ～ 3 人計 10 症例

看護大学・専門学校就職説明活動

表 3

施設	月 日	方 法
福岡県立大学	4 月	推薦枠案内 病院概要パンフレット 募集要項 奨学金制度
近大付属高校看護専攻科	4 月	推薦枠案内 病院概要パンフレット 募集要項 奨学金制度
筑豊看護学校	6 月	病院概要パンフレット 募集要項 奨学金制度
遠賀中央看護助産学校	7 月	スライドで紹介 病院概要パンフレット 募集要項 奨学金制度
博多国際展示場	7 月	スライドで紹介 病院概要パンフレット 募集要項 奨学金制度
近大付属高校看護専攻科	12 月	スライドで紹介 病院概要パンフレット 募集要項
博多国際展示場	3 月	本部 合同就職説明会 病院概要パンフレット 募集要項

## 病院説明会

## 表 4

院内見学会	3回	インターンシップ	0回
-------	----	----------	----

## 3. 評価

## 【目標 1】

今年度は感染対策の周知徹底と救急体制の整備に向けて迅速な対応が求められた。福岡県フェーズ情報や地域の感染者受け入れ状況に応じてハード面、ソフト面で多岐にわたる業務調整は容易ではなかった。週1回新型コロナに関する会議で、新型コロナ陽性患者と救急患者、紹介患者等の受け入れについて協議を重ね、タイムリーに職員の周知に努めたことで感染拡大防止になり大規模な制限をすることなく診療が行えた。

人材確保が難しい一年であったが地域看護介護部から派遣看護師の応援が得られ、限られた人員の中で夜勤帯の応援体制を組み、院内職員の理解と協力により病院の運営に貢献できた。

## 【目標 2】

新人・中途採用者の研修は感染防止対策上、規模を縮小して集合および部署内で行った。効果的なOJTにつながるよう指導者教育も行ったが定着までに至っていない。

## 【目標 3】

ISO9001認証への取り組みを通じ、職員の連帯感が強化された。安定した組織運営に必要な職員を確保するために採用活動を拡大し、地域のニーズに応えられる体制づくりに努めていく。

## 【目標 4】

職員相談窓口の利用者も増え、メンタルサポートの重要性も高まる中、個人の価値観による離職も増えつつある。引き続き、職員とコミュニケーションをとりながら働きやすい職場環境の醸成を目指していききたい。

## 4 階病棟



### 概要

4 階病棟 主な診療科：外科、乳腺外科、内科、眼科、皮膚科

看護師長：谷口智子

主任看護師：2名

看護師：21名 介護福祉士：1名 看護助手：1名 クラーク：1名 計27名

### 患者数等状況（令和5年3月現在）

平均入院患者数	117.3人/月	平均在院日数	10.1日/人
病床利用率	65.40%	看護必要度	41.8%
病床稼働率	72.5%	がん化学療法指導管理料	55件/年

### 年間手術件数

外科	乳腺外科	眼科	皮膚科
352件/年	38件/年	237件/年	4件/年

### 年間クリニカルパス活用件数

腹腔鏡下胆のう摘出術	82件	痔核根治術	13件
腹腔鏡下ヘルニア根治術	86件	48時間化学療法	123件
虫垂切除術	26件	静脈瘤手術	41件
乳房切除術	31件	腹腔鏡下大腸切除術	34件
白内障手術	227件	翼状片手術	4件

## 1. 4 階病棟 目標

- 1) 質の高い急性期看護の提供を目指した個々の計画的・行動的な活動が、チーム医療の発展に繋げることができる。
  - (1) 他部門との連携、診療報酬についての知識を深め、効率的且つ効果的な病床管理を行い、円滑な入院退院支援ができる。
  - (2) スケジュールに沿った新人教育を病棟全体で取り組む自覚を持ち、安定した看護を提供する。中途採用職員のスキルや経験に基づいた勤務計画、サポート体制の構築を図り、働きやすい職場環境をつくる。
  - (3) 正確な情報収集と判断力を発揮することで、事故発生や再発に対する適切な対応ができる。
- 2) 病院経営への参画と貢献
  - (1) 診療報酬、加算についての理解を深め、積極的に他部門との関わりをもち、指導加算の増加を図る。
  - (2) ISO9001の要件を理解し、承認取得へ向け取り組む。
- 3) 専門職としての自覚
  - (1) 個々が明確な倫理観を持ち、患者・家族の意思を尊重した看護を提供する。
  - (2) 自律した時間管理を行う。
  - (3) 個々が自己の目標設定を行い、専門分野のスキルアップを図る。

## 2. 実施

救急部の開設に伴い重症患者の受け入れや、複数の診療科と急性期、終末期患者に至る幅広い看護が求められる自部署では、限られた期間で治療計画に沿った専門性に富んだ医療、看護の提供を目指し、早期退院に向け他部署との連携を図り活動を行った。週1回のDPCに基づいたカンファレンスの実施、術後患者のベットコントロールの取り決めを見直し、救急患者を効果的に受け入れができるよう体制を整備した。

令和4年度は新人看護師2名、既卒採用者2名を迎えた。ステップアップファイル、チェックリスト等を活用しチーム全体で教育する環境を整えた。

また医療安全業務計画として、患者誤認防止に取り組んだ。インシデント、クレーム発生時には、カンファレンスにて報告し、情報の共有、改善策の明文化に努めた。ISO承認取得へ向け、標準化の必要な項目は明文化し、病棟マニュアルを整備した。

臨時入院数が増え、業務が煩雑化、複雑化している状況下でチームを超え、スタッフ全員がフォローし合うことを常に心がけ、身体的、精神的負担の軽減、時間外業務時間低減に努めた。また個々のスキルアップが図れるよう明確な目標設定を行い、資格取得へ向けたアプローチを行った。

### 【部署内で行った教育研修および参加者数】

麻薬について	8名	退院支援（訪問看護）	9名
呼吸器管理	9名	せん妄患者の薬物投与方法	9名
栄養指導	8名	透析管理（3回）	25名
退院支援（MSW 2回）	15名	急変対応	8名
認知症ケア	8名		

## 3. 評価

臨時入院の受け入れは前年度486件から654件へ増加しており、病床利用率65.4%、病床稼働率72.5%の増加となった。急性期病棟が担う役割として、更なる受け入れ体制の強化、また重症救急患者受け入れ時に必要な医療が提供できるための個々のスキルアップに取り組んでいく。

新人看護師、既卒採用者への教育は、進捗状況については情報共有に努め、細かく目標を設定し、計画的に看護技術の習得に努めた。今後は、力量を見極め、不安なく業務に従事できるよう特に既卒採用者への指

導要綱の作成、活用できるチェックリストの見直し等の教育体制の構築が必要である。

医療安全業務計画として患者誤認防止に取り組んだが、令和4年度8件発生した。活動前後でアンケート調査を実施し、3点認証の使用率は24%から87%まで改善した。しかし、3点認証使用率は100%に至らず、引き続き患者誤認防止に向けた取り組みを強化していく。インシデントは、3bが2件発生した。クレームは3件あった。患者が安全に療養生活を送ることができるようインシデント発生防止に向けた取り組みを継続していく。また、これまで標準化されていなかった手順を明文化し検討する。ISOは、3月承認取得することができた。患者満足度調査に於いては、前年度平均評価4.496より今年度4.59へ上昇した。今後も患者・家族と真摯に向き合い、より添った看護が提供できるよう、接遇向上への取り組みを継続していく。

今年度は、病棟全体で入院の受け入れ体制を整えた。看護師各々の身体的・精神的な負担は軽減でき、時間外業務時間の平均は、前年度2.8時間/月より今年度1.64時間/月と低減させることができた。また専門分野のスキルアップへの取り組みは、中間管理職任用試験2名合格、ストマ認定士1名、がんリハビリテーション研修課程1名、ACLSコンダクター1名、弾性ストックングコンダクター1名取得となった。また、クリニカルラダーは、レベルⅠ2名、レベルⅡ1名が申請し、合格した。次年度も引き続き個々に応じたスキルアップを図り、資格取得に向けたアプローチを行っていく。

#### 4. 論文・学会発表・講演等

##### 学会発表

##### 1. 発表者氏名 神崎 美和

「経鼻カテーテル自己抜去の要因と今後の課題～インシデントレポート報告の事例分析より～」  
第38回 筑豊地区看護研究発表会 令和5年2月

#### がん化学療法看護認定看護師

##### 1. 目標

- ・がん化学療法を受ける患者・家族に対し有害事象に関するセルフケアへの維持・向上を図る。
- ・がん化学療法に於ける院内の看護職種に対し実践能力の知識・技術の向上を図り、安全・適切な投与管理を行うことができる。

##### 2. 実施

外来・病棟に於ける症例数は、令和元年度475件、今年度777件と大幅に増加している。がん化学療法看護認定看護師として、安全・適切な投薬管理、有害事象のケアなどの実践・指導・相談等を組織横断的に実施している。医師による病状説明実施後、意思決定支援として患者や家族と面談を実施し、正確な情報提供、今後の治療に関する介入や医師・家族間の調整や不安の軽減など年間通じ令和4年度では5件実施した。また、がん化学療法を受ける患者・家族を対象とした、がん患者指導管理料の算定は前期26件、後期29件であった。

また、新人看護師を対象としたがん化学療法看護・終末期看護の研修を実施し、新人看護師の育成に取り組んだ。さらに、化学療法に携わる外来・病棟スタッフを対象に資料を提供し学習会を実施し、実践能力の向上に努めた。

がん化学療法委員会では新規レジメンの承認を行い、ISO承認に向け当院に於けるマニュアルの見直しの実施、改訂を行い活用に向け周知徹底を図った。また、緩和ケア委員会発足に伴い終末期患者の実症例をもとに、オピオイド使用とACPを含めた審議を多職種と協働し行っている。今後はACPに関し早期からの介入が必要とされるため、プランニングシートの作成を検討し患者・家族の希望を把握することで治療や療養の指標としていく。

3月地域の医療従事者を対象とした公開セミナーの開催を行った。

### 3. 評価

近年、乳腺外科の症例数も増え、若年層のがん化学療法を実施するにあたり頻発する脱毛や催吐性リスクの高いレジメンの導入により起こりうる有害事象への不安は強く、初回の指導を確実に行った。適切なタイミングでの指導を実施することは、対象者のセルフケア能力の向上と闘病に対する意欲を維持し、個々の不安軽減に繋げることができた。次年度は外来・病棟を通じ更に症例数も増えることが予測されるため初回の導入は必須とし、以後も継続した介入が必要であると考え。さらに加算算定件数を今年度以上の増加を図りたい。

次年度も外来・病棟を通じ学習会を実施し、知識、技術の向上を図りリンクナースの育成に着手する。がん化学療法看護認定看護師不在時、有害事象の際リンクナースにより即座に対応できることを目標とし安全・確実に治療が遂行できるよう構築していく必要がある。また、コロナ禍により2年ほど学会不参加のため、がん治療学会を受講し最新の治療を学ぶことで多職種とも協働しマニュアル・退院指導資料などを随時改訂、また得られた知識はスタッフ教育に反映させていきたい。

地域の医療従事者を対象とした活動だけでなく、地域住民に向けた当院でのがん治療に対する取り組みなども詳しく紹介し、地域に根付いた医療提供に貢献できるよう検討していく。

### 4. 論文・学会発表・講演等

#### 講演

#### 1) 発表者氏名 山本 好美

「がん化学療法を受ける患者・家族へのセルフケアについて」

地域医療公開セミナー 令和5年3月

## 5 階病棟



### 概要

5 階病棟 主な診療科：整形外科 脳神経内科  
 看護師長：城塚 恵子  
 主任看護師：1 名  
 看護師：16名 介護福祉士：4 名 看護助手：2 名 計24名

### 患者数等状況（令和 5 年 3 月現在）

平均入院患者数	40.9人	病床稼働率	81%
平均在院日数（運動器）	34.8日	平均在院日数（中枢）	60.4日

### 病棟実績（令和 5 年 3 月現在）

在宅復帰率	重症者の患者割合	FIM改善率（実績指数）	重症度改善率
91%	50%	75.2点	80.1%

### 1. 5 階病棟 目標

- 1) 病院経営に貢献する回復期リハビリテーション病棟の積極的な参画と運営
  - (1) 診療報酬改定に伴う回復期リハビリテーションからみた診療報酬、その成果、施設基準に必要なデータ収集を行い、稼働率・利用率向上に努め、収益向上に貢献する。
  - (2) チームアプローチ機能を高め、退院支援と地域連携の強化、アウトカム及び成果の見える化を行う。
- 2) 回復期リハビリテーションケアチームの構築とチーム力の向上
  - (1) 協働意欲、共通目的、コミュニケーションをもとに、多職種及び地域連携を密に図り、生活支援・社会復帰達成への患者のQOLマネジメント及び退院支援を行う。
  - (2) 患者・家族が治療の方向性を共有し、チームアプローチを強めるカンファレンスを実施し、患者・家族のニーズに沿ったケアの提供ができる。
  - (3) 重症患者の適正数を確保する仕組みづくりと、機能改善に必要な能力とチームアプローチの強化を行う。
- 3) 回復期リハビリテーション看護におけるEBP（根拠に基づく実践）の実装
  - (1) 高齢者への看護実践とリハビリ看護実践の統合への知識・能力を習得し、患者のQOLマネジメントを行う。

- (2) 身だしなみ、挨拶等、接遇の徹底を行い、患者満足度の向上を図る。
- 4) 働きやすい職場環境作りとワークライフバランスの充実
- (1) 業務の効率化を図りながら時間管理を適切に行い、時間外業務を減少させる。
- (2) ワークライフバランスを意識した業務遂行に取り組み、有給休暇が取得でき、モチベーションの向上を図る。

## 2. 実施

今年掲げた病棟目標に沿い活動を行い、1) ケアカンファレンスでの情報共有 2) 時間外業務の減少を特に尽力して行った。

- 1) 退院支援のためケアカンファレンスを全患者に実施しているが、従来は話し合った内容を電子カルテに記録していた。より多職種との情報共有を図るために今年度よりケアカンファレンス情報用紙を作成し、電子カルテでの入力が可能となった。
- 2) 業務班が中心となり申し送り時間調査を行い、夜勤・準夜帯での申し送り時間短縮はできたが、日勤帯から準夜帯への申し送り時間短縮には至っていない。そのため、日勤時の患者一人あたりの申し送り時間の平均が1分以上にならないよう付箋を活用すること、申し送りがスムーズに行えるようナースコール対応交代などの意識付けを行った。また、入院・転入時にかかる業務時間短縮できるよう、チェックリストの見直し・修正を行った。今年度より看護補助者充足したため、看護補助者の準夜勤務が再開となり、看護業務内容の見直し・看護補助者へ移行できる業務を明確化し、遅出3看護師業務が廃止となった。

### 【部署内で行った教育研修および参加数】

BLS研修	参加人数	7人
-------	------	----

## 3. 評価

- 1) 令和4年度より診療報酬改定となり重症患者割合が引き上げられたが、一般病棟及びMSW・セラピストとの連携を図り、重症患者50%と目標を大きく上回っている。退院難渋事例へは今後の方向性を早目に確認し、FIM改善率（実績指数）は75.2点と高値を維持できている。カンファレンス情報用紙を事前に看護師・セラピスト・MSWが入力することで、情報の可視化・共有がスムーズに行えるようになった。来年度はチームカンファレンスにも活かしていき、活発な意見交換ができるよう、進行方法などの検討が必要。
- 2) 看護補助者の準夜勤務が再開となり業務委譲を行ったことにより、準夜帯での時間外業務は減少でき、時間外業務平均1.95時間/月と前年度と比較し減少することができた。来年度は、日勤帯での時間外労働が減少できるよう、業務改善を行っていく必要がある。

回復期リハビリテーション病棟の特性上、ADL拡大に伴い転倒リスクも高まる。ピクトグラム表記・ベッド周囲の環境整備の徹底推進にて、転倒発生率1.3%と前年度（1.7%）から減少している。しかし、インシデントレベルⅢa 7件、Ⅲb 3件（脱臼2件、膝蓋骨骨折1件）と処置及び治療が必要な転倒も多かったため、引き続きタイムリーなインシデント・アクシデント分析を行い、情報交換や危険度の学習・評価を行い、レベルⅢaⅢbインシデント件数減少に努めていく必要がある。

## 4. 論文・学会発表・講演等

### 1. 看護研究

「回復期病棟におけるFIM利得率に関連した退院指標の検証～ FIMと在院日数長期化の関連性～」

発表者 城月浩美

共同研究者 橋爪智華、金子昭紳

# 6 階病棟



**概要**

6 階病棟 主な診療科：整形外科、眼科  
 看護師長：宮田 美乃  
 主任看護師：2 名  
 看護師：24名 介護福祉士：2 名 看護助手：2 名 計31名

**患者数等状況（令和 5 年 3 月）**

病床稼働率	73.0	看護必要度	41.2%
平均入院患者数	1064人	平均在院日数	35.0日

**年間手術件数**

整形外科	眼科
632件	179件

**クリパス活用件数**

白内障手術	399件
-------	------

**1. 6 階病棟目標**

- 目標 1：患者を生活者として捉えた入院支援ができる
- 1) 認知症・せん妄に対する理解とケアの実践
  - 2) 身体拘束の廃止・解除に向けた実践と評価
  - 3) プライマリーナースとしての役割を發揮できる
  - 4) 多職種で情報共有し退院支援を実践する
- 目標 2：基本に則った看護実践ができる
- 1) 感染予防対策の遵守
  - 2) 患者誤認によるインシデントをゼロにする
  - 3) KYTの周知徹底を図る

目標 3：看護実践能力を高め看護の質が向上する

- 1) プリセプター、実施指導者の育成
- 2) クリニカルラダーレベルに応じた実践能力が発揮できる
- 3) 新人看護師・中途採用者の定着を図る
- 4) 看護実践能力を高めるための学習会の開催

## 2. 実施

令和 4 年度は認知症班を発足し安全班と共に活動した。学習会を行い身体拘束解除のタイミングを治療上必要なルート類が外れた時点とし早期解除に取り組んだ。

毎週金曜日に多職種（看護師・リハビリ・栄養士・MSW）カンファレンスを行い退院支援に向けての意見交換・情報共有を行った。

感染班を中心にアルコール製剤の使用量の測定、使用量増加のための声かけを行った。

患者誤認のインシデント予防のため 5S、KYTを行った。

臨床指導者委員会の研修に参加しプリセプターの育成を行った。

新人看護師のメンタルサポート、毎週新人の進捗状況を共有するカンファレンスを開催した。

【部署内で行った教育研修および参加者数】

表 1

7月	二次性骨折	20人
9月	倫理研修	28人

表 1 は病棟全体で行った研修結果である。二次性骨折は令和 4 年度より二次性骨折予防継続管理料を取得するにあたり病棟全体で周知するために行った。

倫理研修は、身体拘束のDVD視聴後に倫理カンファレンスを実施した。

## 3. 評価

### 目標 1 について

6 階病棟では患者の危険行動に対し体幹抑制を第一選択とする傾向があり、改善の必要があると感じていた。身体拘束の 3 原則を周知し実践・評価した結果、身体拘束率に大きな変化はみられなかったが、体幹抑制実施期間が平均 10.5 日から 8 日に短縮した。

多職種カンファレンスを行うことでプライマリナーズは患者・家族に退院先の意向を確認し、早期から退院に向けて必要な支援が少しずつできるようになってきた。独居・身寄りのない方や家族の協力が得られ退院困難事例も増加にある。MSWに任せているところが多く看護師が退院支援の中心的役割を担う教育が必要である。

### 目標 2 について

コロナ陽性患者発生し、入院・手術を 1 週間止めることになった。感染拡大がどのような影響を与えるのかを個人が理解し責任ある行動が取れるよう今後も継続教育が必要である。

患者誤認のインシデントは 13 件／年であった。内容は配膳・内服・検査・家族に対するものであった。どのケースも確認不足であった。基本に則った実践ができていないことが要因である。マニュアルの徹底、教育が必要である。教育委員や主任より部署内での教育を行っていく。

### 目標 3 について

臨床指導者委員会開催のプリセプター研修に参加はできているが、伝達ができておらず、統一した新人教育が行えていない。

業績評価にラダーレベルをあげるようにしているが自己のスキルアップを目指すスタッフが少ない傾向がみられる。

認知症・せん妄ケア、2次性骨折などの勉強会が開催できた。次年度も教育委員を中心とし取り組んでいく。

接遇班が中心となり、身体拘束のDVD視聴後に倫理カンファレンスを2回／年実施した。活発な意見交換ができた。

#### 目標4について

毎日の勤怠管理システム入力を徹底し、勤怠管理の適正化を図ったが定着していない。サービス残業にならないように終業時間前には必ず声かけし、時間外申請の申し出を徹底していく。

時間外勤務は個人差はあるが平均10時間以内である。師長・主任については10時間／月以上の時間外勤務となっており、管理業務の見直しが必要である。

年休取得率の向上と公平化を図るため事前に年休取得時期を指定することで、計画的に取得できている。令和4年度はコロナ感染による勤務調整のため取得率に若干の差がみられた。

#### 4. 論文・学会発表・講演等

##### 1) 発表者氏名：半仁田理恵

第53回日本看護学会学術集会 開催期間2022年11月8日～9日

開催場所 幕張メッセ（千葉県）

「急性期病棟の看護師が考える退院支援と課題」

# 7階病棟



## 概要

7階病棟 主な診療科：内科、眼科、COVID-19専用病床 13床  
 看護師長：道下華  
 主任看護師：1名  
 看護師：19名 介護福祉士：2名 看護助手：2名 計25名

## 患者数等状況（令和5年3月現在）

平均入院患者数	27.8人	平均在院日数	15.4日
COVID-19入院患者	210人		

## 1. 7階病棟 目標

### 1、安全で質の高い看護の提供

- 1) クラスターを起こさないよう感染管理を徹底する。
- 2) ヒヤリハット報告を共有し、事故を未然に防ぐ。
- 3) 言葉遣い・態度を重点に、患者やスタッフ間での接遇を強化する。

### 2、働きやすい職場環境の醸成と人材育成の推進

- 1) 新入職者は、教育を受けることで、プログラムに沿って計画的に看護技術の習得ができる。
- 2) 個々が自己啓発に努め、ラダーレベルに応じた実践力・管理能力の向上を目指す。
- 3) ルールを遵守し、個々が自立したスケジュール管理を行い、チームで協力し共に成長できる。
- 4) ワークライフバランスを意識し、モチベーションの維持に努める。

### 3、多職種と協働して病棟運営への参画と貢献

- 1) コロナ病床と一般病床のベッドコントロールを、迅速かつ柔軟に行う。
- 2) 救急部立ち上げに伴い、緊急入院・重症患者の増加に対応できる業務調整と意識の変化を行う。
- 3) 多職種カンファレンスを活用し、入院時からの退院支援を推進する。

## 2. 実施

2021年度より新型コロナウイルス感染症の入院患者受け入れ病棟となり、2022年度は年間210名の入院受け入れを行った。第7波では、コロナ病床13床確保し、最大40名/月の入院を受け入れており、院内発生によりオーバーベッドでの対応をせざるを得ない状況であった。インシデント報告では、レベル0の報告数が20件と昨年度を大きく上回った。安全班を中心にヒヤリハットへの意識が高まったことが要因であると考え、今後も継続したい。レベル3bの報告は1件あり、転倒により骨折が生じた。

また、新人看護師1名・中途採用者3名配属となり、中途採用者1名退職となった。新人看護師は、プリセプター・主任看護師を中心にステップアップファイルに沿った教育を行った。クリニカルラダーは、レベルI 1名・レベルII 2名・レベルIII 3名・レベルIV 2名が取り組みを行う予定であったが、レベルII 1名退職とレベルIV 1名計画通りに進まず断念した。

日動リーダーがメンバーの残務状況を把握し、残務の振り分けを行う事を目標にしていたが、業務が複雑になると実施が難しかった。今年度の超過勤務時間は、29.42時間/月と大幅に増加しており、コロナ患者の増加に比例している。

救急部立ち上げによる重症者の増加に備えて、想定される項目を5項目ピックアップし病棟内で勉強会を開催し、参加できないスタッフへは資料の閲覧を呼び掛けた。前期では、数名の重症者の入院もあり、人工呼吸器・Aラインの管理・CHDFについて実際に経験し学ぶことができた。経験値が浅い看護師に対しては、少ない機会を逃さないよう実践を促した。

### 【部署内で行った教育研修および参加者数】

人工呼吸器	15人	ネーザルハイフロー	12人
Aラインの管理	13人	腹臥位療法	10人
CHDF	21人		

## 3. 評価

COVID-19においては、2022年7月からの第7波では、8月に最大40名/月の入院患者の受け入れを行ったが、看護師不足により十分な人員確保ができず、スタッフの疲弊に繋がった。2022年11月からの第8波では、院内でのクラスター発生があり、院内からコロナ病床への転入があった。そのため、外来からの夜勤応援を依頼し、限られたスタッフの中で乗り切ることが出来たと考える。しかし、12月と3月に当病棟一般病床からのコロナ発生が多発し、スタッフの感染対策への再教育を行い、感染拡大防止に努めた。

新人教育においては、ステップアップファイルに沿って計画通りの教育を行い、技術の習得を行うことができた。中途看護師の退職に関しては、経験値の情報不足もあり、今後は詳細な情報を得てプリセプターの選定や業務配分を行う必要がある。超過勤務時間の増加・打刻のずれ時間、業務と私用を明確に区別できるよう、勤務終了時の声かけを継続して行う。

スタッフのスキルアップに対しては、勉強会を定期的に行う事で知識の向上を図り、今後HCU機能を持った病床を確保に備え、安全に患者管理ができるよう医師と協働しスタッフの教育を行う必要がある。看護研究で退院支援について取り組んでおり、病棟内で退院支援カンファレンスを行うことで、チームでの情報共有と退院へ向けての意識統一ができ、退院促進につながると考えるが、今年度は在院日数が延長しており効果の評価までには至っていない。今後多職種を巻き込んで取り組みを継続し、看護師の意識の変化さらには行動の変容に繋がりたいと考える。

## 4. 論文・学会発表・講演等

2022年度 なし

## 8 階病棟



### 概要

8 階病棟 主な診療科：内科 外科 整形外科 脳神経内科  
 看護師長：船田久美子  
 主任看護師：1名  
 看護師：7名 介護福祉士：5名 看護助手：3名 計28名

### 患者数等状況（令和5年3月現在）

平均入院患者数	37.9人	平均在院日数	17.4日
病床稼働率	79.9%	看護必要度	17.0%

### 病棟実績（令和5年3月現在）

在宅復帰率	自宅等の入院患者割合	自宅等の緊急入院患者数	転棟患者割合
78.6%	38.9%	132人	55.3%

### 1. 8 階病棟目標

- 1) 2022年度診療報酬改定に伴う地域包括ケア病棟入院料2の維持ができる
  - (1) 医事課との情報交換を行い、地域包括ケア病棟としての役割を周知する
  - (2) 他職種と連携し、こまめに目標設定を行うことで、数値目標を達成する
- 2) 予防ケアの充実・アセスメント力を発揮し、スムーズで良質な退院支援ができる
  - (1) 観察力やフィジカルアセスメント力を高め、予定通りの退院ができる
  - (2) 意思決定支援を行い患者・家族に寄り添った個別性のある退院支援を行う
- 3) 安全で安心できる入院環境をつくる
  - (1) 転倒転落3 a以上のインシデントが減少する
  - (2) 適切な行動制限の必要性を検討し、認知症ケアを行いながら昼間の離床を促すことで直接拘束の軽減に取り組む
- 4) 働きやすい活気のある職場づくり
  - (1) 新人看護師をあたたかい目で見守り、スタッフ全員で指導に関わる
  - (2) スタッフ間のコミュニケーション・チームワークで心身共に健康な明るい職場づくり

## 2. 実施

- 1) 2022年度診療報酬改定に伴い、自施設からの転棟割合が6割未満と制限が設けられた。前年度ポストアキュートが81%だったため、地域包括ケア病棟入院料2の維持には院外からの入院割合を増やす必要があった。医事課やMSWと情報を共有しながらベッドコントロールした。
- 2) 退院支援チェックシートを活用、チーム内で情報を共有し、個別性のある退院支援を行った。ACPチームが中心となり意思決定支援にも取り組んだ。
- 3) 医療安全で患者誤認防止の取り組みとして、セーフティ(電子カルテの安全機能)の使用を励行した。週1回、行動制限に関するカンファレンスで行動制限緩和へ向けての検討を実施し、全員で直接身体拘束の緩和にむけた取り組みを行った。WOCNの助言のもと、入院時から皮膚の評価やマット選び、褥瘡ケアの評価を実施した。
- 4) 新人看護師のステップアップファイルを可視化し、誰もが新人の業務の進捗状況を分かるようにした。それを、新人指導に役立て、継続した支援が実施できた。
- 5) 部署内で行った教育研修と参加人数

介護保険について	10人
地域包括ケア病棟での早期離床に向けて	9人

## 3. 評価

11月はコロナクラスター発生したがベッドコントロールをし、地域包括ケア病棟入院料2が維持できる数値目標は達成できた。退院支援に関しては、退院チェックシートを活用し、チーム内で看護師が情報を共有し、個別性のある寄り添う看護、退院支援に努めた。しかし、コロナ禍で患者の状態を家族が見えない事も多く、受け持ち看護師を中心に、丁寧に状況を伝える事に重点をおいた。早期に意思を確認することで、混乱のない退院支援が行えた。ACP担当チームも数例ではあったが、意思決定支援に積極的に関わることができた。患者家族が納得できる退院支援を模索しながら行っていきたい。転倒転落3a・3bのインシデントは2件であり、昨年と変わりなかった。環境調整とともに、転倒転落に対する危険予見ができるような訓練や振り返りを行い、減少出来るように努めた。直接身体拘束の軽減へ向け取り組んだが、要因が複雑であり、軽減率の上昇はできていない。しかし、直接身体拘束を緩和していくという意識や、積極的にカンファレンスなどで発言出来るようになった。本年度は、医療安全で患者誤認防止へ取り組んだ。コロナ禍で面会が出来なかったため、荷物受け渡しの患者誤認が生じた。時系列でインシデント分析を行い周知し、荷物受け渡し表の作成を速やかに行い以降同様の誤認はない。患者誤認に対してはゼロを目指す必要があるため、継続していく必要がある。新人看護師へはステップアップファイルが昨年より可視化でき、活用することができた。新人看護師へはスタッフ全員で指導に関わることができている。本年度は新人教育に取り組み、情報の共有や指導内容の詳細な計画を立案した。スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、固定チームナーシングが機能し、力を最大限に発揮できるように、心身ともに健康な職場づくりを継続していきたい。

## 4. 論文・学会発表・講演等

### 1) 紙面発表

「高齢者に対する水分摂取業務を可視化した効果について」

第38回筑豊地区看護研究発表 令和4年度 発表者 津川直也

# 外来



## 概要

主な診療科：内科・外科・整形外科・乳腺外科・脳神経内科・眼科・皮膚科・小児科・耳鼻科  
脳神経外科・泌尿器科・呼吸器外科

看護師長：藤山 淳子 主任看護師：2名

看護師：常勤15名 非常勤15名 救急救命士：1名 クラーク：10名 計41名

## 令和4年度 1日平均各診療科受診患者数

外科	整形	内科	眼科	皮膚科	耳鼻科	小児科	乳腺外科
25名	99名	83名	72名	35名	20名	6名	30名

1日平均外来患者数 372.4名

## 令和4年度 救急搬送状況

救急車搬送件数	2329名	応需率	66%
搬送からの入院率	44.9%		

## 令和4年度

上部内視鏡	652件	訪問看護	631件
下部内視鏡	506件	発熱外来	1767件
ERCP・PEG・ブロンコ・他	175件	外来手術	796件
化学療法	523件	リンパ浮腫マッサージ	157件

## 1. 外来目標 【キャッチコピー】バトンタッチで業務を繋ごう！

- 1) 救急部が効果的に運用できる体制を整備する
  - ・救急室の整理及び基準・手順を整備し、救急体制を構築する
  - ・重症救急患者に必要な医療が提供できるためのスキルアップに努める
  - ・救急医療と感染対策の並行業務に対し、感染予防対策を遵守し、他部門と協働する
- 2) 看護実践力を高め看護の質が向上する
  - ・外来看護師としての役割を自覚し、自己の目標を明確に持つ
  - ・業務の改善、業務の見える化により、応援体制・スポット応援を強化する
- 3) 魅力ある職場づくりを行い、経営に参画する
  - ・診療報酬改定に関する知識の習得・ISO9001承認取得に向け取り組む
  - ・メンタルサポートを実践しながら働き続けられる職場環境をつくる
  - ・病棟・他部門との連携・協働により経営に参画する
- 4) ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方を目指す
  - ・休憩時間の確保・時間外勤務を含む、自律した時間管理と正しい申請ができる
  - ・タスクシフトをしながら業務の効率化を図る

## 2. 実施（400～600文字程度）

救急部発足後、動線やブース面積の有効活用のためレイアウトを変更した。モニター・ストレッチャーなど機器や物品の充足や重症患者対応に備え人工呼吸器やネーザルハイフローを常備した。6月救急救命士・10月医師事務作業補助者を配置、立ち上げ当初の看護師配置は、専従2名専任2名としたが、マンパワーや休日夜間の対応力向上のため、専従1名と各科からの応援体制へ切り替えた。応援看護師の不安に対し、OJTにて経験を積めるようその都度配置を調整した。基準・手順の整備、業者・コメディカルによる学習会、症例の振り返りや日々問題点を解決しながらルール整備に努めた。データ集積のための救急台帳の整備、Wi-Fiでの可動式電子カルテ設置、ホットコールの1本化、3診内アウトレット増設、CPA患者の搬送件数増加に伴い霊安室の整備、10月より外来看護師の夜勤を導入した。救急救命士は初めての採用であり、委員会の立ち上げ、ルールの整備、救急医による認定講習を開催した。また、今年度はコロナ第7.8波が到来し、より多くの発熱患者に対応するため、新たな発熱外来ブースの整備やプレハブを増設した。

業務改善として定期入院方法の変更を全病棟に導入し、応援体制強化として各科の配置決りをリーダー看護師に委譲した。部署目標とリンクさせながら、個人の目標を明確化し、ラダー認定（2名）・資格取得（特定行為）、救急患者・重症患者対応に向けた自己研鑽の姿も見受けられた。

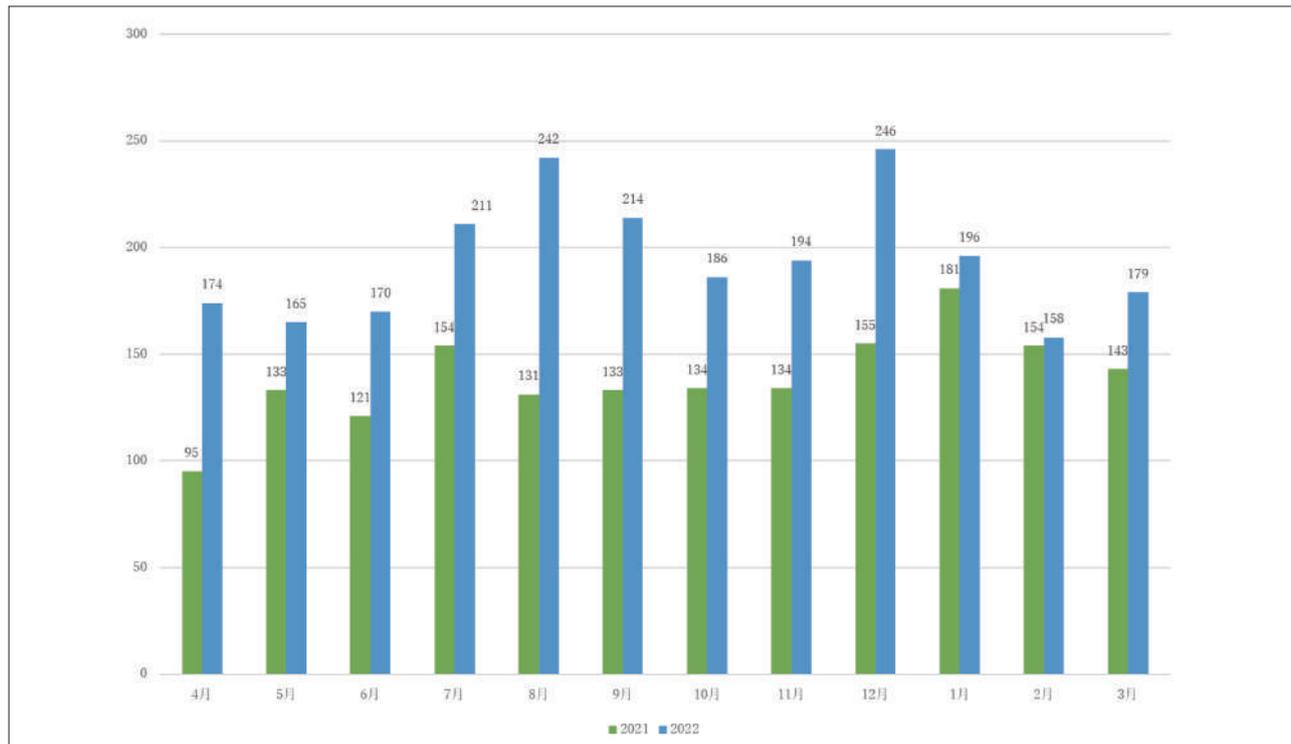
3月受審のISO9001取得では、外来・訪問看護に指摘事項があった。また、職場環境において今年度の退職者4名であった。

年休習得は1人0.86日/月、時間外勤務時間は平均3.02時間/月と減少した。出退勤システム・届出簿申請の自己管理については、繰り返しの催促や指導が必要なスタッフは続いた。

### 令和4年度 部署内教育研修および参加者数

BLS（研修及び動画作成）	6名	包帯法（3回）	14名
リフレクソロジー（3回）	18名	心電図（3回）	16名
人工呼吸器セッティング編	15名	エコキャス（2回）	10名
Aライン	15名	ネーザルハイフロー	15名
簡易PSG器械	5名	内視鏡及び洗浄方法	5名
スタットセンサー	15名	聴力検査（2回）	6名
エンジェルウェイ（2回）	14名	内視鏡スパイグラス	5名
救急救命士認定講習	1名	飯塚地区病院救命士合同研修会	1名

## 令和4年度 救急車受け入れ件数



## 3. 評価

救急搬送件数は2329件と目標達成し、外来における救急部立ち上げという役割は果たせた。また、外来収益・外来患者数ともに増加したが、内視鏡件数は、医師不在の影響があり減少したため、他施設からの紹介内視鏡検査導入で復活を目指す。各診療科においては、内科・脳外科・呼吸器外科を除き患者数は増加しており、乳腺外科・耳鼻科・外科・泌尿器科の順で増幅が大きかった。

業務改善として行った定期入院方法の変更は、試行期間を設け徐々に移行することで問題なく導入でき、外来業務の効率化につながった。また、各科の配置決めにリーダー看護師に委譲したことで、スタッフが外来全体像を把握し、協力体制の強化に繋がると考える。

職場環境においては、今年度の退職者は4名であり、働き続けられる職場づくりに向けメンタルサポートを継続していく必要がある。また、届出簿申請の自己管理・休憩時間の確保や時間外勤務に対し、スタッフそれぞれが応援要請や連携を図りながら自律できるよう支援していく必要がある。

次年度も、外来には感染と両立しながら、救急体制強化やヘリポート開設、小児急患センター開設という大きな課題がある。まずは、自分たちで魅力ある職場づくりに努め、経営に参画していきたい。

# 手術室・中央材料室



## 概要

手術室・中央材料室  
 看護師長：井山 美穂  
 主任看護師：2名  
 看護師：12名 看護助手：5名 計20名

## 年間手術件数

外科	乳腺外科	整形外科	眼科	皮膚科	内科	合計
375	102	673	911	6	1	2,068

定期手術件数	臨時手術件数	緊急手術件数
1,714	272	82

全身麻酔	局所麻酔他
1,059	1,009

## 1. 手術室・中央材料室目標

### 【手術室】

- 1) 効率的かつ能率的な手術室運営
  - (1)ISO9001取得に向けた安全・安心な手術室の提供
  - (2)部署間での連携によるタスクシフト・シェアリング
  - (3)コスト意識をもち、病院経営に参画する
- 2) 手術室看護の質向上
  - (1)感染予防の徹底
  - (2)手術室ラダーの改訂と継続
  - (3)勉強会の実施
  - (4)充実した指導内容で、新人看護師・部署異動者の育成を計画的に実施

### 3) ワークライフバランスの充実

- (1)面談・コミュニケーションを活用したメンタルヘルス対策
- (2)休養日の確保
- (3)時間外手術時の休憩の確保
- (4)拘束者以外の時間外勤務者の取り決め

#### 【中央材料室】

- 1) 手術室・他部署との連携を図りながら必要な滅菌物の受け渡しを行う
- 2) サプライ業務の改善と業務整理を行う

## 2. 実施

#### 【手術室】

### 1) 効率的かつ能率的な手術室運営

#### (1)ISO9001取得に向けた安全・安心な手術の提供

ISO取得に向け、3点を重点目標に取り組んだ。SSI発生防止については、手術時手洗いの手技確立に向け抜き打ち培養検査を実施した。インシデントⅢbレベルの発生は1件あり、再発防止策を検討し、手順を取り決めた。手術室ラダーは、手術看護学会の改訂に沿って見直しを行った。

#### (2)部署間での連携によるタスクシフト・シェアリング

腹腔鏡下手術時に医師や看護師が行っていたカメラ保持を臨床工学技士に移譲した。手術室内の精密機器や使用後の器械の整備、点検を臨床工学技士へ依頼した。

#### (3)コスト意識をもち、病院経営に参画する

術前情報紙の見直しや麻酔科の情報紙を活用するなど、印刷関連物品の消費量の削減を14%行った。コスト請求については、入力漏れのあった項目を一覧表に記入することで見落とししやすい項目と傾向を把握し、呼びかけや入力方法の検討、工夫を行った。

### 2) 手術室看護の質向上

#### (1)感染予防の徹底

部署内の環境整備や清掃方法の見直し、外回り看護師のゴーグル装着の徹底や手指消毒剤の使用呼びかけを行った。

#### (2)手術室ラダーの改訂と継続

手術看護学会の改訂内容を参考に、部署に沿った内容改訂を行った。

#### (3)勉強会の実施

ナーシングスキルの視聴後に報告会を行った。また、術中の急変や災害発生を想定したシミュレーションを実施した。

#### (4)充実した指導内容で、新人看護師・部署異動者の育成を計画的に実施

プリセプター会議を開催し、教育プログラムを基に育成スケジュールを立案、取り組んだ。

### 3) ワークライフバランスの充実

#### (1)面談・コミュニケーションを活用したメンタルヘルス対策

チームリーダー、プリセプターが働きかけ、チーム内でのコミュニケーションを図っていった。報告を受けた師長、主任は随時面談を行った。

#### (2)休養日の取得

拘束者に規定時間以上の時間外労働が発生した際は休養措置を執っている。翌日の業務に支障なく休養が取れるよう、出勤時間の調整を行いながら取得することができた。

#### (3)時間外手術時の休憩の確保

拘束者が時間外手術を引き継ぐ前に休憩を取らないことが常態化していたため、主任、リーダー

の声かけで休憩を促したことや、時間管理について意識づけの声かけを行った。

#### (4)拘束者以外の時間外勤務の取り決め

2 症例以上の時間外手術がある場合は、時間外勤務に偏りが出ないように考慮しながらスタッフの配置を行った。

### 【中央材料室】

- 1) 手術室・他部署との連携を図りながら必要な滅菌物の受け渡しを行う  
要望に沿って随時検討し、対応を行った。
- 2) サプライ業務の改善と業務整理を行う  
サプライ会を開催し、意見交換や業務改善を行った。

### 【部署内で行った教育研修および参加者数】

令和4年7月	シミュレーション（急変対応）	13人
10月	倫理カンファレンス	10人
11月	アナフィラキシーについて	10人
12月	アクションカードについて	15人
12月	シミュレーション（災害発生）	18人
令和5年1月	周術期看護に対する術後訪問	13人

## 3. 評価

令和4年度の最優先目標にISO取得を挙げ取り組んだ。安全な手術室看護の提供を目指し、感染対策や勉強会の開催、中途採用者・部署異動者の育成を担当者や委員が中心となって活動したことで目標を達成することができたと考える。しかし、取り組みの中で物品や薬剤管理、マニュアルに対する認識不足も明確となったため、改善・維持を図っていく必要があると感じた。

部署の風土としては、コミュニケーションも活発にとれ相互協力は行えているが、学習への取り組みや安全意識に個人差があることで、部署としての成果や情報共有の遅れが発生することもあった。

今後は情報共有や課題の共通認識を高めるために部署内会議の開催を定着化し、改定後の手術室ラダーの運用、インシデント0レベル報告の推進などを通して個人の意識づけを強化していきたい。

## 4. 論文・学会発表・講演等

### 1) 看護研究

テーマ「手術室看護師の術後訪問が定着しない要因」

研究者：小川 和美 畠中 優輔 鶴我 智一

# 感染管理室



## 概要

感染管理室：室長 沖眞一郎（小児科医 ICD）

室員 伏貫智恵（感染管理室専従 感染管理認定看護師：2021年取得）

感染対策委員会メンバー：管理者、副院長、各診療科医師、看護部（看護部長、副看護部長、医療安全管理者、看護部感染対策委員長、看護部感染対策副委員長、感染管理認定看護師）、薬剤部（薬剤室長、薬剤室主任）臨床検査部（臨床検査室長）、栄養科（栄養科室長）、リハビリテーション科（リハビリテーション科室長）、事務部門（事務部長、総務課長、会計課長、医事課長）

## 1. 組織内における位置づけ

感染管理室は2021年4月より管理者直属の組織として設置された。院内感染対策指針に基づき感染制御医師（ICD）、感染管理認定看護師（CNIC）を中心に医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師の4職種でICTを組織し、実働する。また、ASTも兼ねている。2021年6月よりICTの下部組織として各部署担当のリンクスタッフ会を発足し、活動している。会議は月1回定期開催され、病原体検出状況や抗菌薬適正使用状況、院内環境ラウンド、院内サーベイランス結果等をもとに組織横断的に介入し、感染症の早期発見、感染拡大予防に努めている。会議の事務局は、感染管理室が行う。

## 2. 2022年度目標

院内感染管理の質がさらに向上し、患者及び医療従事者を医療関連感染から守ることを目的に以下の目標に取り組んだ。

- 目標1. 院内感染管理活動を継続する
- 目標2. エビデンスに基づいた感染対策を強化する
- 目標3. 感染対策の理解と意識が向上する

## 3. 実践1

目標1：新型コロナウイルス感染症（以下、コロナとする）予防対策周知を目的とし、5月にICTとリンクスタッフ会が中心となり「手指衛生キャンペーン」を開催した。職員、患者、家族に手指衛生

の重要性を伝える機会となった。7階病棟では、福岡県のフェーズに応じて確保病床を設け、コロナ陽性患者の入院受入れを2021年2月より開始し、継続対応した。一方、保健所や医師会、感染対策向上加算1の算定施設（重点医療機関）等とクラスター発生時の対応や日々の情報共有等を行い、相互の協力関係の構築に努めた。

目標2：2018年度より速乾性手指消毒剤の個人携帯を開始し、使用量計測を実施している。経年的に増加傾向である。看護部は、1患者1日当たりの手指消毒回数（手指衛生指標）の目標値を5回に設定しているが、3.07回であった。また、2021年度より手術部位感染（SSI）サーベイランスを実施している。2022年度は、対象手術342件中、SSI発生15件（発生率4.4%）（1月～6月結果より）昨年度同様、標準化感染比（SIR）はJANIS基準値よりも上回っており、手術部位感染の発生は多いと考える。

目標3：院内感染対策マニュアルの一部改訂と全部署の整備を実施した。今後は、6ヶ月毎の見直しを行う。院内感染対策研修は、年2回開催した。コロナ禍であり、分散したDVD視聴による研修など企画の工夫が必要であった。

#### 4. 実践2

2022年度の組織活動と教育活動の実績は、表1の通りである。

表1：組織活動と教育活動実績

組織活動		実績	担当
院内	感染対策委員会	1回/月（第3週金曜）	感染管理室
	新型コロナウイルス感染症会議	1回/週（毎週火曜）	感染管理室
	感染リンクスタッフ会議	1回/月（第3週金曜）	ICT、リンクスタッフ
	院内環境ラウンド*	1回/週（毎週火曜）	ICT、リンクスタッフ
	ASTカンファレンス	1回/週（コロナ禍で不定期）	AST
	手指衛生キャンペーン	2022. 5月9日～13日 参加者62名	ICT、リンクスタッフ
	職業感染対策		
	結核接触者健診	7名（医師1名、看護師3名、介護福祉士2名、リハビリ1名）	CNIC
	新型コロナ感染症	242名対応（濃厚接触者含む）	
	流行性ウイルス感染症	8名	
	血液体液曝露	8件	
	コンサルテーション	8件/年	CNIC
	サーベイランス		
	手指衛生サーベイランス	速乾性手指消毒剤使用量（全部署）	リンクスタッフ
	SSIサーベイランス	JANIS 外科手術14手技	CNIC
	感染管理施設連携カンファレンス	4回/年（6月より飯塚嘉穂済生会病院、飯塚医師会と共催）	ICT
	加算1－1連携相互ラウンド*	飯塚病院来訪1回、飯塚嘉穂済生会病院訪問（WEB開催）1回	ICT
感染対策マニュアル	一部改訂	CNIC/ICT	
新型コロナウイルス感染症マニュアル	一部改訂	CNIC/ICT	
院外	筑豊地区重点医療機関会議	4回/年（WEB開催）	CNIC
	筑豊感染管理ネットワーク会議	1回/年 PPE訓練（飯塚病院主催）	ICT

教育活動		実績	担当
院内	院内感染対策研修会	2回/年（第1回 90.3%、第2回 92.5%）	ICT
	N95マスクフィットテスト	2回/年（10/12、25開催36名参加）	CNIC
	新規採用者研修	1回/年（4月入職者対象）	CNIC
	新人看護師研修	2回/年（前期、後期）	CNIC
	中途採用者研修	採用時随時（全職員対象）	CNIC
	看護補助者研修	4回/年（前期2回、後期2回）	CNIC
	看護補助者手洗いチェックとPPE着脱訓練	コロナ対応スタッフに対して9名	CNIC
	リハビリスタッフPPE着脱訓練	コロナ対応スタッフに対して10名	CNIC
	救急救命士研修	採用時	CNIC
	救急隊病院実習 感染研修	10名	CNIC
院外	地域公開講座	1回	CNIC
	NPO法人飯塚市青少年健全育成会 児童クラブ支援員研修	1回（120名参加）	CNIC
	福岡県児童養護施設等感染症対策事業	2施設訪問	CNIC
	福岡県感染制御アドバイザー派遣事業	1施設訪問（軽費老人ホーム）	CNIC
	感染管理連携施設訪問	連携施設2施設訪問（加算3、外来）	CNIC

新型コロナウイルス感染症入院患者の状況は、表2～表5の通りである。

表2：入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院患者数	10	7	9	26	39	15	10	24	30	29	6	9	214
小児（6歳以上）	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6

表3：入院患者の転帰

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅	8	5	4	14	11	7	2	15	12	15	2	3	98
施設・病院	5	3	5	12	20	3	8	9	14	10	4	6	99
死亡	0	0	0	0	8	5	0	0	4	5	0	0	22

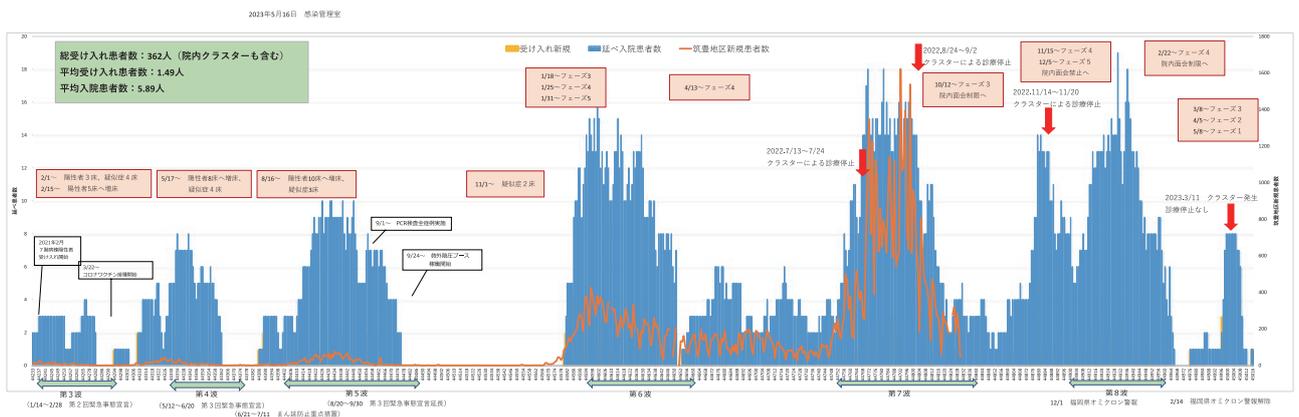
表4：新型コロナウイルスPCR検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	578	641	687	1007	1031	695	568	717	729	691	527	529	8400
陽性数	46	54	50	176	237	70	27	93	172	122	12	13	1072

表 5：新型コロナウイルス治療薬使用状況

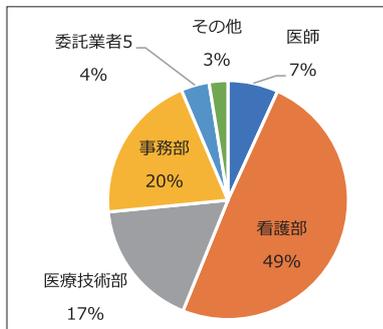
分類	商品名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
抗ウイルス薬	ベクルリー 点滴静注用 100mg	2	2	2	9	14	10	4	7	8	11	0	0	69
	ラゲブリオカ プセル200mg	5	3	0	13	18	9	20	21	22	18	4	4	137
	パキロビッド パック	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
	ゾコーバ錠 125mg	/	/	/	/	/	/	/	/	2	2	0	0	4
中和抗体薬	ロナプリーブ 点滴静注セッ ト1332	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゼビュディ 点滴静注液 500mg	1	2	5	9	10	2	4	4	5	2	1	2	47
合計		9	7	8	31	42	21	29	32	38	33	5	6	261

図 1：新型コロナ感染症患者状況



2022年度は、第6波、第7波、第8波と感染者が拡大し、職員感染者や濃厚接触者に対する対応に迫られた。図2のように職員の感染者、濃厚接触者の状況を示す。

図 2：職員の状況



## 5. 今後の課題と目標

コロナ禍を経験し、今後は感染対策に強い病院組織構築が必要である。そのために、職員、患者・家族の教育を継続していく必要がある。また、地域医療支援病院として保健所や自治体、医師会と密な連携を図りながら多職種チームと協力し、周辺医療機関や施設への感染管理に関するネットワーク構築を実施できるように活動していく。

## 6. 論文・学会発表・講演等

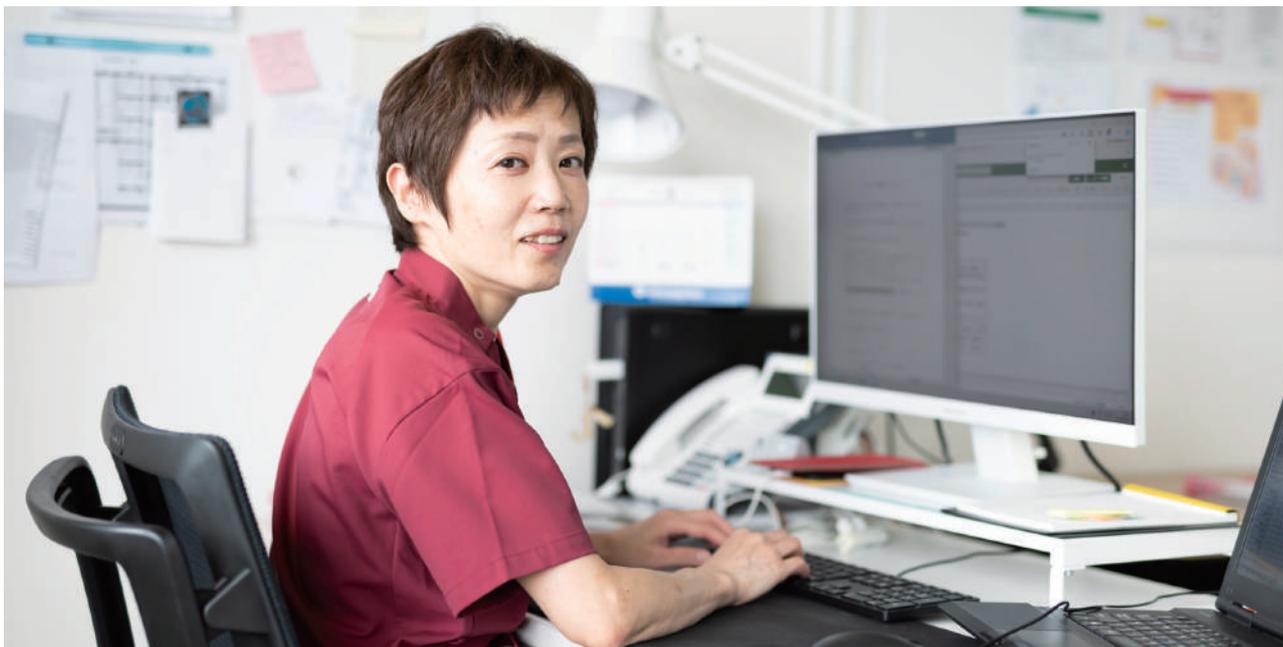
### 1) 学会発表

伏貫智恵

「COVID-19患者の看護にあたった病棟看護師の不安について」

第14回JADECOSM学術大会 2022.2.15～2.16

# 医療安全管理室



## 概要

医療安全管理室室長：白水副院長（医療放射線安全管理責任者） 医療安全管理者：麻生智恵子  
 メンバー：宮田医療技術部長（医療機器安全管理責任者）  
 山下薬剤室長（医薬品安全管理責任者）・宮崎医事課長・主任看護師

## 1. 組織における位置づけ

平成29年4月に医療安全管理室が設置された。同時に医療安全管理加算の取得を開始した。現在、医療安全管理室室長を白水康司副院長、医療安全管理者を麻生智恵子副看護部長が従事し、医療安全管理室のメンバー、各所属のリスクマネージャー、職員の協力のもと医療安全活動を行ってきた。平成22年よりインシデント・アクシデント集計ソフト（CLIP）にて報告内容を集計し、医療安全活動に活用している。医療安全管理委員会は月1回定期開催されており、令和2年10月からは医療安全カンファレンスを週1回開催し、タイムリーな情報共有を行っている。

## 2. 医療安全管理室目標

- 1) 安全な医療と療養環境を提供する
  - ①ルールを守る ②患者間違いをしない ③転倒転落の影響度レベルを下げる
- 2) 安全な職場環境を整備する
  - ①報告しやすい環境をつくる ②インシデント報告を活用した業務改善を行う
  - ③針刺し切創、血液体液曝露事故を減らす
- 3) 多職種連携による医療安全を推進する
  - ①医療安全に関する情報を発信し情報を共有する ②多職種連携で医療安全対策を実施する

## 3. 業務内容

### 活動内容

- 1) 医療安全管理対策及び医療事故防止対策の企画及び立案
- 2) 医療に係る現場の情報収集および実態調査
- 3) 医療安全対策マニュアルの作成及び修正

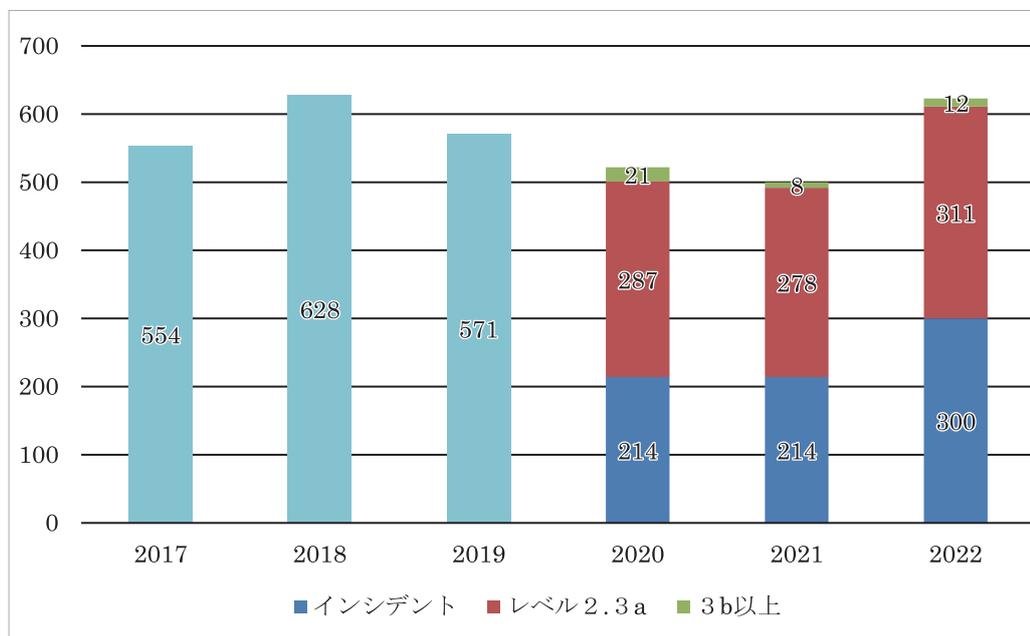
- 4) 安全管理のための教育及び研修の企画及び運営
- 5) アクシデント及びインシデント報告の調査及び分析並びにカンファレンスに関すること
- 6) 医療安全管理委員会、リスクマネージャーとの連絡調整
- 7) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認及び指導
- 8) 患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導
- 9) 医療事故等に係る原因究明
- 10) 事故発生時の対応業務及び相談窓口に関すること
- 11) 医療事故調査制度の対応
- 12) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策

### 活動実績・評価

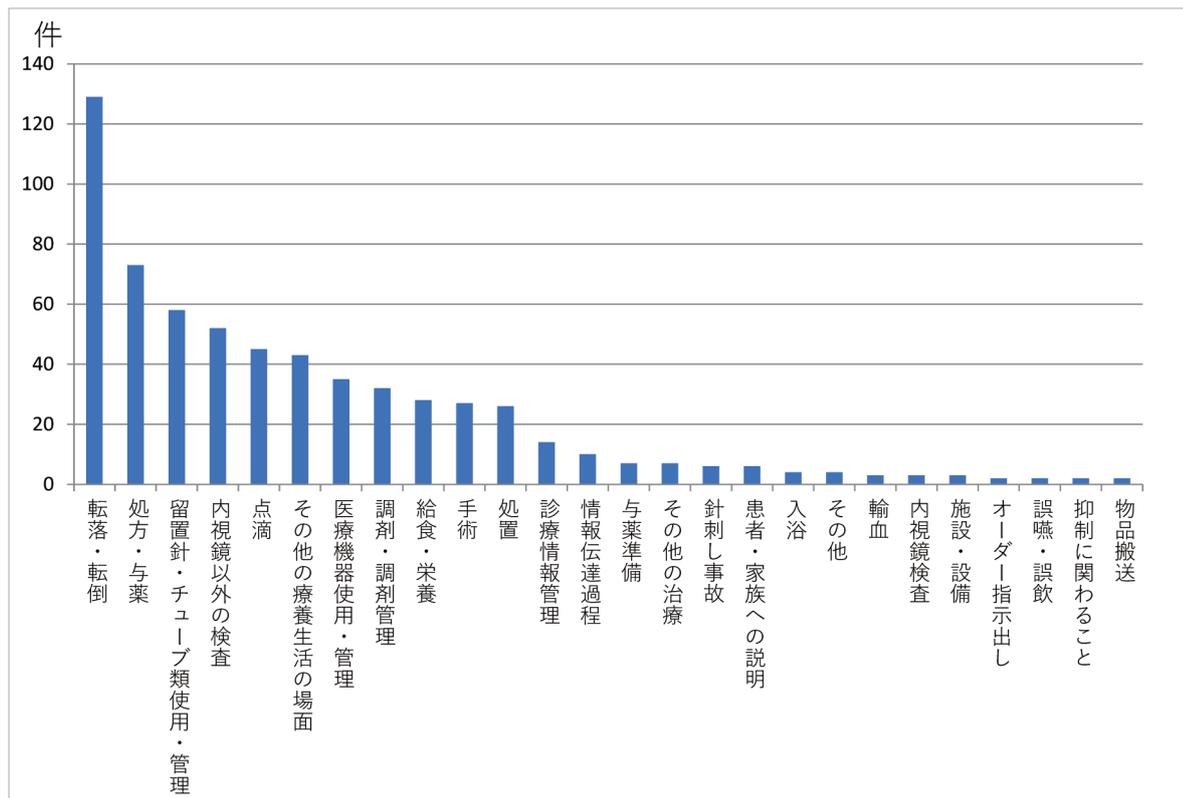
インシデント報告数は前年度から123件増加した。患者誤認は、今年度18件増加の54件であった。そのうち、患者に影響するレベル2は前年度と同様7件であった。転倒転落の報告数が最も多いが、今年度は薬剤関連の割合が増加した。転倒転落は、看護部報告の30%台を占めているが、転倒転落発生率は2.2%レベル3b以上の発生率は0.04%と減少した。高齢者や認知機能低下の患者が多い中、身体拘束解除の取り組み、カンファレンスでの対策検討、離床センサー機器が有効であったと考える。

第1回医療安全研修会は、地域医療安全推進センター長 石川雅彦先生の“記録の不備”に関わる事例の未然防止！-発生要因の“見える化”から考える防止対策のeラーニング、第2回は「医療ガスについて」臨床工学室長「当院における医療安全 患者誤認対策について」医療安全管理者のDVD視聴研修を延べ39回実施した。

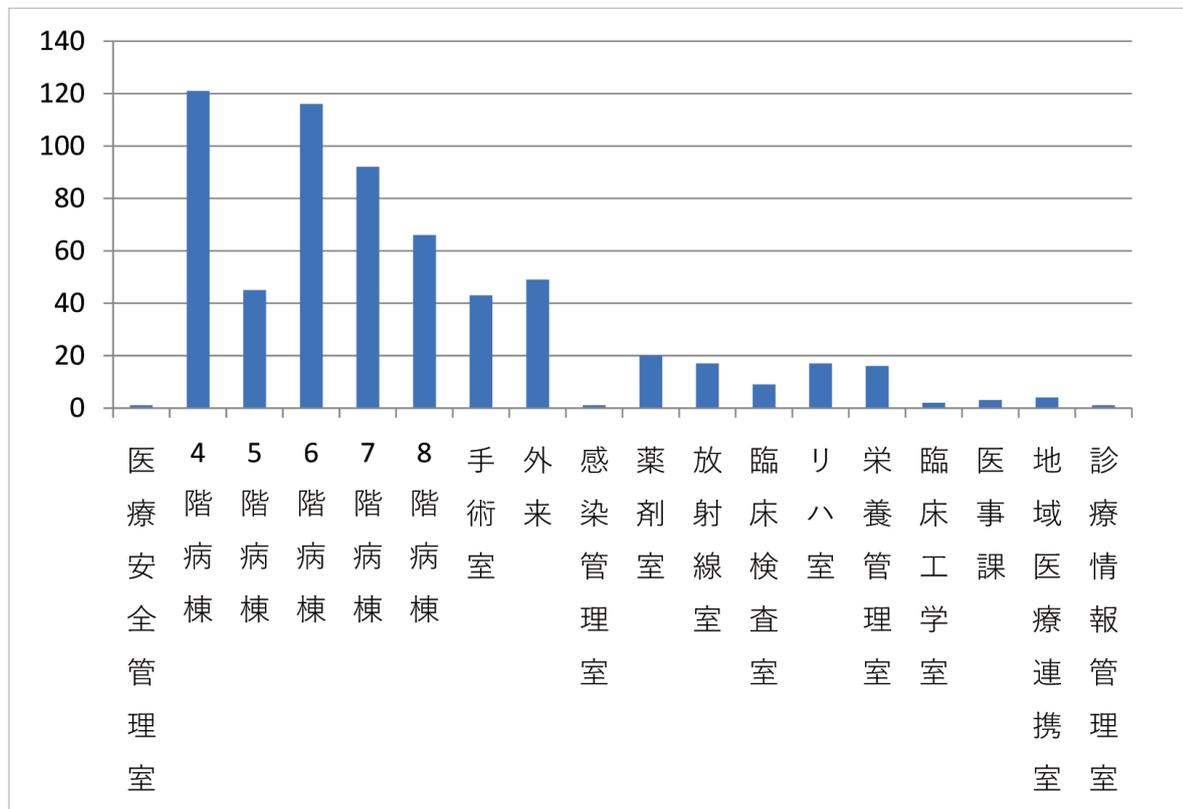
### 年度別 インシデント・アクシデント報告数



2022年度インシデント・アクシデント報告内容



2022年度インシデント・アクシデント報告部署



#### 4. 評価

今年度インシデント・アクシデント報告は623件と増加した。インシデント・アクシデント発生要因の多くは、確認不足であり、確認をするというルールを遵守していないことである。職員一人一人の意識を上げ行動につなげるかが課題である。また、インシデント報告をもとに、他職種との意見交換や、業務改善への協力を依頼した。事故防止には多職種連携は必要である。それぞれの業務の理解に努め協力していくことを継続する。





# 医療技術部門

# 薬剤室



## 概要

薬剤室 人員 9名（薬剤師8名 薬剤助手1名）  
 薬剤室長：山下 崇 主任：佐竹 香織 中本 晴美 他 6名

## 1. 薬剤室の目標

薬剤室は薬剤師8名と助手1名、バブル世代と、ゆとり世代の2極化したメンバーで構成されている。年の差はあるものの、皆が自分の意見を言いやすいオープンな職場環境をめざしている。

現在は2交代制により、院内に必ず薬剤師が常駐し、365日24時間の対応が可能である。

薬剤師は医薬品全般の幅広い知識を持つ「薬」の専門家である。臨床現場において薬剤師が必要とされ、チーム医療の中心的役割を担えるよう、常に研鑽に努めている。

また、医療費抑制のための後発医薬品の採用推進や、多剤併用による有害事象を防ぐためのポリファーマシー対策にも積極的に取り組んでいる。

薬剤室の目標として、以下の3つの基本方針を掲げている。

「薬物療法における安全確保と質の向上、病棟業務の推進を行う」

「チーム医療における薬剤師の役割を十分に発揮する」

「医薬品安全使用の推進を図り、安心される薬物治療を進める」

## 2. 業務報告

### ★調剤・注射

外来調剤はほぼ100%院外処方であり、調剤薬局からの疑義紹介に対応している。令和2年より全国的に発生した医薬品供給不足問題（主に後発医薬品）を調剤薬局と連携、協力し、患者の不利益にならないよう対応中である。

入院患者の調剤、全ての持参薬鑑別を行っている。

注射調剤は専門カートを使用し、個人別にセットして病棟へ払い出している。

### ★高カロリー輸液無菌調製

クリーンルーム内で無菌的に行い感染防止に努めている。

★がん化学療法の参画

レジメン管理、処方監査、無菌調製、化学療法委員会、薬薬連携講演会の開催など、薬剤師主体で行っている。レジメンに基づいた投与スケジュール・投与量・検査値、処方薬などを、必ず3人の薬剤師がチェックした上で、ミキシングを行っている。外来ケモの患者さんには、投与スケジュール、副作用状況などを記載した情報提供書を作成して調剤薬局へ伝達している。

#### ★薬物血中濃度モニタリング

測定結果をもとに解析・投与計画を行い、医師にフィードバックしている。

#### ★薬剤管理指導（病棟業務）

病棟ごとに担当薬剤師を配置して、服薬指導、配置薬管理、スタッフへの情報提供などを行っている。（病棟業務加算は人員不足のため一時中断中）

調剤支援システムにより、効率的な指導管理を行っている。

#### ★一般製剤

皮膚科用薬、耳鼻科用薬、染色液など、要望に応じて特殊な処方の調製を行っている。

#### ★医薬品管理

毎月1回薬事審議会を開催し、新規医薬品の採用、取り消し、後発医薬品への切り替え等について審議している。月末には在庫の棚卸、配置薬の期限切れチェックを行って、過剰在庫を防ぎ、品質管理に努めている。また、毎月、期限切迫薬剤リストを作成し医師に使用促進を行っている。近年の医薬品供給不安定状態においても医薬品確保に全力で取り組んでいる。

#### ★医薬品情報

DI担当者は、毎月「薬剤室からのお知らせ」を発行し、薬事委員会の報告、DIニュース（副作用報告、添付文書改訂、最新の医薬品供給不安定情報など）を掲載している。

#### ★専門性、チーム医療への貢献

NST、褥瘡対策、ICT、化学療法、緩和ケア、認知症ケアなど多くの委員会に参加し、回診にも同行し、専門的立場から助言、提案をしている。糖尿病療養指導士は、院内糖尿病教室の運営、糖尿病フェア、患者会の企画、また地域の糖尿病啓蒙活動にも取り組んでいる。

#### ★薬学生長期実務実習の受け入れ

平成25年度から薬学生の実務実習を受け入れている。（令和4年度までに21人の学生受け入れ）病院薬剤師としての役割を理解し、医療の担い手としての自覚や責任感をもった質の高い薬剤師養成に向けて、11週間の指導を行っている。

#### ★地域住民向け啓発活動

小中学生や高齢者、更には地域医療従事者を対象とした講座を行ない、市民の健康と安全のための啓発活動を行っている。

#### ★地域薬剤師会（地域の薬剤師）との連携

院内に設置されたFAXコーナーには薬剤師会の職員2名が常勤しており、処方箋をFAXで調剤薬局へ送っている。これにより事前の薬の準備や配送が可能となり、患者サービス向上に繋がっている。もう1つの利点として、自宅近くの調剤薬局を紹介していただくこともできる。

院内の薬剤師は、調剤薬局からの疑義紹介、トレーニングレポートによる情報提供にも対応し、医師との橋渡しをしている。

また、当薬剤室から毎月1回、飯塚薬剤師会を通して地域の調剤薬局に医薬品情報（新規採用医薬品、採用取り消し医薬品、後発品の切り替え、その他必要な情報）を配信している。

さらに、地域医療従事者を対象とした研修会も積極的に開催している。令和4年度は、当薬剤師3名が演者となり公開セミナーを開催した（詳細は下記参照）。

### 3. 今後の課題と目標

当薬剤師では、一人ひとりが個人の目標を定め、更には施設目標、部門目標を共有し、目標達成に努めている。良い部分を伸ばし、改善すべき点は指導・助言して、業務遂行意欲及び能力の向上を図っている。

冒頭に掲げた薬剤室の3つの目標を念頭に置き、行動につなげる。存在感があり、信頼される薬剤師を目指し、今後も自己研鑽に努める。

### 4. 業務実績

薬剤室統計

#### ◆処方箋発行件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
院内処方	入院	2,475	2,625	2,292	2,291	2,651	2,653	2,716	2,663	3,031	2,805	2,547	2,766	31,515	2626
	外来	187	233	179	228	313	231	173	222	256	237	185	152	2,596	216
院外処方		4,692	4,670	4,892	4,755	4,938	4,943	4,791	4,766	4,698	4,598	4,622	5,072	57,437	4786
院外処方発行率(%)		96.2	95.2	96.5	95.4	94.0	95.5	96.5	95.5	94.8	95.1	96.2	97.1	95.7	95.7

#### ◆注射箋

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
注射箋	入院	2,644	2,890	2,688	2,819	3,425	3,345	2,704	2,543	3,190	2,975	2,314	2,587	34,124	2844
	外来	1,218	1,205	1,130	1,200	1,742	1,557	1,507	1,603	1,651	1,237	1,222	1,231	16,503	1375

#### ◆化学療法件数

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
化学療法	入院	29	21	18	12	33	22	20	27	21	24	17	15	259	22
	外来	47	47	39	39	31	44	48	49	43	42	44	45	518	43
	合計	76	68	57	51	64	66	68	76	64	66	61	60	777	65

#### ◆無菌製剤処理件数

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
無菌製剤処理	6	22	14	7	22	7	10	7	27	33	39	4	198	17

#### ◆院内製剤処理件数

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
院内製剤	10	8	2	10	14	5	7	7	4	3	14	3	87	7

#### ◆持参薬鑑別件数

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
持参薬鑑別	257	275	286	245	296	289	266	276	284	259	258	287	3,278	273

#### ◆後発医薬品使用割合（数量ベース）

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	表示期間	平均
後発医薬品のある先発医薬品の数量	5,334	2,927	3,774	4,641	5,364	4,132	3,361	4,659	5,086	7,177	6,227	4,485	57,169	4764
後発医薬品の数量	48,561	41,432	48,213	56,883	56,152	47,991	46,308	45,331	64,636	55,858	48,752	58,003	618,119	51510
後発医薬品のある先発医薬品の数量＋後発医薬品の数量	53,895	44,359	51,987	61,524	61,516	52,123	49,669	49,990	69,723	63,035	54,979	62,488	675,288	56274
後発医薬品指数(%)	90.1%	93.4%	92.7%	92.5%	91.3%	92.1%	93.2%	90.7%	92.7%	88.6%	88.7%	92.8%	91.5%	91.6%

## 5. 論文・学会発表・講演等

山下 崇

「今後の薬剤部会の展望」

第14回Jadecom学会 2022.10.15～16

中本 晴美

「ワクチンを理解しよう」

地域医療従事者セミナー（Web講演） 2022.11配信

瓜生 啓人

「外来化学療法における薬薬連携～トレーニングレポート報告～」

がん化学療法地域連携研修会 2023.1.16

# 放射線室



## 概要

室長：宮田 憲明  
副室長：香月 美由紀  
主任：坂本 勝己  
技師：10名  
事務：1名

## 1. 放射線室 目標

### 質の高い医療の提供

- 1) 各検査機器による検査・診断の質を向上させ、高度医療を提供する。
- 2) 診療放射線技師として自覚を持ち、技術・知識の向上に努める。
- 3) 各種学会・研修会・勉強会への参加、発表を積極的におこなう。

### 医療安全対策の推進

- 1) 法令を順守する。
- 2) 医療被ばくの低減を常に考える。
- 3) インシデントレポートを共有化し再発防止に努める。

### チーム医療の推進

- 1) 各部門と連携・協働してコミュニケーションをとり、患者中心の医療を提供する。
- 2) 積極的にカンファレンスに参加する。

### 積極的な病院経営への参画

- 1) 常に経営状況を把握し、患者数、検査数を増加することに努める。
- 2) 始業点検・日常業務を的確におこない、装置を安定稼働させ修理費削減に努める。
- 3) 消耗品・医療器材の適正な管理と見直しをおこなう。

### 第三者評価の受審

- 1) ISO9001の認証のために部門で計画・協力をおこなう

## 2. 業務報告

令和4年度放射線室は、診療放射線技師男性7名、女性3名の計10名と午前中事務員1名の体制で業務をおこなった。質の高い医療の提供を目標に掲げ、各検査機器による検査・診断の質を向上させることに努めている。7月にはマンモグラフィ装置を更新しトモシンセシス撮影（3D）が可能となった。また急性期機能の充実を目的として救急部が設置されたことを受け救急室専用のポータブル装置を導入した。

第204回国会において「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が成立し、診療放射線技師が実施可能な業務範囲が拡大された。法律改正に伴う告示研修を全員が修了し、医師の業務負担軽減、検査待ち時間対策、検査スループット向上のため静脈路確保に取り組んだ。

検査件数は、乳腺外科患者の増加で装置を更新した乳房検査が増加した。RI検査の増加は、紹介患者の骨シンチグラフィによるものである。CT検査、MR検査は前年より若干減少した。

## 3. 今後の課題と目標

画像診断機器の進歩は、現在の医療の領域においては欠かすことのできないものである。より高度化した画像診断機器を、患者に適応することが可能な施設も、急速に増加している。これらの画像診断機器を用いるための適正な放射線技術を遂行する使命が診療放射線技師には課されている。診療放射線技師として自覚を持ち、技術・知識の向上に努めることにより高度画像診断機器を円滑、安全に使用し、医療にさらなる貢献をしたいと思う。

また医師の働き方改革におけるタスク・シフト／シェアにも引き続き取り組む。

## 4. 業務実績

### 放射線室統計

	R2	R3	R4
総数	31207	32472	32213
単純撮影	16757	16682	16671
下肢全長	576	611	546
乳房撮影	341	437	550
骨密度検査	1419	1710	1607
ポータブル撮影	2612	2929	3047
CT検査	6782	7455	7223
MR検査	2678	2594	2483
RI検査	42	54	86

### うち医療連携紹介検査件数

	R2	R3	R4
総数	733	750	826
CT検査	325	340	404
MR検査	386	381	364
RI検査	22	29	58

### 放射線室統計

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単純撮影	R4	1370	1392	1327	1256	1390	1295	1378	1343	1502	1430	1392	1596	16671
	R3	1346	1185	1428	1348	1373	1337	1351	1390	1516	1454	1333	1621	16682
	R2	1068	1179	1400	1366	1294	1456	1499	1450	1603	1406	1293	1743	16757
下肢全長	R4	46	50	46	52	41	41	50	51	32	50	33	54	546
	R3	52	46	47	50	44	56	42	61	37	55	55	66	611
	R2	24	31	67	48	47	58	47	50	54	44	33	73	576
乳房撮影	R4	37	23	39	47	42	51	49	51	50	63	49	49	550
	R3	19	19	39	34	29	41	55	44	38	37	34	48	437
	R2	15	12	18	21	24	21	42	48	56	29	26	29	341
骨密度検査	R4	128	126	146	125	152	149	98	128	145	133	121	156	1607
	R3	133	126	157	151	149	128	123	132	144	133	156	178	1710
	R2	83	94	143	120	137	131	96	108	112	97	131	167	1419

ポータブル等	R4	219	222	242	196	287	281	256	244	272	284	274	270	3047
	R3	277	272	291	236	267	209	208	193	195	226	262	293	2929
	R2	239	256	235	197	183	237	230	196	207	205	191	236	2612
CT検査	R4	562	566	582	540	701	629	615	608	645	621	564	590	7223
	R3	601	585	575	605	647	643	620	601	610	621	685	662	7455
	R2	453	508	566	580	549	581	617	549	605	615	516	643	6782
MR検査	R4	222	220	240	208	202	203	210	196	192	193	201	196	2483
	R3	230	203	220	201	208	196	210	228	228	221	201	248	2594
	R2	147	186	253	224	208	214	304	250	229	215	185	263	2678
RI検査	R4	7	7	5	6	10	3	7	6	7	12	8	8	86
	R3	4	1	5	3	4	5	4	4	6	5	3	10	54
	R2	3	3	4	3	3	1	2	5	5	2	7	4	42

## 5. 論文・学会における発表・講演等

### 1) 宮田 憲明

第8回福岡県診療放射線技師会学術大会 2022.6.19 アクロス福岡  
シンポジウム「告示研修への取り組み」 シンポジスト

### 2) 宮田 憲明

第14回JADECOCOM学術大会 2022.10.16 砂防会館  
放射線部会学術発表 座長

### 3) 宮田 憲明

令和4年度九州地域放射線技師研修会 2022.12.10 NCサンプラザ天文館  
テーマ討論「告示研修に関する現状」 講演

### 4) 宮田 憲明

筑豊地区診療放射線技師会 第2回学術研修会 2022.12.14 Web  
「タスクシフト／シェアにおける業務拡大への取り組み」 発表

### 5) 宮田 憲明

神奈川県放射線管理士部会 2022年度放射線管理講習会 2023.3.11 Web  
「タスクシフト／シェアにおける業務拡大への取り組み」 講演

### 6) 宮田 憲明

令和3年厚生労働省告示第273号研修(告示研修) ファシリテータ

### 7) 香月 美由紀

筑豊地区診療放射線技師会 第2回学術研修会 2022.12.14 Web  
「タスクシフト／シェアにおける業務拡大への取り組み」 発表

### 8) 香月 美由紀

令和3年厚生労働省告示第273号研修(告示研修) ファシリテータ

### 9) 小谷 博文

筑豊地区診療放射線技師会 第3回筑豊地区学術研修会 2023.3.15 Web  
「動画撮影対応AeroDRTX m01 (動画回診撮影) について」 発表

# 臨床検査室



## 概要

臨床検査室：人員11名  
 臨床検査部長：出口 智弘  
 臨床検査室長：庄野 寿喜  
 主任技師：村瀬 紗智子  
 主任技師：渡邊 美幸 他8名

## 1. 臨床検査室目標

検体や患者様の身体から得られた検査情報を迅速かつ正確に付加価値を付けて提供し、患者様が安全で安心して検査を受けて頂く環境作りを目指します。

- ①迅速かつ正確で診療に即した付加価値の高い検査情報を提供する。
- ②診療支援に努め、患者に貢献できるチーム医療を目指す。
- ③最新の検査技術と知識の向上に努め各検査部門での専門技師の育成を目指す。
- ④臨床検査業務の効率よい運営と経費削減に努める。

## 2. 業務報告

業務形態は2交代で日勤の業務配置を検体検査部門（5名）、生理検査部門（6名）に分かれて運用している。検体検査部門はさらに生化学・一般・血液・輸血・免疫と病理検査および微生物検査に分けられる。午前中は外来患者様の生化学・一般・血液・輸血・免疫検査を主に行い、午後からは病理検査と微生物検査にそれぞれ1名技師を当てている。2020年度からCOVID-19のPCR検査導入に伴い栄研化学のLAMP法と緊急および夜勤帯用として日水のsmart geneを導入し、鼻咽頭ぬぐいの検体採取も積極的に行った。馴れないPCR検査で結果の解釈や報告に苦勞することがあったが、担当医師やスタッフの協力があり乗り切ることが出来た。2022年からは救急部の新設に伴いATⅢ、プロカルシトニン、CK-MB、乳酸の検査項目を院内検査とした。

生理部門は心電図・ABI・CVR-R、トレッドミル運動負荷試験、ホルター心電図、肺機能（肺活量・努力性肺活量・残気量・肺拡散能・気管支可逆試験）、超音波（心臓・腹部・血管・乳腺・甲状腺・泌尿器・

表在)、脳波、神経伝導時間、尿素呼気試験、心像カテーテル検査を行っている。生理部門は全員が一通りの検査をできる様に訓練し夜勤や日直時の緊急超音波検査も積極的に行っている。COVID-19感染者の入院時心電図検査も技師で行った。

夜勤業務で病棟検査業務を行うことにより医師が出勤したときには検査結果が出ているので治療方針に貢献できると思われる。

### 3. 今後の課題と目標

#### ○検体部門課題について

尿定性分析器、凍結切片作製器および微生物分析器は15年以上使用しているために機器の不具合や検査結果の信頼性に支障をきたすことが考えられる。輸血部門は検体数の増加に伴い検査機器の購入や輸血システムの導入をお願いしている。

#### ○生理部門課題について

使用できる超音波機器が少ないため患者様の待ち時間や造影検査および緊急の検査を直ぐに行うことが出来ない。また、システムが無いため紙運用や電子カルテにスキャンしているために紛失や結果の閲覧に手間がかかる。

#### ○目標

経験年数10年未満の技師が半数を占めているので専門性の高い養育を行い認定試験等の取得を目指す。事故防止や待ち時間の短縮、他部門のスタッフの手間を省くために輸血システムや生理検査システムおよび微生物システムの導入を図りたい。COVID-19で使用しているPCRの機器はTB-PCR、DC、マイコプラズマ、百日咳菌等に使用し迅速加算等を取れる様に収益に貢献できるようにしたい。また、検査依頼が多い項目や緊急性が高い検査項目に関しては積極的に院内検査としていきたい。

### 4. 業務実績

		4月	5月	6月	7月*	8月	9月	10月	11月	12月	1月*	2月	3月	合計
生化学検査	入院	8970												8970
	外来	27800												27800
	合計	36770	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36770
免疫・血清検査	入院	198												198
	外来	1997												1997
	合計	2195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2195
薬物濃度	入院	6												6
	外来	3												3
	合計	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
血液検査	入院	1136												1136
	外来	2804												2804
	合計	3940	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3940
凝固検査	入院	303												303
	外来	974												974
	合計	1277	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1277
尿一般検査	入院	179												179
	外来	991												991
	合計	1170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1170
糖検査	入院	123												123
	外来	1095												1095
	合計	1218	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1218

血液ガス検査	入院	67												67
	外来	86												86
	合計	153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153
穿刺液検査	入院	14												14
	外来	0												0
	合計	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
輸血検査	入院	77												77
	外来	111												111
	合計	188	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	188
外注検査	入院	159												159
	外来	741												741
	合計	900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	900
ECG	入院	33												33
	外来	407												407
	合計	440	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	440
トレッド	入院	2												2
	外来	2												2
	合計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ホルター	入院	0												0
	外来	0												0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エコー検査	入院	55												55
	外来	282												282
	合計	337	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	337
その他の生理検査	入院	3												3
	外来	96												96
	合計	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99
一般細菌・塗抹検査	入院	50												50
	外来	18												18
	合計	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68
一般細菌・培養同定	入院	86												86
	外来	38												38
	合計	124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	124
感受性1菌種	入院	23												23
	外来	6												6
	合計	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
感受性2菌種	入院	6												6
	外来	2												2
	合計	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
感受性3菌種以上	入院	1												1
	外来	0												0
	合計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
結核菌・塗抹	入院	4												4
	外来	0												0
	合計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
結核菌・培養	入院	4												4
	外来	0												0
	合計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
細胞診検査	入院	48												48
	外来	32												32
	合計	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
組織検査	入院	6												6
	外来	6												6
	合計	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12

総計	入院	11553	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11553
	外来	37491	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37491
	合計	49044	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49044

\* 職員検診あり

検体数

2022												2023			
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
114	135	124	155	128	158	162	170	152	140	119	128	125	117	101	129

入院患者月別MRSA保菌患者分布

項目	集計/報告方法	2022年 1685件												2023年			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
MRSA保菌者数	当月に分離されたMRSA検出患者総数	0	2	2	3	4	1	2	1	0	1	2	0	0	0	1	2
新規	当月に分離された新規MRSA検出患者総数	0	2	2	2	3	1	2	1	0	0	2	0	0	0	1	1
既検出	当月に分離されたMRSA検出患者総数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入院患者延べ数	毎日24時現在の在院患者数 + その日の退院患者数の一ヶ月の合計	5228	5049	5774	5085	5149	5021	5057	5480	5486	5154	5042	5832	5792	4919	5271	
保菌率	MRSA保菌数/入院患者数*100	0	0.03	0.03	0.06	0.07	0.02	0.04	0.02	0	0.02	0.04	0	0	0	0.02	
合計検体数	当月の提出検体数	15	38	43	33	30	33	21	20	19	18	26	19	19	23	29	19
分離率	当月のMRSA保菌者数/合計検体数*100	0	5.3	4.6	9.1	10	3	9.5	5	0	6	8	0	0	0	3.4	10.5
提出患者数	当月の分離培養実施患者数	9	18	25	18	22	25	15	13	14	13	10	10	12	15	18	11
検出率	当月のMRSA保菌者数/提出患者数*100	0	11.1	8	16.6	13	4	13	7.7	0	8	2	0	0	0	12.5	18.2
MSSA保菌者数	当月に検出されたMSSA検出患者数	0	1	0	1	0	1	0	2	1	1	0	3	3	1	0	1
MRSA率	MRSA保菌者/S.aureus保菌者*100	0	33	0	75	100	20	0	30	0	50	100	0	0	0	100	33
ABR耐性数	アルベカシン耐性MRSA保菌数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耐性率		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 入院患者その他の耐性菌検出状況

項目	集計/報告方法	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
P.aeruginosa (緑膿菌)	P.aeruginosa 検出患者数を 報告	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	IPM耐性 P.aeruginosa 検出患者数を 報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	P.aeruginosa (MDRP)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
S.pneumoniae (肺炎球菌)	S.pneumoniae 検出患者数を 報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	S.pneumoniae (PRSP)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Enterobacter ESBL	ESBL検出患者 数を報告	2	2	1	0	1	4	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2
	CRE患者数 を報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Acinetobacter spp	Acinetobacter spp検出患者数 を報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	A.baumannii検 出患者数を報 告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MDRA検出患 者数を報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
serratia spp	serratia marcescensを 報告	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

2022

2023

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
4 階 病 棟	MRSA		2(1)	1(1)	1	1(1)	1		3(1)	2	1	1(1)	1	1			1(1)
	IPM耐性P.aeruginosa																
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL	2(1)		1	4	2(1)			5		1	1	2	2			1(1)
	CRE																
	MDRA																
5 階 病 棟	MRSA																
	IPM耐性P.aeruginosa																
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL		1(1)	1(1)						1(1)		1					
	CRE																
MDRA																	

6階病棟	MRSA				1	1(1)								1			
	IPM耐性P.aeruginosa																
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL				1	2(2)		1									1
	CRE																
	MDRA																
7階病棟	MRSA	1	1	2(1)	3(1)	2(1)		2(1)		3		3(1)					1
	IPM耐性P.aeruginosa																
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL	2	3	3		1		5	3(1)		1	3		1	1		
	CRE																
	MDRA																
8階病棟	MRSA		1(1)		2(1)	1(1)		1(1)			1		1			1	1(1)
	IPM耐性P.aeruginosa																
	P.aeruginosa (MDRP)																
	S.pneumoniae (PRSP)																
	ESBL	1(1)	1(1)	1			2(2)				2(2)						
	CRE																
	MDRA																

検出患者数を表記しています。

		2022												2023			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
CD TOX	件数	1	1	2	1	4	5	8	3	3	1	6	4	4	5	0	2
	抗原 (+)	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
	トキシン (+)	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	件数	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	陽性	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
インフルエンザ	件数	4	4	2	0	0	0	0	0	2	1	0	21	37	83	57	46
	A陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	25	6	1
	B陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
尿中肺炎球菌	件数	3	5	3	19	13	10	5	7	1	8	6	0	5	0	3	4
	陽性	1	0	0	3	5	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
尿中レジオネラ抗原	件数	2	5	0	5	1	1	2	4	1	4	3	0	4	0	0	1
	陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コロナウイルス LAMP法	件数	608	668	640	438	430	501	830	707	469	394	460	499	470	375	352	245
	陽性	44	122	67	43	49	41	152	179	60	18	74	137	87	9	3	0
	保留	5	4	2	1	0	0	1	2	1	1	0	1	8	1	0	1
コロナウイルス PCR (院内)	件数	119	142	106	124	154	135	216	230	218	160	158	225	217	134	162	106
	陽性	4	22	6	4	5	7	32	52	8	11	18	34	38	3	9	0
	保留									3	2	1	1	7	3	1	1
コロナウイルス PCR (外注)	件数	16	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陽性	13	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コロナ抗原定性	件数																139
	陽性																1
血液培養		359															
検体数		25	28	25	34	27	33	42	40	33	30	20	22	28	20	16	30
陽性数		5	2	4	2	3	7	6	6	6	7	2	4	4	5	6	1
陽性率 (%)		20	7	16	6	11	21	14	15	18	23	10	18	14	25	38	4
2セット提出数		23	25	18	30	25	32	40	40	33	26	18	20	26	20	16	27
2セット提出率 (%)		90	89	72	88	93	97	95	100	100	90	90	91	92	100	100	90

## 5. 論文・学会発表・講演等

森永朱音

「当院のCOVID-19対応における臨床検査室の役割」第14回JADECOM学術大会

末晴菜

「糖尿病療養指導士会活動報告」第13回JADECOM学術大会

足立晃一

「ホルムアルデヒド暴露リスク低減化にむけて」第12回JADECOM学術大会

庄野寿喜

「シックデイ」「筑豊糖尿病療養指導士会について」2018年～ 福岡県・佐賀県糖尿病療養指導士会

# リハビリテーション室



## 概要

室長：宇佐波 政輝

副室長：林 秀樹

主任：5名

理学療法士：23名 作業療法士：17名 言語聴覚士：5名 視能訓練士：2名

支援（事務）：1名

リハビリテーション科は診療部門に登録医が3名、内1名は回復期病棟専従医師であり、訓練部門については理学療法士24名、作業療法士17名、言語聴覚士5名、助手等3名で構成されています。スタッフ配置に関しては回復期病棟に25名（PT、OT、ST）、一般・包括病棟、外来部門担当に22名（PT、OT、ST）を配置しています。リハビリテーションの施設基準では疾患別リハビリテーション料について脳血管リハビリテーション料Ⅰ、運動器リハビリテーション料Ⅰ、呼吸器リハビリテーション料Ⅰ、廃用症候群リハビリテーション料、癌リハビリテーション料を算定しています。また、回復期リハビリテーション入院料Ⅰ、地域包括ケア病棟入院料Ⅱを算定しています。

## 診療科の特色

内科、外科、整形外科、脳神経内科などの様々な診療科よりリハビリ依頼を受け対応しております。全体の6割が整形外科からの依頼であることが特色と思われれます。大腿骨転子部骨折、頸部骨折及び人工骨頭置換術、脊椎圧迫骨折、変形性膝関節症における骨切り術や人工膝関節、上腕骨骨折、橈、尺骨骨折等の多岐にわたる疾患に外科的治療に加え、後療法としてリハビリをほぼ全患者に行っています。脳血管疾患についても急性期から回復期へとシームレスなリハビリを行い自宅などへの退院が可能となる様に対応しております。また、癌リハビリテーション研修修了者に関して、PT、OT、ST含め13名配置しており、予防、回復、維持、緩和などの様々なフェーズに応じた癌患者のリハビリにも対応しております。

## 今後の目標

救急科の増設により超急性期からのリハビリ介入が可能となる様に他部門との協力体制、スタッフ教育を充実させたいと考えております。また、脳血管疾患の急性期から回復期にかけてコロナ禍前は、入院、外来患者や地域住民に対して健康支援プロジェクトと題し、疾患に対しての予防法や運動指導などを実技

を含む講演会の実施や出張講演会等も行っておりました。今後、コロナの感染状況を鑑みこの取り組み再開したいと思っています。

### 発表・投稿等

投稿者：濱口 翔

「脊椎椎体骨折受傷後の早期リハビリテーションで生じる骨性疼痛に経皮的電気神経刺激（TENS）は有効か？：ケースレポート」

物理療法科学：2022 第29巻 P77-82

# 栄養管理室



## 概要

栄養管理室（所属） 3名

栄養管理室長：古林 美保

主任管理栄養士：堤 千和

管理栄養士：西田 彩華

給食委託：日清医療食品：栄養士 2名、事務 1名、調理師 6名、調理員 6名、洗浄員 8名

## 1. 栄養管理室目標

### <地域連携>

- ・「栄養情報提供書」の作成を継続→地域におけるシームレスな栄養管理を継続して行う

### <多職種連携>

- ・各担当病棟の分野の知識・技術の向上に努める
- 各病棟でのカンファレンス継続。NST広報誌で栄養管理の情報提供
- ・各部門と連携・協働してコミュニケーションとりスキルミックス行う

### <病院経営>

- ・栄養指導件数のUP
- ・算定可能な業務の参画

### <医療安全>

- ・栄養部門の医療安全・感染対策の再構築

### <ISO>

- ・ISO9001の承認継続→栄養部門の役割を把握し必要に応じ業務改善を行う

## 2. 業務報告

### <栄養指導件数>

- ・個人栄養指導 1,188件と昨年より138件増加した。  
内訳として、外来指導は185件で昨年より64件増加。  
増加した要因として、内科医師了解の元、主に包括病棟での糖尿病患者を中心としたフォローアップを

外来で展開したこと。外科医師と相談し消化器手術予定患者を外来時より栄養指導するなど周術期の栄養管理を開始したことが挙げられる。

入院指導は1,003件と昨年より74件増加。

- ・集団指導は71件と昨年より3件減少。うち算定数は4件  
糖尿病患者は包括病棟が多い為、結果算定出来る対象者は少ない。

<褥瘡、NSTラウンド>

52件

<カンファレンス回数>

828件

栄養士は担当病棟制にて、全病棟に参加している。

<医療安全>

発生件数は8件昨年と変わらず。

<栄養情報提供書>

59件

必要に応じて転出先の病院や施設に情報提供している。

<広報活動>

- ・飯塚市報4月「腸内環境とストレスについて」
- ・NST広報誌「がんに対する体液因子とEPA」
- ・連携室だより「入院食イベント“みんなの日曜日”について」

<臨地実習受け入れ>

9名

<資格>

- ・地域糖尿病指導療養士 3名
  - ・病態栄養認定管理栄養士 2名
  - ・日本糖尿病指導療養士 1名
  - ・NST専門療養士 1名
  - ・心不全療養指導士 1名
- 今年度資格取得者は1名、他は更新し継続。

<所属学会>

- ・日本病態栄養学会 3名
- ・日本糖尿病学会 1名
- ・日本静脈経腸栄養学会 1名
- ・日本循環器学会 1名

### 3. 今後の課題と目標

<栄養指導件数の増加>

- ・件数増加として

①退院時に外来指導へ繋げるよう提案継続②外来指導時に必要に応じて継続指導していく③2次性骨折患者の指導強化④糖尿病性腎症重症化2次予防”の担当病院として、医局会などで栄養指導依頼の呼び掛けを行う。⑤心不全患者を掘り起こし医師に栄養指導依頼の呼びかけを行う⑥消化器手術前の栄養管理として外来指導の継続

以上を医師、看護師、コメディカルに協力依頼を呼びかけながら継続、強化していく。

<スキルアップ>

- ・認定資格を取得し栄養指導、栄養介入のレベルアップを図ると共に業務効率を目指す。

学会、WEB研修会の参加励行。栄養室内での勉強会の実施など日々自己研鑽を行う。

＜医療安全＞

- ・マニュアルの見直しを行い、再構築、周知徹底を行う。
- ・異物混入、誤配膳など発生減少を目指す。

委託会社スタッフと話し合いながら再発防止に取り組む。

＜ISO＞

- ・厨房機器の管理表を写真で表示に、修理・点検など“見える化”した管理の徹底を行う。

＜業務改善＞

電子カルテが変わる機会に“約束食事箋”の運用を医師、看護師、コメディカル、委託スタッフとも相談しながら見直しを行う。

- 患者さんの高齢化による業務の多様化、人手不足、食材高騰など業務と経営を考慮しながら見直し改善を目指す。それには“働きやすさ”も配慮し、いかに効率よく運用できるかを、病院栄養士だけではなく委託先とも相談、協力していきながら進めていく。

また、次年度の診療報酬改定を見据えながら、医師、コメディカルと協力し算定可能な業務を準備していけるよう体制を整えていきたい。

#### 4. 業務実績

##### ◆栄養食事指導料

統計区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
栄養士食事指導	外来	16	11	13	13	15	23	14	20	20	16	13	11	185	15.41666667
	入院	96	74	81	71	64	78	79	77	107	92	99	85	1003	83.58333333
	集団	5	8	9	4	5	5	7	0	2	9	10	10	74	6.166666667

#### 5. 論文・学会発表・講演等

＜学会発表＞

- ・栄養改善学会 「地域連携と栄養サマリー」発表

＜講師活動＞

- ・筑豊糖尿病指導療養士講師
- ・九州栄養福祉大学出張講師

＜地域連携＞

- ・公開セミナー「骨粗鬆症における高齢者、生活習慣病との関係」
- ・栄養情報提供書作成 59件

# 臨床工学室



## 概要

臨床工学室：人員 3名  
 臨床工学室長：吉川 康彦  
 主任臨床工学技士：後藤 悠子  
 臨床工学室員：小園 誠也

## 1. 臨床工学室目標

臨床工学室は医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。当院の臨床工学室は平成20年6月から医療機器保守管理を皮切りに現在では手術室を中心とした院内全体の医療機器保守管理と共に臨床支援業務として急性期血液浄化業務、人工呼吸器業務をおこなっています。また、令和4年4月からの医師のタスクシフトシェアにも貢献しています。さらに、生命維持管理装置の操作、保守管理に留まらず、病棟、外来で使用する医療機器・システム及び医療ガス、設備の保守管理にも積極的に関わり安全で質の高い医療を提供しています。

### 臨床工学室の目標

1. 社会への責任、誠実、公正により良い社会に貢献できる医療機関を目指す
2. 患者の視点に立ち、最高品質の医療機器を提供する
3. 価値創造の源泉である職員の成長、ウェルビーイングを実現する

## 2. 業務報告

### 【医療機器保守管理業務】

院内で使用する生命維持管理装置をはじめ手術室管理機器、中央管理機器、分散管理機器がいつも安心して使用できる環境に努めている

### ★主な医療機器管理台数

人工呼吸器 : 6台  
 高流量鼻カニューラ酸素療法 : 1台

除細動器	: 8台
輸液ポンプ	: 42台
シリンジポンプ	: 27台
IABP	: 1台
麻酔器	: 5台
電気メス	: 7台
低圧持続吸引機	: 6台
ネブライザー	: 24台
セントラルモニター	: 6台
ベッドサイドモニター	: 28台
腹腔鏡装置	: 2台
内視鏡装置	: 3台
関節鏡装置	: 2台

## ★保守管理点検

始業点検	2986回
終業点検	1510回
定期点検	271回
日常点検	4376回

## ★中央管理機器稼働率

輸液ポンプ	35.1%
シリンジポンプ	30.3%
ネブライザー	20.2%
低圧持続吸引器	5.4%

## 【臨床技術支援業務】

人工呼吸器管理業務を中心に臨床技術支援を行っている、また急性期血液浄化業務には休日夜間問わず24時間体制で対応している

医師の働き方改革を進めるためのタスクシフトシェアにも貢献している

## ★血液浄化業務

血液濾過透析療法	4症例	計13回
エンドトキシン吸着療法	2症例	計3回
腹水濾過濃縮再静注法	7症例	

★人工呼吸器管理業務 20症例 (内NPPV 7症例)

★高流量鼻カニューラ酸素療法 29症例

★タスクシフトシェア (スコピスト業務) 15症例

## 【医療ガス業務】

★医療ガス実施責任者 医療ガス研修

## 【院内研修】

★人看護師研修

★新規購入機器研修

★救急救命士研修

## 【学会認定資格】

透析技術認定士 1名

## 【所属学会】

日本医療機器学会 1名

- 2022年4月：医師のタスクシフトシェアを開始（内視鏡手術でのスコピスト業務）  
 ISO9001認証プロジェクトへの取り組み開始  
 救急部発足で院内の血液浄化業務の透析設備について計画開始  
 ドクターヘリ運用について  
 高流量鼻カニューラ酸素療法（ネーザルハイフロー）を開始  
 人工呼吸器NKV330購入
- 5月：筑豊地域医療福祉関連支援委員会
- 9月：医工連携フォーラムin飯塚  
 麻酔器ドレーゲルA350購入  
 個人用透析装置 TR3300S 1台購入  
 水処理装置 TW-S 1台購入
- 10月：JADECOM学会 臨床工学部会 発表
- 11月：臨床工学技士1名増員 令和5年度臨床工学技士3名体制へ
- 12月：救急部ドクターヘリ対応開始（ランデブーポイントまで人工呼吸器搬送）  
 手術室地震災害シミュレーション
- 2023年3月：ISO9001認証審査

### 3. 今後の課題と目標

#### 医療機器保守管理業務課題

2022年度臨床工学室スタッフ2名による保守点検回数は始業点検2986、終業点検1510、定期点検271、日常点検4376、総点検数は9143であった。

この点検内容はそれぞれの機器によって、点検方法、点検内容、求められる精度も違い現在は臨床工学室スタッフの経験とスキルに委ねられている部分が多い。

今後は、より安全性を重視し機器毎の精度管理機器を購入し精度管理をさらに充実させ、より生産性を上げることが求められる。

#### 臨床技術支援業務課題

人工呼吸器稼働時に稼働時の安全性と中心に臨床工学技士が見る機械側からの視点で医師への動作環境説明など臨床技術支援が中心となっている。また、外科医師を中心に急性期の血液浄化療法の対応は夜間、休日を問わず対応しているが、今後は救急部からの急性期血液浄化業務にも対応することで症例数の増加を期待し、病棟看護師と共に院内全体の血液浄化療法に対するスキルアップを目指す。

また、今後の展望として心臓カテーテル検査業務、ペースメーカー業務の定着を期待したい。

#### 今後の目標

臨床工学技士としてどの部分の歯車であるのか、またその歯車の強度を維持するためにどのような知識、スキルが必要かを常に考え、どのような場面でも謙虚で沈着冷静に立ち振る舞える人間性と専門性を兼ね備えたスペシャリストを目指す。

## 4. 業務実績

2022年度 中央管理機器 稼働率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
輸液ポンプ	32.59	40.79	32.81	32.45	35.17	34.22	37.64	30.71	36.28	34.64	36.1	37.64	35.11
シリンジポンプ	33.55	24.1	47.02	37.4	43.43	32.27	18.93	26.27	32.83	25.97	25.77	24.96	30.28
ネブライザー	21.23	19.31	23.36	25.51	18.66	15.72	21.72	17.74	17.52	23.84	16.98	19.65	20.13
低圧持続吸引機	5.34	0.26	0	7.35	0.39	4.51	2.28	17.03	9.25	0	3.26	14.48	5.37

## 5. 論文・学会発表・講演等

【学会発表】

吉川康彦

第14回JADECOM学術学会 2022/10/15～16

「イノベーション推進室が取り組む医工連携について」



# 事務部門

## 事務部（総務・会計・医事）



### 概要

事務部（総務・会計・医事）所属職員

事務部長：1名、総務課9名、会計課4名、医事課10名

### 1. 目標及び主な業務内容

#### 1) 総務課

総務課の部門別目標は、次の6つを掲げています。

- ①積極的に依頼に応えるよう努力し、組織に信頼され、必要とされる部署を目指す
- ②法律、規程等を遵守し、確たる根拠のある業務を行う
- ③各部門とコミュニケーションを密にとり多職種連携を図る
- ④病院の掲げる目標に対して事務職員として積極的に参画する
- ⑤IT化の推進し病院全体の業務負担減、超過勤務削減に取り組む
- ⑥職員がやりがいをもって、楽しく働ける環境を目指す

主な業務内容は、人事、給与、各種保険の手続き、健康管理等のほか庶務業務と幅広く行っています。

#### 2) 会計課

会計課は総務課長が併任しており、目標としては総務課と同様の目標を掲げていました。

主な業務内容は、経理業務、機器・診療材料や一般物品の購入、委託業者の契約、設備関係等多岐にわたります。

#### 3) 医事課

医事課の部門別目標は、次の4つを掲げています。

- ①ISO9001の維持を目指し業務標準化に取り組み無駄・無理のないよう業務効率化を進め査定率の年間平均0.5%以内を目指す。時間外労働時間の削減し、月間30時間以内を目指す。
- ②施設基準に注意を払い、新規の届出又は上位施設基準主取得及び算定件数増加を目指す。
- ③保留、返戻を早期に再請求を行う。
- ④医師課内は、もとより他部署ともそれぞれの立場を理解し尊重する。

## 2. 業務報告

### 1) 総務課

令和4年度はペーパーレス化を推進するため、給与明細の電子化、出勤簿のイントラネット管理、大型モニターを導入し、ペーパーレスの委員会開催の推進を行いました。

令和4年度は、地域医療支援病院の申請、第三者評価のISOの受審、敷地内ヘリポートの整備など病院のプロジェクトについて、事務職員として参画して参りました。

### 2) 会計課

毎年行っている医療機器等の予算編成のための部門別ヒアリングを見直し、次年度の計画だけでなく、中長期計画を各部署提案するように内容を変更しました。中長期的に各部署が抱える人事計画や機器の更新計画等を把握することができたと考えています。診療材料費の削減についても委託業者と協力し、削減の可視化を図り、削減に努めました。その他、費用削減について、エレワイズという室外機のデマンド制御システムを提案し、導入することとなりました。

### 3) 医事課

最初に地域医療支援病院の評価基準である紹介率、逆紹介率の維持については、毎日職員へ前日の数字を公表し意識づけを行い、開業医訪問や逆紹介の支援を行って参りました。

地域医療体制確保加算については、救急部とともに救急搬送件数の報告、消防本部の定期訪問等で基準の確保に努めました。

次に令和4年度は、新たな施設基準として、二次性骨折予防継続管理料、在宅療養後方支援病院の施設基準を取得した。また、上位の施設基準として外来腫瘍化学療法診療料1、検体検査管理加算Ⅱ、一般病棟入院基本料1を取得した。

## 3. 今後の課題

### 1) 総務課

業務効率化、IT化を推進し、時間外労働の削減を課題としています。2024年の医師の働き方改革に向けて、医師の労働時間の把握のため打刻の徹底、自己研鑽の整理、外勤の正確な把握などの課題に取り組む予定です。

### 2) 会計課

固定資産の管理について、実査を強化し、管理を強化することを課題としています。将来計画として電子カルテの更新、CTやMRI等の大型医療機器の更新計画を策定し、計画的に更新を行うことが課題と考えています。

### 3) 医事課

査定率の対策について、特に外来の査定率が高い傾向にあるため病名漏れ対策としてレセプトチェックソフト等のカスタマイズを行い、また診療科毎に査定された理由を明確に分析し、医師とともにどのような詳記を記載すれば復活可能かについて検討したい。債権管理が現状不十分であるため、今後一元化を行い見える化を図る。

# 地域医療連携室



## 概要

地域医療連携室所属職員

室長 1 名、副室長 2 名、係長 1 名、入院専従看護師 1 名、社会福祉士 6 名、事務員 1 名

## 1. 目標及び主な業務内容

当院の窓口として地域の医療機関・施設との連携を深めること、入外問わず相談を受けることで、地域のみなさまが適切な医療を受けられるようにすることを念頭に業務をおこなっている。主な業務は病床管理、入院調整、退院支援、受診及び医療福祉相談、発熱外来予約・相談、在宅療養後方支援登録者管理、紹介・逆紹介管理、医療従事者セミナーの企画運営、地域医療連携室ニュースの作成での広報活動、5ブロック地域包括ケア拠点病院としての活動である。

令和4年度目標

- 1) 地域医療機関との連携を強化し、紹介率50%以上逆紹介率70%以上とする
- 2) 退院支援の充実を図り、受け入れ医療機関、地域住民の信頼を得る
- 3) 患者受け入れ、地域住民に貢献する

## 2. 業務報告

1) 紹介率50%以上、逆紹介70%以上をキープするため、地域医療連携ニュースと医療従事者セミナーを毎月、企画運営し、紹介情報の依頼や逆紹介の確認等をおこなった。また、紹介患者受け入れ用紙を作成し、聞き取ることで診療情報提供書を待たずに受け入れることができるようにした。在宅療養後方支援登録を8月から開始し、190名前後の登録ができ、18名入院、診療所との連携が取れるようになり、紹介、逆紹介の増加にもつながった。各診療科の協力もあり、紹介率 54.6% 逆紹介率71%と達成した。

地域貢献としての5ブロック地域包括ケアシステム協議会の研修会企画はコロナ禍のため、ZOOM講演とし、1回目は在宅見取りをテーマに「在宅・施設での看取りを支える(実践編)」を飯塚病院連携・緩和ケア科 柏木秀行先生に、2回目は認知症サポートをテーマに「認知症の方々が住み慣れた地域で生きていくためには。在宅機能居宅介護施設について」飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター室長PSW江藤 関巳様と看護小規模多機能あいおす、看護師・認知症ケア専門士神宮淳子様を依頼し、それぞれ参加者は98名、68名参加であった。

5 ブロック災害前医療介護連携会議にも積極的に参加し、令和5年度開始予定となった。

2) 入退院支援において週2回の入退院支援カンファレンスと計画書の作成をおこない、入退院支援加算1として1358件取得した。介入数より実際が少ないため、後半より電話での対応と看護師にも協力を得るようにした。

3) 病床管理についてはコロナ禍での混乱と救急患者受け入れ増加により、救急の不应需の増加が問題となった。経営戦略会議に参加し、医師・各病棟師長・主任の協力のもと入院患者の他院調整の可視化や病院全体の病床利用について話し合い、2023年度より入退棟会議を毎週開催するようになった。

発熱外来予約については1802件（救急対応に切り替えた場合は含まず）多い月は290件ほどあり、お断りや相談件数はその4～5倍程度と考えられ、周辺の医療機関から電話がつかないという苦情があった。任意のPCR検査は393件であり、任意PCRは院内患者が感染しないように地域医療連携室スタッフが駐車場まで検体の受け渡し、受け取りもおこなった。

### 3. 今後の課題

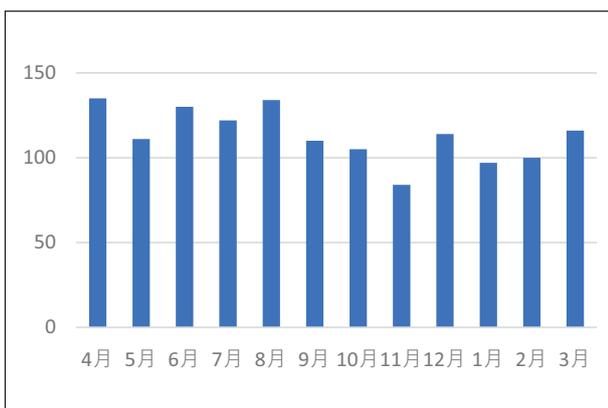
地域医療支援病院の機能を果たすために、地域医療連携室の担う当院の窓口機能と入退院支援部門の強化が必要となる。

救急患者、紹介患者の受け入れができる病床管理を入退棟会議と日々の調整でおこない、地域医療機関からの紹介患者の速やかな受け入れと地域の医療機関と地域住民からの更なる信頼の確保ができるように多職種が協働して、退院支援ができるように看護部、社会福祉士、事務それぞれのスキルのアップが必要である。そのためにMSWラダーを開始し、地域医療連携室でのリフレクション、入退院支援チームで病棟の退院支援の強化、前方支援者の医療知識の強化をおこなっていく。

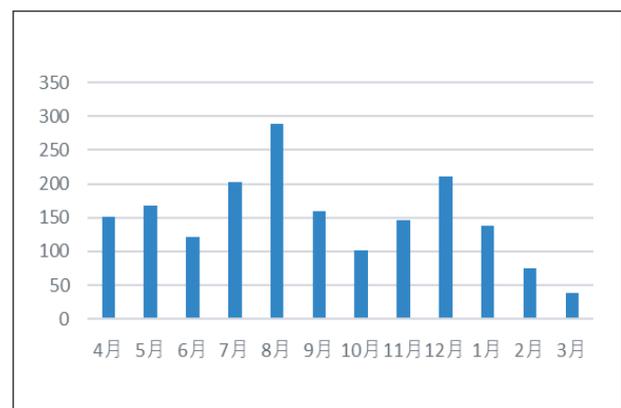
### 4. 業務実績

令和4年度 紹介・逆紹介件数														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
紹介件数	404	367	373	379	478	477	482	431	444	416	398	480	5,129	427.4
紹介率 (地域医療支援病院用)	51.1%	46.6%	48.9%	48.1%	51.0%	64.2%	64.9%	56.4%	55.6%	58.5%	54.8%	58.0%	54.6%	
逆紹介件数	416	438	458	381	456	445	444	379	390	439	431	462	5,139	428.3
逆紹介率 (地域医療支援病院用)	67.9%	71.8%	76.2%	62.2%	59.8%	76.3%	77.9%	62.1%	66.9%	78.8%	77.7%	79.1%	71.0%	

退院支援加算算定件数



発熱外来予約患者数



# 診療情報管理室



## 概要

診療情報管理室：2名（診療情報管理士2名）  
 診療情報管理室 室長補佐：竹内 悠子  
 室員：1名

## 1. 診療情報管理室 目標

入院診療録の点検および記載指導の根拠となるマニュアルの整備を進め、正確で内容の充実した記録となるような情報提供およびサポートを行いながら、監査の定期的な実施に取り組んでいきます。

## 2. 業務報告

診療情報管理室は診療記録・診療情報を適切に管理・運用・保管し、病院内外における診療情報活用の支援を行う部署として、診療情報管理士2名で行っています。

主な業務内容として、

- ①診療録および諸記録（レントゲンフィルム・心電図・超音波など）の貸出・返却
- ②診療録記載内容の質的・量的点検
- ③退院時要約の管理
- ④ICD-10による疾病統計の作成
- ⑤全国がん登録
- ⑥診療情報の開示
- ⑦DPC（診断群分類別包括支払形式）様式1の作成および病名コーディング確認
- ⑧NCD（National Clinical Database）/JOANR（Japanese Orthopaedic Association National Registry）登録などを行っています。

また令和4年度の取り組みとして、ISO9001（品質マネジメントシステムに関する国際規格）の認証に向け、規程・手順書・様式などを整備し仕組みの構築を行った。

また、その規程・手順書に基づいて実際に運用を行なうことにより、業務内容を見直しや整備を行うことができた。

### 3. 今後の課題と目標

今後の課題としては、ICD-10からICD-11への改訂に向けて、知識向上のため研修会への参加や院内での研修会を取り組んでいきます。

※ICDとは…世界保健機関（WHO）が作成している病気の分類

### 4. 業務実績

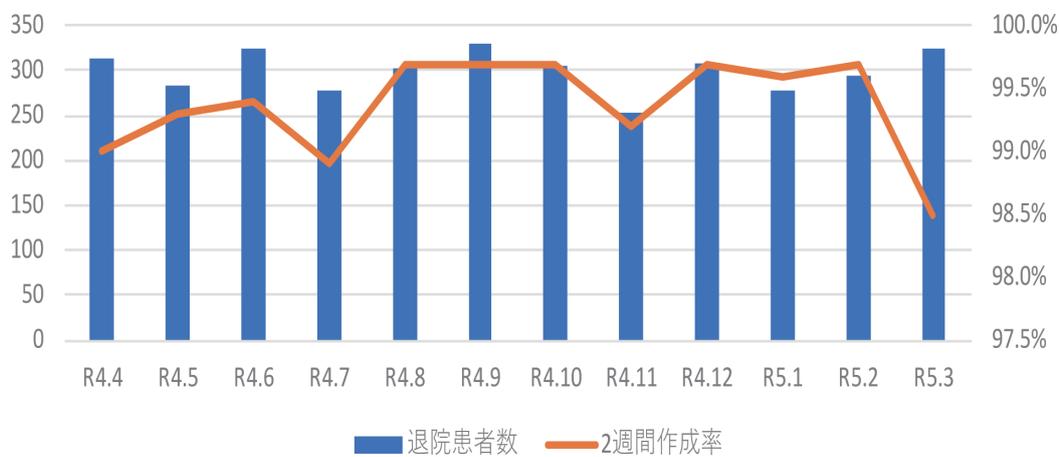
【診療情報管理室統計/手術・麻酔・内視鏡実績 参照】

●退院時要約 2 週間以内作成率

令和 4 年度退院時要約 2 週間以内作成率

	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	計
院時患者数	315	284	326	278	303	330	306	254	308	227	294	324	3599
2 週間作成率	99.0%	99.3%	99.4%	98.9%	99.7%	99.7%	99.7%	99.2%	99.7%	99.6%	99.7%	98.5%	99.4%

令和 4 年度 退院時要約作成率



### 外来OP含む

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
令和 4 年	245	225	254	190	220	252	253	198	210	213	237	242	2,739	228.3
令和 3 年	195	183	220	212	212	201	230	224	214	220	218	260	2,589	215.8
令和 2 年	175	96	239	229	222	261	250	213	216	208	164	240	2,513	209.4

### 診断群分類別退院患者数

統計区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
神経系疾患		5	5	3	5	3	10	2	3	3	3	6	48	4.4
眼科系疾患	54	43	68	58	38	35	39	36	35	24	42	56	528	44.0
耳鼻咽喉科系疾患		2	4	4	3	4	4	1	5	3	2	1	33	3.0
呼吸器系疾患	15	16	10	12	13	22	17	23	19	19	15	15	196	16.3
循環器系疾患	14	13	9	13	6	10	12	11	7	11	12	14	132	11.0
消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患	67	58	59	46	56	70	65	56	60	47	59	56	699	58.3
筋骨格系疾患	8	4	9	7	6	7	4	6	5	10	8	9	83	6.9
皮膚・皮下組織の疾患	1	2	4	1	1	5	2		1	2	4		23	2.3
乳房の疾患	5	4	4	1	1	6	4	2	5	6	7	8	53	4.4
内分泌・栄養・代謝に 関する疾患	2	1	1	1	6	4	3	2	2	1	3	2	28	2.3

腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	3	7	7	7	8	6	11	9	9	7	6	5	85	7.1
女性生殖器系疾患及び産 褥期疾患・異常妊娠分娩														
血液・造血器・免疫臓器の疾患	1	1	1	1	2	4	1	2	1		2	4	20	1.8
新生児疾患、先天性奇形 小児疾患		1		2	2					1		1	7	1.4
外傷・熱傷・中毒	21	19	26	14	21	22	29	15	24	16	19	23	249	20.8
精神疾患								1					1	1.0
その他			2	1		2			1				6	1.5

## 5. 論文・学会発表・講演等

### 1) 竹内 悠子

「ICD-11の我が国における普及・教育に資する研究」への研究班への参加  
(厚生労働科学研究費補助金研究事業)

# 情報システム管理室



## 概要

情報システム管理室 1名  
室長 古川 佐知子

## 1. 情報システム管理室 目標

電子カルテシステム更新作業にあたり、問題なくスムーズに完了するように取り組む。

- ①マスタの取りまとめは、旧データを使用し、できるだけ各部署の負担を減らすように工夫する。
- ②運用は、1つの部署へ負担がかからないよう、WG(ワーキング)で話し合い、検討していく。
- ③手順書や議事録等、ドキュメントの管理は、しっかり行い、履歴を残す。
- ④操作研修は、予定を立ててしっかりと行い、業務の混乱を避ける。
- ⑤電子カルテシステムと部門システムが、問題なく連携できるように対応する。
- ⑥データ移行は、職員が困らないように、電子カルテメーカー及び部門システムメーカーと打ち合わせ、提案していく。

## 2. 業務報告

2022年度は、サイバー攻撃や災害に備え、電子カルテの障害対策マニュアルを改訂した。

医療情報システム委員会へ電子カルテの障害対策マニュアル案を作成して議題にあげ、各部署持ち帰ってそれぞれ確認し、承認された。

今後は、電子カルテの障害対策マニュアルをBCPへ組み込み、定期的な訓練を提案する。

また、サイバー保険にも加入し、ウイルス定義ファイルの更新や電子カルテのUTM(Unified Threat Management：統合脅威管理)として使用しているFortiGateのバージョンアップを、今後も気を付けながら継続して行う。

## 3. 今後の課題と目標

全ての職員が業務を効率的に、また、安全に病院情報システムを運用できることを目指す。

病院情報システムを運用していく中で、問題は出てくる。

今後も、その度に医療情報システム委員会で共有し、話し合っていく。

電子カルテの障害については、電子カルテメーカーに修正依頼を継続して行う。

電子カルテの使い勝手については、セキュリティと隣り合わせであり、厚生労働省の定めた医療情報システムの安全管理に関するガイドラインを常に意識する。

電子カルテのセキュリティについては、地域医療振興協会 情報システム部 電子カルテ課に相談しながら医療情報システム委員会へ提案していく。



# 診療統計

## ■ 主な事業活動

### (1) 事業実績

#### ① 診療体制の強化

- ・ 関係大学より救急専門医を招聘、令和4年度より救急部を発足し救急科を標榜
- ・ 令和4年6月、急性期一般入院料1へ類上げ
- ・ 令和4年11月、二次性骨折予防継続管理料1の施設基準を新規届出
- ・ 新型コロナウイルス感染症重点医療機関の役割を継続
- ・ 新型コロナウイルス感染症受入れ病床は県の確保計画に応じ最大13床まで対応
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業、発熱外来の対応を継続

#### ② へき地診療所への代診医派遣の実施

#### ③ 飯塚地区病院群輪番制への参加

#### ④ 飯塚地区消防本部との救急連絡会の実施

#### ⑤ 飯塚地区消防署との症例検討会の実施

#### ⑥ 飯塚地区消防署の救急隊実習受け入れ（10名）

#### ⑦ 自治医科大学卒業後の地域医療従事指定公立病院として、福岡県より常勤医師2名研修受け入れ

#### ⑧ 臨床実習受け入れ

- ・ 看護科学生：108名      ・ 理学・作業・言語科学生：8名
- ・ 薬学部学生：2名      ・ 管理栄養士：8名

#### ⑩ 糖尿病教室の開催      平日院内で実施

#### ⑪ 看護週間 健康相談等の実施

- ・ 院内イベント（感染対策について）を実施

#### ⑫ 地域医療従事者公開セミナーのWeb公開（1回/月）

### (2) 保健予防活動の実施

#### 各種予防接種の実施

#### インフルエンザ等予防接種を実施（令和4年度実績）

- ・ インフルエンザ等予防接種：4,146件（うち、インフルエンザ799件）

#### 基本型接種施設として新型コロナワクチン予防接種を実施（令和4年度実績）

- ・ 新型コロナワクチン接種：2,568件

### (3) 施設整備実績

#### ① 発熱外来改修工事一式

他 21項目

### (4) 医療機器整備

#### ① デジタル式乳房X線撮影装置（放射線室）

他 65項目

### (5) その他

第三者評価としてISO9001の認証を取得

## 入院患者統計

### 1. 入退院患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延患者数	5,085	5,149	5,021	5,057	5,480	5,486	5,154	5,042	5,832	5,792	4,919	5,271	63,288	5,274.0
1日平均	169.5	166.1	167.4	163.1	176.8	182.9	166.3	168.1	188.1	186.8	175.7	170.0	173.4	—
入院患者数	291	298	297	283	319	309	300	262	299	290	271	305	3,524	293.7
退院患者数	308	274	320	275	299	321	305	248	305	271	291	322	3,539	294.9

### 2. 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
内科	1,956	1,842	1,802	1,952	2,204	1,816	1,486	1,533	2,128	2,385	1,585	1,585	22,274	1,856.2
小児科	4	2	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	14	1.2
外科	618	554	596	563	517	584	520	482	539	466	462	466	6,367	530.6
整形外科	2,237	2,474	2,389	2,315	2,315	2,514	2,477	2,565	2,716	2,438	2,468	2,730	29,638	2,469.8
脳神経内科	109	115	89	124	174	134	177	118	279	302	207	212	2,040	170.0
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	202	333	370	230	72	104	99	170	1,580	131.7
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
乳腺外科	53	50	23	10	9	15	7	10	11	31	37	48	304	25.3
皮膚科	4	1	8	0	1	22	9	0	0	0	2	0	47	3.9
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
眼科	54	49	62	58	42	36	46	44	34	35	52	60	572	47.7
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
リハビリ科	50	62	52	28	16	31	62	60	53	31	7	0	452	37.7
全科合計	5,085	5,149	5,021	5,057	5,480	5,486	5,154	5,042	5,832	5,792	4,919	5,271	63,288	173.4

### 3. 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
内科	65.2	59.4	60.1	63.0	71.1	60.5	47.9	51.1	68.6	76.9	56.6	51.1		61.0
小児科	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
外科	20.6	17.9	19.9	18.2	16.7	19.5	16.8	16.1	17.4	15.0	16.5	15.0		17.4
整形外科	74.6	79.8	79.6	74.7	74.7	83.8	79.9	85.5	87.6	78.6	88.1	88.1		81.2
神経内科	3.6	3.7	3.0	4.0	5.6	4.5	5.7	3.9	9.0	9.7	7.4	6.8		5.6
脳神経外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
救急科	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	11.1	11.9	7.7	2.3	3.4	3.5	5.5		4.3
呼吸器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
乳腺外科	1.8	1.6	0.8	0.3	0.3	0.5	0.2	0.3	0.4	1.0	1.3	1.5		0.8
皮膚科	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		0.1
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
眼科	1.8	1.6	2.1	1.9	1.4	1.2	1.5	1.5	1.1	1.1	1.9	1.9		1.6
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
リハビリ科	1.7	2.0	1.7	0.9	0.5	1.0	2.0	2.0	1.2	1.0	0.3	0.0		1.2
全科合計	169.5	166.1	167.4	163.1	176.8	182.9	166.3	168.1	188.1	186.8	175.7	170.0		173.4

4. 科別平均在院日数 (単月) (一般病棟)

年度	R04												合計	月平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
診療科稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
内科	15.5	15.7	14.5	13.0	13.3	13.2	12.7	14.7	16.0	16.8	13.1	13.4		14.4
小児科	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.8
外科	9.2	8.8	7.2	11.2	8.7	7.1	9.1	11.1	11.1	9.6	8.0	7.5		8.9
整形外科	16.8	16.8	16.3	19.0	17.7	16.1	13.7	21.4	17.3	16.0	17.3	15.0		16.8
脳神経内科	19.4	11.8	2.7	8.7	8.0	37.0	14.3	5.0	17.6	20.8	24.8	36.4		16.2
脳神経外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
救急科					9.6	11.0	16.6	22.2	17.3	7.1	9.0	14.2		12.5
呼吸器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
乳腺外科	7.3	7.5	8.0	0.0	4.5	2.7	2.0	5.5	2.2	5.2	5.7	4.3		4.9
皮膚科	1.0	1.0	8.0	0.0	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0		3.5
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
眼科	0.0	1.0	1.0	1.3	1.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9		1.1
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
リハビリ科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
全科平均在院日数	13.9	13.9	12.8	13.8	12.6	11.9	12.3	16.0	15.1	14.5	12.4	12.4		13.4
一般病棟平均在院日数 (回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を除く)	13.7	13.5	12.8	13.7	12.4	11.8	12.1	15.8	15.1	14.4	12.2	12.2		13.2

※防災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より回復期リハビリテーション病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

※平成28年1月1日より地域包括ケア病棟施設基準届出のため、平均在院日数を一般病棟より除外

5. 地区別入院患者数

年度	R04												合計	月平均	率 (全患者に対する)
地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	
飯塚市	3,541	3,704	3,668	3,613	3,723	3,775	3,732	3,725	4,364	4,350	3,831	4,176	46,202	3,850.2	73.0%
(旧飯塚市)	1,948	1,959	2,012	2,071	1,946	2,082	2,239	1,972	2,125	2,275	1,978	2,296	24,903	2,075.3	39.3%
(旧穂波町)	911	1,061	1,008	885	1,054	901	716	890	1,012	1,042	945	1,021	11,446	953.8	18.1%
(旧筑穂町)	378	328	293	241	283	297	271	307	596	433	433	498	4,358	363.2	6.9%
(旧庄内町)	154	222	181	267	238	344	329	336	324	298	277	225	3,195	266.3	5.0%
(旧穎田町)	150	134	174	149	202	151	177	220	307	302	198	136	2,300	191.7	3.6%
嘉麻市	892	788	716	775	912	1,070	826	717	791	587	433	557	9,064	755.3	14.3%
(旧稲築町)	293	309	311	415	376	509	348	284	287	242	183	233	3,790	315.8	6.0%
(旧碓井町)	153	63	82	99	193	181	111	112	239	163	103	81	1,580	131.7	2.5%
(旧嘉穂町)	275	257	199	162	237	187	224	234	114	59	127	213	2,288	190.7	3.6%
(旧山田市)	171	159	124	99	106	193	143	87	151	123	20	30	1,406	117.2	2.2%
嘉穂郡	371	430	343	332	284	243	233	383	366	421	298	281	3,985	332.1	6.3%
桂川町	371	430	343	332	284	243	233	383	366	421	298	281	3,985	332.1	6.3%
鞍手郡	7	46	55	44	70	61	77	116	104	122	45	37	784	65.3	1.2%
小竹町	7	46	55	44	56	52	77	116	104	113	45	37	752	62.7	1.2%
鞍手町					14	9				9			32	10.7	0.1%
宮若市	74	93	86	70	50	48	57	16	74	95	84	73	820	68.3	1.3%
(旧宮田町)	42	62	56	39			47	16	69	81	44	26	482	48.2	0.8%
(旧若宮町)	32	31	30	31	50	48	10		5	14	40	47	338	30.7	0.5%
田川郡	27	17	17	82	176	95	77	16	39	69	56	75	746	62.2	1.2%
香春町					30	12	48	3	18	31		10	152	21.7	0.2%
添田町	27				14	8	2	13				12	76	12.7	0.1%
福智町				19	67	7	8		9	2	9	7	128	16.0	0.2%

糸田町		17		1					11				29	9.7	0.0%
川崎町				24	43	59	19		1	36	45	46	273	34.1	0.4%
大任町			6	8	14	9					2		39	7.8	0.1%
赤村			11	30	8								49	16.3	0.1%
糟屋郡	5	0	12	3	7	1	28	4	26	9	0	3	98	8.2	0.2%
宇美町			4									3	7	3.5	0.0%
篠栗町	5		8	3	7	1	28	4	26	9			91	10.1	0.14%
志免町													0		0.0%
須恵町													0		0.0%
新宮町													0		0.0%
久山町													0		0.0%
粕屋町													0		0.0%
朝倉郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2	18	1.5	0.0%
筑前町													0		0.0%
東峰村											16	2	18	9.0	0.0%
直方市	36	11	29	34	4		31	7	37	50	35	6	280	25.5	0.4%
田川市	25	13	49	49	108	133	45	51	24	55	84	29	665	55.4	1.1%
北九州市		4	30	31	41	24	35						165	27.5	0.3%
福岡市	1		3	10	13	33	13	7	7	31	19		137	13.7	0.2%
久留米市													0		0.0%
中間市	35	11		12										19.3	0.1%
古賀市	12		2											7.0	0.0%
朝倉市													0		0.0%
その他県内	14	1		2	65					1	4	32		17.0	0.2%
その他県外	45	31	11		27	3				2	14		133	19.0	0.2%
合計	5,085	5,149	5,021	5,057	5,480	5,486	5,154	5,042	5,832	5,792	4,919	5,271	63,288	5,274.0	100.0%

## 6. 性別・年齢別入院患者数

年度 R04

年齢・性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	(全患者に対する)
男性(0~10歳)	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	22	27	2.3	0.0%
(11~20歳)	41	6	32	6	25	21	16	15	8	0	6	3	179	14.9	0.3%
(21~30歳)	71	6	3	0	10	6	12	0	8	0	6	6	128	10.7	0.2%
(31~40歳)	39	52	44	28	50	75	62	58	72	21	23	13	537	44.8	0.8%
(41~50歳)	95	78	66	163	99	116	110	59	63	71	53	79	1,052	87.7	1.7%
(51~60歳)	78	175	122	121	93	80	78	102	92	98	87	61	1,187	98.9	1.9%
(61~70歳)	372	366	436	371	261	282	225	304	322	346	363	407	4,055	337.9	6.4%
(71~80歳)	482	458	386	526	640	636	474	508	755	793	776	875	7,309	609.1	11.5%
(81~90歳)	511	452	312	253	513	657	465	384	576	487	418	506	5,534	461.2	8.7%
(91歳~)	210	105	152	188	131	89	150	94	59	189	107	152	1,626	135.5	2.6%
男性合計	1,899	1,698	1,554	1,656	1,823	1,963	1,592	1,525	1,955	2,006	1,839	2,124	21,634	1,802.8	34.2%
女性(0~10歳)	0	0	0	7	0	2	0	0	0	0	0	0	9	0.8	0.0%
(11~20歳)	7	1	3	0	1	1	0	0	0	14	6	1	34	2.8	0.1%
(21~30歳)	4	1	0	1	23	42	2	0	10	4	3	0	90	7.5	0.1%
(31~40歳)	0	21	0	36	9	19	16	10	17	0	7	21	156	13.0	0.2%
(41~50歳)	17	11	16	33	18	47	60	59	23	32	5	3	324	27.0	0.5%
(51~60歳)	84	93	110	117	179	191	186	173	158	196	189	182	1,858	154.8	2.9%
(61~70歳)	316	331	274	363	424	436	453	418	584	540	413	401	4,953	412.8	7.8%
(71~80歳)	611	780	795	925	999	912	908	947	1,081	1,214	986	746	10,904	908.7	17.2%
(81~90歳)	1,248	1,272	1,332	1,237	1,401	1,383	1,237	1,152	1,255	1,054	888	1,256	14,715	1,226.3	23.3%
(91歳~)	899	941	937	682	603	490	700	758	749	732	583	537	8,611	717.6	13.6%
女性合計	3,186	3,451	3,467	3,401	3,657	3,523	3,562	3,517	3,877	3,786	3,080	3,147	41,654	3,471.2	65.8%
合計	5,085	5,149	5,021	5,057	5,480	5,486	5,154	5,042	5,832	5,792	4,919	5,271	63,288	5,274	100.0%

7. 病棟別患者数

年度 R04

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
4階病棟 (50)	1,007	1,013	909	902	1,086	1,050	1,023	951	1,080	1,133	867	913	11,934	994.5
5階病棟 (50)	1,114	1,279	1,258	1,246	1,036	1,144	1,332	1,268	1,296	1,156	1,197	1,273	14,599	1,216.6
6階病棟 (50)	1,039	1,032	991	803	1,077	1,209	1,011	1,080	1,194	1,155	1,056	1,129	12,776	1,064.7
7階病棟 (50)	764	696	768	880	1,056	832	709	903	1,024	1,046	703	753	10,134	844.5
8階病棟 (50)	1,161	1,129	1,095	1,226	1,225	1,251	1,079	840	1,238	1,302	1,096	1,203	13,845	1,153.8
合計	5,085	5,149	5,021	5,057	5,480	5,486	5,154	5,042	5,832	5,792	4,919	5,271	63,288	5,274.0

※ ( ) は許可病床数

8. 病棟別1日平均患者数

年度 R04

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
4階病棟 (50)	33.6	32.7	30.3	29.1	35.0	35.0	33.0	31.7	34.8	36.5	31.0	29.5		32.7
5階病棟 (50)	37.1	41.3	41.9	40.2	33.4	38.1	43.0	42.3	41.8	37.3	42.8	41.1		40.0
6階病棟 (50)	34.6	33.3	33.0	25.9	34.7	40.3	32.6	36.0	38.5	37.3	37.7	36.4		35.0
7階病棟 (50)	25.5	22.5	25.6	28.4	34.1	27.7	22.9	30.1	33.0	33.7	25.1	24.3		27.8
8階病棟 (50)	38.7	36.4	36.5	39.5	39.5	41.7	34.8	28.0	39.9	42.0	39.1	38.8		37.9
全病棟 (250)	169.5	166.1	167.4	163.1	176.8	182.9	166.3	168.1	188.1	186.8	175.7	170.0		173.4
全病棟平均	33.9	33.2	33.5	32.6	35.4	36.6	33.3	33.6	37.6	37.4	35.1	34.0		34.7
一般病棟 (150)	93.7	88.4	88.9	83.4	103.8	103.0	88.5	97.8	106.4	107.5	93.8	90.2		95.5

※ ( ) は許可病床数

9. 病棟別平均在院日数

年度 R04

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
4階病棟 (50)	33.6	32.7	30.3	29.1	35.0	35.0	33.0	31.7	34.8	36.5	31.0	29.5		32.7
5階病棟 (50)	37.1	41.3	41.9	40.2	33.4	38.1	43.0	42.3	41.8	37.3	42.8	41.1		40.0
6階病棟 (50)	34.6	33.3	33.0	25.9	34.7	40.3	32.6	36.0	38.5	37.3	37.7	36.4		35.0
7階病棟 (50)	25.5	22.5	25.6	28.4	34.1	27.7	22.9	30.1	33.0	33.7	25.1	24.3		27.8
8階病棟 (50)	38.7	36.4	36.5	39.5	39.5	41.7	34.8	28.0	39.9	42.0	39.1	38.8		37.9
全病棟 (250)	169.5	166.1	167.4	163.1	176.8	182.9	166.3	168.1	188.1	186.8	175.7	170.0		173.4
全病棟平均	33.9	33.2	33.5	32.6	35.4	36.6	33.3	33.6	37.6	37.4	35.1	34.0		34.7
一般病棟 (150)	93.7	88.4	88.9	83.4	103.8	103.0	88.5	97.8	106.4	107.5	93.8	90.2		95.5

※ ( ) は許可病床数

※労災・自賠・自費及び生活保護患者は、平均在院日数に含めない。転科・転棟も含めない。

※平成27年2月1日より5階病棟は、回復期リハビリテーション病棟として届け出たため、一般病棟平均在院日数より外す。

10. 病棟別平均病床利用率

年度 R04

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
4階病棟 (50)	67.1%	65.4%	60.6%	58.2%	70.1%	70.0%	66.0%	63.4%	69.7%	73.1%	61.9%	58.9%		65.4%
5階病棟 (50)	74.3%	82.5%	83.9%	80.4%	66.8%	76.3%	85.9%	84.5%	83.6%	74.6%	85.5%	82.1%		80.0%
6階病棟 (50)	69.3%	66.6%	66.1%	51.8%	69.5%	80.6%	65.2%	72.0%	77.0%	74.5%	75.4%	72.8%		70.0%
7階病棟 (50)	50.9%	44.9%	51.2%	56.8%	68.1%	55.5%	45.7%	60.2%	66.1%	67.5%	50.2%	48.6%		55.5%
8階病棟 (50)	77.4%	72.8%	73.0%	79.1%	79.0%	83.4%	69.6%	56.0%	79.9%	84.0%	78.3%	77.6%		75.9%
全病棟平均病床利用率	67.8%	66.4%	66.9%	65.3%	70.7%	73.1%	66.5%	67.2%	75.3%	74.7%	70.3%	68.0%		69.4%
一般病棟利用率 (150)	62.4%	58.9%	59.3%	55.6%	69.2%	68.7%	59.0%	65.2%	70.9%	71.7%	62.5%	60.1%		63.6%
全病棟平均病床稼働率	71.9%	70.0%	71.2%	68.8%	74.6%	77.4%	70.4%	70.5%	79.2%	78.2%	74.4%	72.2%		73.2%

※ ( ) は許可病床数

## 外来部門（他科診患者除く）

### 1. 外来患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
延患者数	7,371	7,272	7,759	7,658	7,834	7,848	7,566	7,304	7,330	7,267	7,339	8,041	90,589	7,549.1
1日平均	368.6	382.7	352.7	382.9	356.1	392.4	378.3	365.2	366.5	382.5	386.3	365.5	372.8	—
新規患者数	350	338	298	416	465	342	319	344	285	303	287	259	4,006	333.8
初診患者数	926	969	955	1,009	1,219	976	867	950	907	904	911	971	11,564	963.7
再来患者数	6,454	6,303	6,804	6,619	6,615	6,872	6,699	6,354	6,423	6,363	6,428	7,070	79,004	6,583.7

※外来延患者数に入院中他科診患者数は含まれません。

※新規患者数とは、新たにIDを取った患者

### 2. 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
内科	1,741	1,657	1,770	1,790	1,816	1,701	1,628	1,680	1,771	1,674	1,539	1,619	20,386	1,698.8
(内科入院中外来)	27	29	19	16	26	30	27	19	22	16	183	161	575	47.9
小児科	104	138	120	152	161	132	133	129	141	83	132	73	1,498	124.8
(小児科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外科	468	475	491	480	545	551	489	495	438	511	577	491	6,011	500.9
(外科入院中外来)	0	6	2	1	3	0	0	3	0	1	1	3	20	1.7
整形外科	1,939	2,056	2,140	2,033	2,045	2,080	1,956	1,933	1,893	1,918	1,925	2,201	24,119	2,009.9
(整形外科入院中外来)	5	6	7	5	11	10	8	1	9	17	5	7	91	7.6
脳神経内科	125	110	136	143	114	126	144	123	123	131	113	143	1,531	127.6
(脳神経内科入院中外来)	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	0	0	5	0.4
脳神経外科	32	49	36	30	42	37	40	43	32	29	32	29	431	35.9
(脳神経外科入院中外来)	0	1	0	0	1	0	2	3	0	1	1	1	10	0.8
救急科	0	0	0	0	86	66	39	49	60	33	39	43	415	34.6
(救急科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
呼吸器外科	20	27	24	25	18	25	21	15	22	11	17	31	256	21.3
(呼吸器外科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.2
乳腺外科	115	98	99	112	92	117	112	109	115	142	121	154	1,386	115.5
(乳腺外科入院中外来)	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4	0.3
皮膚科	685	657	699	690	760	743	684	721	669	674	707	806	8,495	707.9
(皮膚科入院中外来)	17	17	23	22	29	34	19	26	23	23	19	16	268	22.3
泌尿器科	82	78	89	96	115	115	106	106	95	102	102	121	1,207	100.6
(泌尿器科入院中外来)	10	10	9	6	14	16	15	15	18	11	4	11	139	11.6
眼科	1,482	1,336	1,541	1,463	1,405	1,494	1,551	1,396	1,440	1,394	1,396	1,591	17,489	1,457.4
(眼科入院中外来)	9	9	4	5	13	6	4	6	14	11	9	6	96	8.0
耳鼻咽喉科	155	166	170	210	194	239	202	224	206	194	227	272	2,459	204.9
(耳鼻咽喉科入院中外来)	4	4	0	3	5	3	2	7	4	12	6	6	56	4.7
リハビリ科	356	359	379	378	380	345	384	218	261	313	337	389	4,099	341.6
(リハビリ科入院中外来)	1,861	1,998	1,991	1,828	1,827	1,944	1,643	1,361	2,221	2,102	1,641	1,931	22,348	1,862.3
放射線科	67	65	65	56	61	75	75	63	64	54	72	66	783	65.3
(放射線科入院中外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
医療相談	0	1	0	0	0	2	2	0	0	4	3	12	24	2.0
全科合計 (入院中他科診患者を含む)	9,304	9,352	9,816	9,544	9,764	9,894	9,286	8,747	9,642	9,463	9,208	10,184	114,204	9,517.0
入院中他科診患者合計	1,933	2,080	2,057	1,886	1,930	2,046	1,720	1,443	2,312	2,196	1,869	2,143	23,615	1,968
入院中他科診患者を除く合計	7,371	7,272	7,759	7,658	7,834	7,848	7,566	7,304	7,330	7,267	7,339	8,041	90,589	7,549
アンチエイジング	42	46	46	41	50	47	46	48	39	39	42	29	515	42.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数を除いています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 3. 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
内科	87.0	87.2	80.5	87.7	82.5	85.1	81.4	84.0	88.6	88.1	81.0	73.6		83.9
小児科	5.2	7.3	5.5	6.6	7.3	6.6	6.7	6.5	7.1	4.4	8.3	4.3		6.3
外科	23.5	25.0	22.3	24.0	24.8	27.6	24.5	24.8	21.9	26.9	30.4	22.3		24.8
整形外科	96.9	108.2	97.3	101.2	93.0	104.0	97.8	96.7	94.7	100.9	101.3	100.0		99.3
脳神経内科	10.4	9.2	10.5	13.0	8.8	10.5	12.0	10.3	10.3	11.9	10.3	11.9		10.7
脳神経外科	8.0	9.8	9.0	7.5	8.4	12.3	10.0	10.8	8.0	9.7	8.0	7.3		9.1
救急科					3.9	3.3	2.0	2.5	3.0	1.7	2.1	2.0		2.6
呼吸器外科	5.0	6.8	6.0	5.0	4.5	8.3	5.3	3.8	5.5	2.8	4.3	6.2		5.3
乳腺外科	28.8	32.7	19.8	28.0	30.7	29.3	28.0	36.3	28.8	35.5	40.3	30.8		30.7
皮膚科	34.2	34.6	31.8	34.3	34.5	37.2	34.2	36.1	33.5	35.5	37.2	36.6		35.0
泌尿器科	6.8	6.5	6.8	8.6	8.8	9.6	8.8	8.8	7.9	9.3	9.3	10.1		8.5
眼科	74.1	70.3	70.0	72.7	63.9	74.7	77.6	69.8	72.0	73.4	73.5	72.3		72.0
耳鼻咽喉科	12.9	16.6	13.1	16.2	16.2	18.4	16.8	20.4	17.2	16.2	20.6	20.9		17.1
リハビリ科	17.8	18.9	17.2	18.7	17.3	17.3	19.2	10.9	13.1	16.5	17.7	17.7		16.8
放射線科	3.4	3.4	3.0	2.7	2.8	3.8	3.8	3.2	3.2	2.8	3.8	3.0		3.2
医療相談	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
アンチエイジング	2.1	2.4	2.1	2.1	2.3	2.4	2.3	2.4	2.0	2.1	2.2	1.3		2.1

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれない。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 4. 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
小児科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	16	17	235	19.6
外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
整形外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
脳神経内科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9
脳神経外科	4	5	4	4	5	3	4	4	4	3	4	4	48	4.0
救急科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
呼吸器外科	4	4	4	5	4	3	4	4	4	4	4	5	49	4.1
乳腺外科	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	3	5	46	3.8
皮膚科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
泌尿器科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9
眼科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
耳鼻咽喉科	12	10	13	13	12	13	12	11	12	12	11	13	144	12.0
リハビリ科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
放射線科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
医療相談	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
アンチエイジング	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

## 5. 科別初診患者数

年度	R04												合計	月平均
診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
稼働日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	20.2
内科	286	286	273	281	332	250	200	262	277	284	203	226	3,160	263.3
小児科	59	73	61	65	98	66	50	53	65	28	56	26	700	58.3
外科	46	55	60	60	71	69	41	69	49	73	65	55	713	59.4
整形外科	214	236	208	178	231	174	184	190	159	183	202	217	2,376	198.0
脳神経内科	4	1	7	8	4	4	6	2	6	5	7	5	59	4.9
脳神経外科	2	7	6	3	5	7	5	10	5	4	3	6	63	5.3
救急科					77	50	35	41	44	28	31	36	342	
呼吸器外科		1	3	1	3	2	1						11	1.8
乳腺外科	22	10	19	26	25	23	9	10	27	33	19	30	253	21.1
皮膚科	113	123	114	136	176	120	109	103	99	91	105	128	1,417	118.1
泌尿器科	11	9	10	12	20	14	12	18	15	13	17	19	170	14.2
眼科	71	78	98	83	70	79	100	77	57	67	79	86	945	78.8
耳鼻咽喉科	19	32	37	51	46	43	41	52	44	40	57	63	525	43.8
リハビリ科		1	2		2	4	1	1	1	2		1	15	1.7
放射線科	65	56	57	44	59	70	71	62	59	49	64	61	717	59.8
医療相談		1				1	2			4	3	12	23	3.8
全科合計	912	969	955	948	1,219	976	867	950	907	904	911	971	11,489	957.4

※初診外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## 6. 地区別外来患者数

年度	R04												合計	月平均	率
地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
稼働日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	20.2	(全患者に対する)
飯塚市	5,540	5,473	5,812	5,690	5,796	5,918	5,622	5,417	5,433	5,384	5,442	5,943	67,470	5,622.5	74.48%
(旧飯塚市)	2,683	2,651	2,866	2,766	2,849	2,906	2,721	2,714	2,689	2,622	2,753	2,993	33,213	2,767.8	36.66%
(旧穂波町)	1,861	1,894	1,976	1,920	1,952	1,924	1,887	1,751	1,823	1,815	1,817	1,940	22,560	1,880.0	24.90%
(旧筑穂町)	573	503	564	549	597	627	600	557	534	554	478	550	6,686	557.2	7.38%
(旧庄内町)	298	303	273	299	268	330	272	266	271	285	246	305	3,416	284.7	3.77%
(旧穎田町)	125	122	133	156	130	131	142	129	116	108	148	155	1,595	132.9	1.76%
嘉麻市	1,033	1,008	1,107	1,140	1,119	1,113	1,164	1,056	1,093	1,052	1,030	1,217	13,132	1,094.3	14.50%
(旧稲築町)	416	369	462	463	452	460	481	418	464	431	418	486	5,320	443.3	5.87%
(旧碓井町)	227	237	245	240	255	232	232	230	214	220	223	251	2,806	233.8	3.10%
(旧嘉穂町)	271	271	258	284	266	261	294	278	290	289	261	303	3,326	277.2	3.67%
(旧山田市)	119	131	142	153	146	160	157	130	125	112	128	177	1,680	140.0	1.85%
嘉穂郡	531	510	513	507	550	477	470	506	517	484	542	528	6,135	511.3	6.77%
桂川町	531	510	513	507	550	477	470	506	517	484	542	528	6,135	511.3	6.77%
鞍手郡	53	49	64	73	52	61	60	59	53	90	73	75	762	63.5	0.84%
小竹町	52	48	61	70	50	57	58	57	52	89	71	74	739	61.6	0.82%
鞍手町	1	1	3	3	2	4	2	2	1	1	2	1	23	1.9	0.03%
宮若市	26	37	35	48	66	47	51	49	39	65	41	58	562	46.8	0.62%
(旧宮田町)	15	19	20	30	45	28	30	28	24	31	18	29	317	26.4	0.35%
(旧若宮町)	11	18	15	18	21	19	21	21	15	34	23	29	245	20.4	0.27%
田川郡	57	62	82	56	80	61	66	62	60	66	68	62	782	65.2	0.86%
香春町	7	3	8	7	11	2	6	4	7	8	8	5	76	6.3	0.08%
添田町	2	7	16		2	2	3	3	2	5	11	9	62	5.6	0.07%
福智町	23	26	27	16	24	27	22	27	22	28	19	25	286	23.8	0.32%
糸田町	14	12	18	19	15	11	16	8	10	9	5	7	144	12.0	0.16%
川崎町	5	7	6	8	15	10	12	16	12	12	9	10	122	10.2	0.13%
大任町	5	6	3	6	10	5	5	3	3	4	15	6	71	5.9	0.08%
赤村	1	1	4		3	4	2	1	4				21	2.3	0.02%

糟屋郡	15	7	21	10	19	20	14	17	10	7	15	15	170	14.2	0.19%
宇美町	1	2	4		8	2	1	3	1	1	3	2	28	2.5	0.03%
篠栗町	10	5	14	7	10	16	7	12	5	5	12	11	114	9.5	0.13%
志免町							1						1	1.0	0.00%
須恵町									1				1	1.0	0.00%
新宮町			2		1								3	1.5	0.00%
久山町													0		0.00%
粕屋町	4		1	3		2	5	2	3	1		2	23	2.6	0.03%
朝倉郡	0	0	2	1	1	4	2	4	0	0	2	2	18	1.5	0.02%
筑前町				1	1	4	1	4			2	2	15	2.1	0.02%
東峰村			2				1						3	1.5	0.00%
直方市	7	15	16	12	12	14	10	13	14	14	12	11	150	12.5	0.17%
田川市	25	21	23	26	42	44	33	33	22	43	32	29	373	31.1	0.41%
北九州市	8	4	7	9	14	17	14	6	13	6	8	10	116	9.7	0.13%
福岡市	35	36	28	19	23	24	24	12	24	13	24	29	291	24.3	0.32%
中間市	1	1	2		2	1		1	1			1	10	1.3	0.01%
古賀市	1	4	5	2	3		1			1			17	2.4	0.02%
朝倉市										1			1	1.0	0.00%
久留米市	1	1	2	3	4	2	7	7	5	2	3	4	41	3.4	0.05%
その他県内	24	23	24	31	17	28	20	38	22	16	37	34	314	26.2	0.35%
その他県外	14	21	16	31	34	17	8	24	24	23	10	23	245	20.4	0.27%
合計	7,371	7,272	7,759	7,658	7,834	7,848	7,566	7,304	7,330	7,267	7,339	8,041	90,589	7,549.1	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれていません。

### 7. 性別・年齢別外来患者数

年度 R04

年齢・性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3	(全患者に対する)
男性(0～10歳)	90	110	107	116	136	128	110	94	125	89	116	99	1,320	110.0	1.5%
(11～20歳)	77	82	90	103	88	78	90	102	74	84	80	76	1,024	85.3	1.1%
(21～30歳)	38	67	76	59	75	56	59	41	70	59	40	36	676	56.3	0.7%
(31～40歳)	89	84	101	99	119	141	104	91	111	100	106	102	1,247	103.9	1.4%
(41～50歳)	200	231	202	199	221	203	209	186	156	202	178	154	2,341	195.1	2.6%
(51～60歳)	271	256	262	279	307	289	274	251	259	206	239	299	3,192	266.0	3.5%
(61～70歳)	627	619	688	665	698	687	681	666	616	627	568	650	7,792	649.3	8.6%
(71～80歳)	1,110	1,034	1,152	1,183	1,131	1,155	1,092	1,100	1,069	1,122	1,138	1,222	13,508	1,125.7	14.9%
(81～90歳)	512	484	502	518	508	537	534	516	531	462	517	573	6,194	516.2	6.8%
(91歳～)	69	59	44	56	55	48	55	59	44	49	66	42	646	53.8	0.7%
男性合計	3,083	3,026	3,224	3,277	3,338	3,322	3,208	3,106	3,055	3,000	3,048	3,253	37,940	3,161.7	41.9%
女性(0～10歳)	103	76	93	93	115	73	91	105	88	72	108	79	1,096	91.3	1.2%
(11～20歳)	59	74	46	78	86	60	55	47	77	47	50	72	751	62.6	0.8%
(21～30歳)	59	62	57	82	73	54	61	59	73	41	56	58	735	61.3	0.8%
(31～40歳)	78	68	88	83	120	113	84	70	84	81	68	87	1,024	85.3	1.1%
(41～50歳)	174	177	233	193	226	205	146	165	193	179	188	195	2,274	189.5	2.5%
(51～60歳)	301	326	315	288	306	281	298	314	312	309	333	374	3,757	313.1	4.1%
(61～70歳)	809	806	920	833	836	894	788	764	682	766	757	872	9,727	810.6	10.7%
(71～80歳)	1,599	1,507	1,671	1,601	1,539	1,632	1,609	1,452	1,569	1,577	1,564	1,754	19,074	1,589.5	21.1%
(81～90歳)	902	994	935	965	1,011	1,022	1,027	1,032	989	997	992	1,099	11,965	997.1	13.2%
(91歳～)	204	156	177	165	184	192	199	190	208	198	175	198	2,246	187.2	2.5%
女性合計	4,288	4,246	4,535	4,381	4,496	4,526	4,358	4,198	4,275	4,267	4,291	4,788	52,649	4,387.4	58.1%
合計	7,371	7,272	7,759	7,658	7,834	7,848	7,566	7,304	7,330	7,267	7,339	8,041	90,589	7,549.1	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数は含まれていません。

## 外来部門（他科診患者を含む）

### 1. 外来患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
延患者数	9,304	9,352	9,816	9,544	9,764	9,894	9,286	8,747	9,642	9,463	9,208	10,184	114,204	9,517.0
1日平均	465.2	492.2	446.2	477.2	443.8	494.7	464.3	437.4	482.1	498.1	484.6	462.9	470.0	—
新規患者数	350	338	298	416	465	342	319	344	285	303	287	259	4,006	333.8
初診患者数	986	1,060	1,026	1,009	1,268	1,057	932	1,023	990	983	993	1,048	12,375	1,031.3
再来患者数	8,318	8,292	8,790	8,535	8,496	8,837	8,354	7,724	8,652	8,480	8,215	9,136	101,829	8,485.8

※外来延患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※新規患者数とは、新たにIDを取った患者

### 2. 科別患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	20.2
内科	1,768	1,686	1,789	1,806	1,842	1,731	1,655	1,699	1,793	1,690	1,722	1,780	20,961	1,746.8
（内科入院中外来）	27	29	19	16	26	30	27	19	22	16	183	161	575	47.9
小児科	104	138	120	152	161	132	133	129	141	83	132	73	1,498	124.8
（小児科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
外科	468	481	493	481	548	551	489	498	438	512	578	494	6,031	502.6
（外科入院中外来）	0	6	2	1	3	0	0	3	0	1	1	3	20	1.7
整形外科	1,944	2,062	2,147	2,038	2,056	2,090	1,964	1,934	1,902	1,935	1,930	2,208	24,210	2,017.5
（整形外科入院中外来）	5	6	7	5	11	10	8	1	9	17	5	7	91	7.6
脳神経内科	125	110	137	143	115	127	144	123	123	133	113	143	1,536	128.0
（脳神経内科入院中外来）	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	0	0	5	0.4
脳神経外科	32	50	36	30	43	37	42	46	32	30	33	30	441	36.8
（脳神経外科入院中外来）	0	1	0	0	1	0	2	3	0	1	1	1	10	0.8
救急科	0	0	0	0	86	66	39	49	60	33	39	43	415	34.6
（救急科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
呼吸器外科	20	27	24	25	18	25	21	17	22	11	17	31	258	21.5
（呼吸器外科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.2
乳腺外科	115	98	100	112	92	119	112	109	115	142	121	155	1,390	115.8
（乳腺外科入院中外来）	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4	0.3
皮膚科	702	674	722	712	789	777	703	747	692	697	726	822	8,763	730.3
（皮膚科入院中外来）	17	17	23	22	29	34	19	26	23	23	19	16	268	22.3
泌尿器科	92	88	98	102	129	131	121	121	113	113	106	132	1,346	112.2
（泌尿器科入院中外来）	10	10	9	6	14	16	15	15	18	11	4	11	139	11.6
眼科	1,491	1,345	1,545	1,468	1,418	1,500	1,555	1,402	1,454	1,405	1,405	1,597	17,585	1,465.4
（眼科入院中外来）	9	9	4	5	13	6	4	6	14	11	9	6	96	8.0
耳鼻咽喉科	159	170	170	213	199	242	204	231	210	206	233	278	2,515	209.6
（耳鼻咽喉科入院中外来）	4	4	0	3	5	3	2	7	4	12	6	6	56	4.7
リハビリ科	2,217	2,357	2,370	2,206	2,207	2,289	2,027	1,579	2,482	2,415	1,978	2,320	26,447	2,203.9
（リハビリ科入院中外来）	1,861	1,998	1,991	1,828	1,827	1,944	1,643	1,361	2,221	2,102	1,641	1,931	22,348	1,862.3
放射線科	67	65	65	56	61	75	75	63	65	54	72	66	784	65.3
（放射線科入院中外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
医療相談	0	1	0	0	0	2	2	0	0	4	3	12	24	2.0
全科合計 （入院中他科診患者を含む）	9,304	9,352	9,816	9,544	9,764	9,894	9,286	8,747	9,642	9,463	9,208	10,184	114,204	9,517.0
入院中他科診患者合計	1,933	2,080	2,057	1,886	1,930	2,046	1,720	1,443	2,312	2,196	1,869	2,143	23,615	1,968
入院中他科診患者を除く合計	7,371	7,272	7,759	7,658	7,834	7,848	7,566	7,304	7,330	7,267	7,339	8,041	90,589	7,549
アンチエイジング	42	46	46	41	50	47	46	48	39	39	42	29	515	42.9

※各診療科の外来患者数には、入院中他科診患者数が含まれています。（入院他科診患者は下記に再掲）

## 3. 科別1日平均患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	20.2
内科	88.4	88.7	81.3	90.3	83.7	86.6	82.8	85.0	89.7	88.9	90.6	80.9		86.3
小児科	5.2	7.3	5.5	7.6	7.3	6.6	6.7	6.5	7.1	4.4	8.3	4.3		6.4
外科	23.4	25.3	22.4	24.1	24.9	27.6	24.5	24.9	21.9	26.9	30.4	22.5		24.8
整形外科	97.2	108.5	97.6	101.9	93.5	104.5	98.2	96.7	95.1	101.8	101.6	100.4		99.6
神経内科	10.4	9.2	10.5	13.0	8.8	10.6	12.0	10.3	10.3	12.1	10.3	11.9		0.6
脳神経外科	8.0	10.0	9.0	7.5	8.6	12.3	10.5	11.5	8.0	10.0	8.3	7.5		9.2
救急科	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	3.3	2.0	2.5	3.0	1.7	2.1	2.0		1.7
呼吸器外科	5.0	6.8	6.0	5.0	4.5	8.3	5.3	4.3	5.5	2.8	4.3	6.2		5.3
乳腺外科	28.8	32.7	20.0	28.0	30.7	29.8	28.0	36.3	28.8	35.5	40.3	31.0		30.2
皮膚科	35.1	35.5	32.8	35.6	35.9	38.9	35.2	37.4	34.6	36.7	38.2	37.4		36.1
泌尿器科	7.7	7.3	7.5	9.3	9.9	10.9	10.1	10.1	9.4	10.3	9.6	11.0		9.4
眼科	74.6	70.8	70.2	73.4	64.5	75.0	77.8	70.1	72.7	73.9	73.9	72.6		72.4
耳鼻咽喉科	13.3	17.0	13.1	16.4	16.6	18.6	17.0	21.0	17.5	17.2	21.2	21.4		17.5
リハビリ科	110.9	124.1	107.7	110.3	100.3	114.5	101.4	79.0	124.1	127.1	104.1	105.5		108.8
放射線科	3.4	3.4	3.0	2.8	2.8	3.8	3.8	3.2	3.3	2.8	3.8	3.0		3.2
医療相談	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.5		0.1
アンチエイジング	2.1	2.4	2.1	2.1	2.3	2.4	2.3	2.4	2.0	2.1	2.2	1.3		2.1

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

※診療科ごとの診療日数により算出しています。

## 4. 科別診療実日数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
小児科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	16	17	235	19.6
外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
整形外科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
脳神経内科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9
脳神経外科	4	5	4	4	5	3	4	4	4	3	4	4	48	4.0
救急科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
呼吸器外科	4	4	4	5	4	3	4	4	4	4	4	5	49	4.1
乳腺外科	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	3	5	46	1.5
皮膚科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
泌尿器科	12	12	13	11	13	12	12	12	12	11	11	12	143	11.9
眼科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
耳鼻咽喉科	12	10	13	13	12	13	12	11	12	12	11	13	144	12.0
リハビリ科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
放射線科	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
医療相談	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
アンチエイジング	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3

※診療実日数は、診療日が半日、1日に関わらず1日とする。

※入院中リハビリに関しては毎日行っているため、入院実日数とする。

## 5. 科別初診患者数

年度 R04

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	20.2
内科	286	290	273	281	334	252	201	262	277	286	206	226	3,174	264.5
小児科	59	73	61	65	98	66	50	53	65	28	56	26	700	58.3
外科	46	55	60	60	71	69	41	70	49	73	65	56	715	59.6
整形外科	214	236	208	178	232	175	184	190	159	185	202	217	2,380	198.3
脳神経内科	4	1	7	8	4	4	6	2	6	5	7	5	59	4.9
脳神経外科	2	7	6	3	5	7	5	10	5	4	3	6	63	5.3
救急科					77	50	35	41	44	28	31	36	342	
呼吸器外科		1	3	1	3	2	1						11	1.8
乳腺外科	22	10	19	26	25	23	9	10	27	33	19	30	253	21.1
皮膚科	113	124	115	136	177	121	110	104	99	92	106	128	1,425	118.8
泌尿器科	11	10	10	12	20	14	15	18	15	16	17	19	177	14.8
眼科	71	78	99	83	71	79	101	77	57	67	79	86	948	79.0
耳鼻咽喉科	19	32	37	51	46	44	41	52	44	40	58	63	527	43.9
リハビリ科	73	86	71	70	46	80	60	72	84	73	77	77	869	72.4
放射線科	65	56	57	44	59	70	71	62	59	49	64	61	717	59.8
医療相談		1				1	2			4	3	12	23	3.8
全科合計	985	1,060	1,026	1,018	1,268	1,057	932	1,023	990	983	993	1,048	12,383	1,031.9

※初診外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## 6. 地区別外来患者数

年度 R04

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	20.2	(全患者に対する)
飯塚市	6,908	6,968	7,304	7,053	7,161	7,344	6,816	6,429	7,060	7,020	7,000	7,612	84,675	7,056.3	74.14%
(旧飯塚市)	3,454	3,476	3,774	3,575	3,544	3,698	3,443	3,194	3,411	3,468	3,632	3,967	42,636	3,553.0	37.33%
(旧穂波町)	2,185	2,315	2,366	2,250	2,408	2,347	2,094	2,026	2,171	2,167	2,218	2,320	26,867	2,238.9	23.53%
(旧筑穂町)	725	630	676	653	694	686	689	668	848	761	609	727	8,366	697.2	7.33%
(旧庄内町)	372	383	320	375	364	461	405	344	370	396	337	418	4,545	378.8	3.98%
(旧穎田町)	172	164	168	200	151	152	185	197	260	228	204	180	2,261	188.4	1.98%
嘉麻市	1,388	1,321	1,446	1,369	1,479	1,546	1,504	1,302	1,418	1,313	1,147	1,481	16,714	1,392.8	14.64%
(旧稲築町)	517	499	599	569	588	740	658	511	630	542	441	589	6,883	573.6	6.03%
(旧碓井町)	332	268	263	252	305	262	269	273	267	304	273	307	3,375	281.3	2.96%
(旧嘉穂町)	380	379	378	359	389	349	376	379	344	327	293	396	4,349	362.4	3.81%
(旧山田市)	159	175	206	189	197	195	201	139	177	140	140	189	2,107	175.6	1.84%
嘉穂郡	627	683	652	647	625	547	556	630	727	629	627	637	7,587	632.3	6.64%
桂川町	627	683	652	647	625	547	556	630	727	629	627	637	7,587	632.3	6.64%
鞍手郡	53	73	81	106	74	75	65	105	118	128	74	75	1,027	85.6	0.90%
小竹町	52	72	78	103	72	67	63	103	117	127	72	74	1,000	83.3	0.88%
鞍手町	1	1	3	3	2	8	2	2	1	1	2	1	27	2.3	0.02%
宮若市	39	54	35	68	85	58	72	57	86	133	110	104	901	75.1	0.79%
(旧宮田町)	28	20	20	50	45	28	51	36	71	94	53	42	538	44.8	0.47%
(旧若宮町)	11	34	15	18	40	30	21	21	15	39	57	62	363	30.3	0.32%
田川郡	73	75	92	113	114	87	109	62	67	68	83	105	1,048	87.3	0.92%
香春町	7	3	8	7	12	10	31	8	7	8	8	14	123	10.3	0.11%
添田町	23	7	16		2	2	3	3	2	5	11	18	92	8.4	0.08%
福智町	18	26	27	26	30	27	23	23	29	28	23	25	305	25.4	0.27%
糸田町	14	25	18	19	15	11	16	8	10	9	5	7	157	13.1	0.14%
川崎町	5	7	6	28	42	28	29	16	12	14	20	35	242	20.2	0.21%
大任町	5	6	3	7	10	5	5	3	3	4	15	6	72	6.0	0.06%
赤村	1	1	14	26	3	4	2	1	4		1		57	5.7	0.05%

糟屋郡	15	7	21	10	19	20	26	18	20	7	15	15	193	16.1	0.17%
宇美町	1	2	4		8	2	1	3	1	1	3	2	28	2.5	0.02%
篠栗町	10	5	14	7	10	16	19	13	15	5	12	11	137	11.4	0.12%
志免町							1						1	1.0	0.00%
須恵町									1				1		0.00%
新宮町			2		1								3	1.5	0.00%
久山町													0		0.00%
粕屋町	4		1	3		2	5	2	3	1		2	23	2.6	0.02%
朝倉郡	1	0	2	1	1	4	2	4	0	0	2	2	19	1.6	0.02%
筑前町	1			1	1	4	1	4			2	2	16	2.0	0.01%
東峰村			2				1						3	1.5	0.00%
直方市	20	15	23	12	12	14	12	13	30	14	12	11	188	15.7	0.16%
田川市	25	31	39	40	50	100	47	36	27	66	50	40	551	45.9	0.48%
北九州市	8	5	37	39	41	17	17	6	13	6	8	10	207	17.3	0.18%
福岡市	34	36	29	19	23	34	24	12	24	36	30	29	330	27.5	0.29%
中間市	27	11	2		2	1		1	1			1	46	5.8	0.04%
古賀市	11	4	5	2	3		1			1			27	3.9	0.02%
朝倉市										1			1	1.0	0.00%
久留米市	1	1	2	3	4	2	7	7	5	2	3	4	41	3.4	0.04%
その他県内	28	23	24	31	17	28	20	37	22	16	37	35	318	26.5	0.28%
その他県外	46	45	22	31	54	17	8	28	24	23	10	23	331	27.6	0.29%
合計	9,304	9,352	9,816	9,544	9,764	9,894	9,286	8,747	9,642	9,463	9,208	10,184	114,204	9,517	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

### 7. 性別・年齢別外来患者数

年度 R04

年齢・性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	率
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3	(全患者に対する)
男性(0～10歳)	90	110	107	116	136	128	110	94	125	89	116	117	1,338	111.5	1.2%
(11～20歳)	106	82	110	103	95	93	97	107	79	84	80	76	1,112	92.7	1.0%
(21～30歳)	75	67	76	59	77	56	59	41	70	59	40	37	716	59.7	0.6%
(31～40歳)	107	125	123	109	141	185	133	121	174	102	107	102	1,529	127.4	1.3%
(41～50歳)	233	257	233	280	272	262	240	206	180	206	191	190	2,750	229.2	2.4%
(51～60歳)	300	331	333	351	353	294	286	277	284	240	266	306	3,621	301.8	3.2%
(61～70歳)	761	756	855	820	776	778	726	732	677	767	763	818	9,229	769.1	8.1%
(71～80歳)	1,301	1,268	1,324	1,412	1,442	1,386	1,245	1,247	1,340	1,358	1,340	1,557	16,220	1,351.7	14.2%
(81～90歳)	762	695	629	551	651	753	679	635	755	639	657	746	8,152	679.3	7.1%
(91歳～)	158	96	130	178	136	86	89	76	71	109	89	117	1,335	111.3	1.2%
男性合計	3,893	3,787	3,920	3,979	4,079	4,021	3,664	3,536	3,755	3,653	3,649	4,066	46,002	3,833.5	40.3%
女性(0～10歳)	103	76	93	94	115	73	91	105	88	72	108	79	1,097	91.4	1.0%
(11～20歳)	59	74	46	78	86	60	55	47	77	57	55	72	766	63.8	0.7%
(21～30歳)	59	62	57	82	73	79	63	59	73	41	56	58	762	63.5	0.7%
(31～40歳)	78	80	88	83	121	113	84	70	84	81	68	88	1,038	86.5	0.9%
(41～50歳)	180	183	245	193	226	231	161	185	210	184	188	195	2,381	198.4	2.1%
(51～60歳)	318	337	353	358	346	402	384	347	361	391	421	438	4,456	371.3	3.9%
(61～70歳)	942	923	1,049	1,014	981	1,098	1,017	937	922	968	945	1,087	11,883	990.3	10.4%
(71～80歳)	1,828	1,801	1,987	1,885	1,834	1,982	1,953	1,743	2,020	2,146	1,964	2,039	23,182	1,931.8	20.3%
(81～90歳)	1,249	1,434	1,377	1,373	1,529	1,541	1,395	1,313	1,560	1,452	1,404	1,668	17,295	1,441.3	15.1%
(91歳～)	595	595	601	405	374	294	419	405	492	418	350	394	5,342	445.2	4.7%
女性合計	5,411	5,565	5,896	5,565	5,685	5,873	5,622	5,211	5,887	5,810	5,559	6,118	68,202	5,683.5	59.7%
合計	9,304	9,352	9,816	9,544	9,764	9,894	9,286	8,747	9,642	9,463	9,208	10,184	114,204	9,517.0	100.0%

※外来患者数に入院中他科診患者数が含まれています。

## 紹介患者数

### 1. 紹介患者数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20
内科	132	123	122	142	85	145	153	139	168	152	125	159	1645	137
小児科	1	1	1	3	4	1	2	3		1	2	1	20	2
外科	29	22	24	23	18	47	30	36	25	32	23	33	342	29
整形外科	99	93	66	73	39	83	95	97	97	80	83	112	1017	85
脳神経内科	9	2	6	8	4	4	10	9	11	5	7	7	82	7
脳神経外科		4	1	1		5	1	2	2	3	2	1	22	2
救急科					19	18	21	11	12	13	7	9	110	9
呼吸器外科	2			2	1	1	1					1	8	1
乳腺外科	13	6	10	16	7	16	5	6	15	19	11	13	137	11
皮膚科	12	10	23	13	9	28	27	14	17	15	16	18	202	17
泌尿器科	4	3		1	4	4	4	6	3	6	5	7	47	4
眼科	28	33	49	36	11	38	50	43	26	32	39	40	425	35
耳鼻咽喉科	6	2	3	4		7	5	2	4	2	6	9	50	4
リハ科		2	1	1	2	5	3		3	1		3	21	2
放射線科	69	66	67	56	32	75	75	63	64	55	72	67	761	63
合計	404	367	373	379	235	477	482	431	447	416	398	480	4,889	407

### 2. 紹介元医療機関の内訳

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
飯塚病院	15	16	13	18	11	16	27	14	26	16	9	25	206	17.2
飯塚医師会	6	1	5	13	13	17	12	18	21	15	15	28	164	13.7
児嶋病院	11	10	10	4	9	8	18	14	17	13	9	18	141	11.8
江藤外科胃腸科	14	12	3	6	2	9	12	10	14	9	13	16	120	10.0
青山医院	8	11	11	4	9	11	10	5	7	8	8	11	103	8.6
ナワタ消化器外科医院	5	15	17	5	4	8	13	4	7	8	7	10	103	8.6
泌尿器科 C.U.クリニック	6	9	3	5	8	15	8	9	6	13	7	8	97	8.1
いしこ整形外科	8	4	9	6	5	14	8	5	13	4	9	8	93	7.8
新飯塚診療所	7	4	7	9	4	12	8	6	9	9	5	6	86	7.2
佐藤医院	12	6	8	6	1	2	12	10	9	2	9	9	86	7.2
あい内科・消化器科クリニック	13	9	10	4	5	7	6	5	3	5	7	12	86	7.2
松口循環器科・内科医院	8	6	3	5	4	10	5	5	5	11	7	6	75	6.3
千手医院	7	5	7	5	1	9	7	7	5	9	4	6	72	6.0
済生会飯塚嘉穂病院	7	3	2	6	4	6	5	3	7	7	5	16	71	5.9
社会保険稲築病院	6	4	4	10		9	7	10	6	4	6	3	69	5.8
大庭医院	4	6	5	7	4	5	8		10	10	8	1	68	5.7
宮嶋医院	4	12	4	13	3	4	5	3	8	4	3	3	66	5.5
佐藤眼科医院	4	6	8	4	3	5	6	6	10	4	3	2	61	5.1
整形外科健成クリニック	7	5	4	10	2	8	3	3	2	8	3	4	59	4.9
林医院	5	6	9	8	4	4	2	4	7	2	3	4	58	4.8
その他(340施設)	247	217	231	231	139	298	300	290	255	255	258	284	3,005	250.4
合計	404	367	373	379	235	477	482	431	447	416	398	480	4,889	407.4

## 3. 紹介率（初診患者を対象とする）

年度	R04													合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
初診患者 a	781	786	770	827	1,042	800	751	799	822	785	744	772	9,679	806.6	
紹介患者数（初診） b	313	284	294	295	389	374	370	344	324	326	304	339	3,956	329.7	
救急車搬送者数（初診） c	136	126	130	162	202	162	143	149	195	150	123	141	1,819	151.6	
小計 d=b+c	449	410	424	457	591	536	513	493	519	476	427	480	5,775	481.3	
紹介率（%） d/a	57.5%	52.2%	55.1%	55.3%	56.7%	67.0%	68.3%	61.7%	63.1%	60.6%	57.4%	62.2%	59.7%		

## 4. 逆紹介件数

年度	R04													合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
初診患者 a	781	786	770	827	1,042	800	751	799	822	785	744	772	9,679	806.6	
逆紹介件数 b	456	438	448	380	455	449	451	402	402	439	431	462	5,213	434.4	
紹介率（%） b/a	58.4%	55.7%	58.2%	45.9%	43.7%	56.1%	60.1%	50.3%	48.9%	55.9%	57.9%	59.8%	53.9%		

## 救急部門

## 1. 救急患者取扱状況

年度	R04													合計	月平均
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	
救急車搬入件数	174	165	167	210	242	214	186	194	246	196	156	179	2,329	194.1	
（一日平均）	5.8	5.3	5.6	6.8	7.8	7.1	6.0	6.5	7.9	6.3	5.6	5.8	—	6.4	
時間外等自主来院患者数	60	112	70	104	123	105	79	57	88	107	106	83	1,094	91.2	
（一日平均）	2.0	3.6	2.3	3.4	4.0	3.5	2.5	1.9	2.8	3.5	3.8	2.7	—	3.0	
救急車からの入院患者数	79	74	74	103	112	92	97	74	108	86	64	86	1,049	87.4	
（一日平均）	2.6	2.4	2.5	3.3	3.6	3.1	3.1	2.5	3.5	2.8	2.3	2.8	—	0.5	
時間外等自主来院からの入院患者数	12	17	10	8	17	16	13	11	14	10	9	5	142	12	
（一日平均）	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	

※時間外等自主来院患者とは、救急車搬入を除く時間外・休日来院者。

※救急車からの入院患者とは、時間内、時間外等を問わず救急車搬入からの入院患者数。

※時間外等自主来院からの入院患者とは、時間外等に自主来院後入院した数。

## 放射線部門

## 1. 放射線件数

年度	R04													合計	月平均
撮影装置 部位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
一般撮影	1,370	1,392	1,327	1,256	1,390	1,295	1,378	1,343	1,502	1,430	1,392	1,596	16,671	1,389.3	
下肢全長	46	50	46	52	41	41	50	51	32	50	33	54	546	45.5	
透視撮影	73	67	74	70	76	76	71	39	76	75	72	70	839	69.9	
CT	562	566	582	540	701	629	615	608	645	621	564	590	7,223	601.9	
MRI	222	220	240	208	202	203	210	196	192	193	201	196	2,483	206.9	
RI	7	7	5	6	10	3	7	6	7	12	8	8	86	7.2	
Angio	頭部														
	腹部						1						1	0.1	
	心臓					1							1	0.1	
	その他	4	4	2	3	3	3	2		2			23	1.9	
マンモグラフィー	37	23	39	47	42	51	49	51	50	63	49	49	550	45.8	
骨密度測定	128	126	146	125	152	149	98	128	145	133	121	156	1,607	133.9	
ポータブル・手術室等	219	222	242	196	287	281	256	244	272	284	274	270	3,047	253.9	
合計	2,668	2,677	2,703	2,503	2,905	2,732	2,736	2,666	2,923	2,861	2,714	2,989	33,077	2,756.4	

## 手術統計

### 1. 手術件数（科別）

年度 R04

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
内科						1							1	0.1
外科	43	35	41	24	25	37	33	27	24	26	29	31	375	31.3
整形外科	50	54	56	37	60	60	57	53	60	57	63	66	673	56.1
眼科	79	66	83	79	65	79	83	74	62	69	82	92	913	76.1
耳鼻いんこう科														
乳腺外科	11	9	3	4	4	10	11	5	10	11	13	11	102	8.5
呼吸器外科														
皮膚科	1	2					1				1	1	6	0.5
泌尿器科														
合計	184	166	183	144	154	187	185	159	156	163	188	201	2070	172.5

※手術件数の定義として皮膚切開及び創傷処理は除く。

## リハビリ統計

### 1. 入院件数（単位数）

年度 R04

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳血管	PT	381	541	658	553	888	768	901	686	1,046	982	882	711	8,997	749.8
	OT	391	505	586	557	804	794	825	640	1,049	926	825	666	8,568	714.0
	ST	350	430	578	490	568	521	584	540	836	712	464	533	6,606	550.5
廃用	PT	422	563	461	475	504	363	244	283	311	480	438	469	5,013	417.8
	OT	25	163	92	91	83	226	179	203	151	150	190	213	1,766	147.2
	ST	231	125	48	152	235	193	188	76	52	55	104	119	1,578	131.5
運動器	PT	4,976	5,524	5,419	5,286	4,492	5,589	5,826	5,031	5,557	4,485	4,941	5,884	63,010	5,250.8
	OT	2,905	3,601	3,374	3,448	2,764	2,915	3,197	2,880	3,308	2,905	3,056	3,183	37,536	3,128.0
呼吸器	PT	429	215	220	320	317	260	136	106	146	204	217	324	2,894	241.2
	OT	5	98	147	101	74	31	37	68	65	58	51	10	745	62.1
	ST	547	407	445	364	436	276	163	135	158	152	79	158	3,320	276.7
がん	PT	246	145	137	158	213	173	95	93	229	230	137	171	2,027	168.9
	OT	63	124	124	44	26	28	19	42	89	43	18	45	665	55.4
	ST	37		8	34	45	28		16	28	13	54	41	304	25.3

### 2. 外来件数（単位数）

年度 R04

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
脳血管	PT	40	34	29	25	27	36	42	19	24	28	28	27	359	29.9
	OT	6	14	16	14	14	8	16	16	20	16	12	18	170	14.2
	ST	6	10	36	30	28	27	25	10	8	16	13	11	220	18.3
運動器	PT	205	220	321	331	338	236	263	151	215	313	344	343	3,280	273.3
	OT	449	444	379	396	366	391	418	255	264	280	301	374	4,317	359.8
呼吸器	PT														
	OT														
廃用	PT												2	2	0.2

## 検査統計

### 1. 検査件数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
検体検査	49,839	50,071	56,068	49,528	55,187	50,642	50,993	50,390	54,080	53,424	51,837	50,178	622,237	51,853.1
生理機能検査	779	783	834	852	861	876	799	821	847	915	868	827	10,062	838.5
病理学的検査	116	103	106	78	80	100	80	62	95	94	97	95	1,106	92.2

## 薬剤統計

### 1. 処方箋枚数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外来院内処方箋枚数	187	233	179	228	313	231	173	222	256	237	185	152	2,596	216.3
入院処方箋枚数	2,475	2,625	2,292	2,291	2,651	2,653	2,716	2,663	3,031	2,805	2,547	2,766	31,515	2,626.3
外来院外処方箋枚数	4,692	4,670	4,892	4,755	4,938	4,943	4,791	4,766	4,698	4,598	4,622	5,072	57,437	4,786.4
外来院外処方率 (%)	96.2%	95.2%	96.5%	95.4%	94.0%	95.5%	96.5%	95.5%	94.8%	95.1%	96.2%	97.1%	95.7%	95.7%

## 保険予防活動統計

### 1. 保険予防活動

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
健康診断 (企業健診含む)	4	8	9	6	3	3	7	20	93	4	7	17	181	15.1
乳がん検診 (クーポン含む)	2	3	5	4	8	3	10	13	16	16	23	4	107	8.9
特定健診	0	14	21	17	14	25	15	14	9	19	10	19	177	14.8
予防接種	249	179	124	170	519	348	487	662	672	294	243	199	4,146	345.5
合計	255	204	159	197	544	379	519	709	790	333	283	239	4,611	384.3

## 死亡及び解剖統計

### 1. 死亡退院（外来死亡を除く）・解剖件数

年度 R04

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
死亡数	6	13	10	8	13	23	13	13	15	22	12	14	162	13.5
解剖数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
解剖率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0

# 病院年報 第1号

(令和4年度)

---

発行 飯塚市立病院

〒820-0088

TEL : 0948-22-2980 FAX : 0948-24-3812

福岡県飯塚市弁分633-1

発行日 令和6年3月

制作 株式会社 陽文社

<http://www.youbunsha.co.jp/>